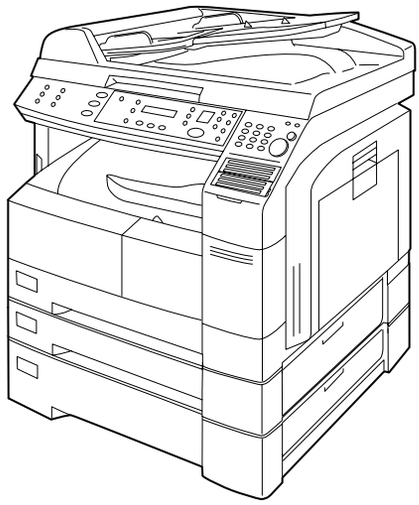
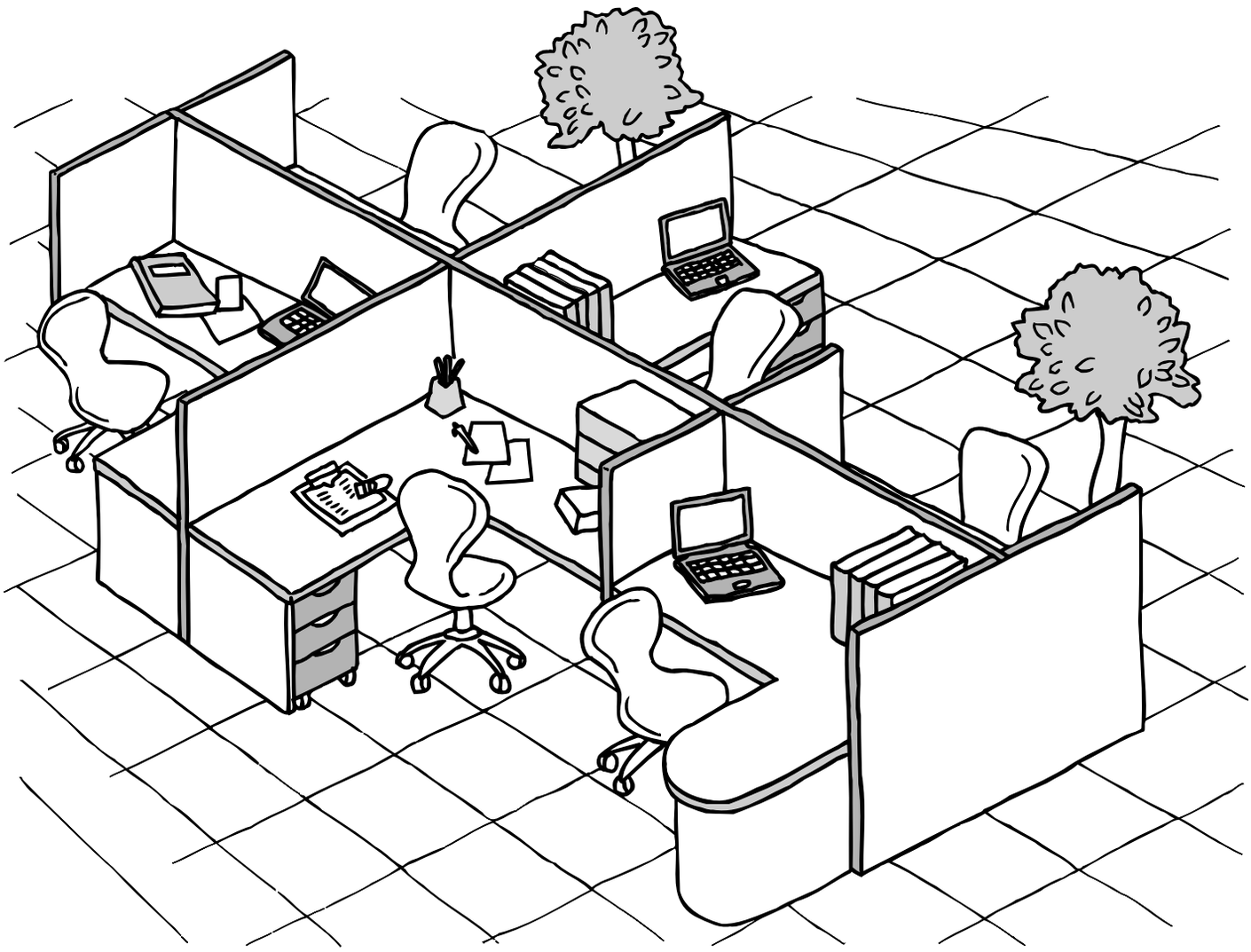


Panasonic

レーザー普通紙ファクシミリ

取扱説明書（ファクス編）

品番 UF-A918



WORKIO

このたびはパナソニックレーザー普通紙ファクシミリをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

上手に使って上手に節電

このロゴは、国際エネルギースタープログラムに基づくロゴです。国際エネルギースタープログラム制度は、地球規模の問題である省エネルギー対策に積極的に取り組むべく、エネルギー消費の低減性に優れ、かつ、効果的な使用を可能とする製品の開発及び普及の促進を目的とするものです。当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準に適合していると判断します。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

●日本語変換はオムロンソフトウェア（株）のモバイル Wnn を使用しています。
“Mobile Wnn” © OMRON SOFTWARE,Co.Ltd. 1999 All Rights Reserved.

UF-A918を使う

送信する

・とりあえず送りたい
..... ファクスを送る　（☛ 24 ページ）
・一度にたくさんの相手に送りたい
..... 順次同報送信　（☛ 34 ページ）
・通話料金の安い時間を指定して送りたい
..... タイマー送信　（☛ 53 ページ）
・特定の相手にだけ送りたい
..... セレクト送信　（☛ 74 ページ）
..... パスワード送信　（☛ 69 ページ）

受信する

・とりあえず受信したい
..... ファクスを受ける　（☛ 36 ページ）
・特定の相手のファクスだけを受信したい
..... セレクト受信　（☛ 75 ページ）
..... パスワード受信　（☛ 71 ページ）
・相手と話してから受信する
..... 手動受信　（☛ 37 ページ）
・相手側のファクスに登録されている原稿を取り出す
..... ポーリング受信　（☛ 50 ページ）

その他の機能

・簡単にダイヤルしたい
..... 直接ダイヤル　（☛ 24 ページ）
..... 短縮ダイヤル　（☛ 25 ページ）
..... ワンタッチダイヤル（☛ 26 ページ）
..... 電話帳機能　（☛ 27 ページ）
..... グループダイヤル（☛ 108 ページ）
・ボタン 1 つで、複雑な機能を使いたい
..... プログラムダイヤルの登録
（☛ 111 ページ）

文字を入力する

・文字入力のしかた　（☛ 132 ページ）
・区点コード表　（☛ 156 ページ）

消耗品の交換

・用紙の補充　（☛ コピー編参照）
・手差しトレイへの用紙セット
（☛ コピー編参照）
・用紙カセットのサイズ変更
（☛ コピー編参照）
・プロセスカートリッジの交換
（☛ コピー編参照）

トラブル

・用紙がつまったとき
（☛ コピー編参照）
・原稿がつまったとき
（☛ コピー編参照）
・故障かな？と思ったら
（☛ 148 ページ）

もくじ

お使いになる前に

UF-A918 を使う **3**
安全上のご注意 **8**
取扱上のお願い **13**
各部の名前と働き **15**
本体 15
コントロールパネル 16
ファクス／コピーのモード切替 18

原　稿

原稿のセットのしかた **19**
■ 原稿をセットする 19
原稿について **20**
■ 原稿のサイズ 20
■ 有効読取画面について 20
■ 相手機種との送信について 20
■ 原稿についてのご注意 21
■ 原稿サイズとセット方向について 22

ファクス

ファクスを送る（メモリー送信） **24**
■ ADF から直接ダイヤルで送る 24
■ ADF から短縮ダイヤルで送る 25
■ ADF からワンタッチボタンで送る 26
■ ADF から電話帳機能で送る 27
ファクスを送る（ダイレクト送信） **28**
■ ADF からダイレクト送信をする 28
■ ADF から再ダイヤルで送る 29
■ 原稿台ガラスから送信する 30
一度にたくさんの相手に送る（順次同報送信） **34**
ファクスを受ける **36**
■ 受信モードを選ぶ 36
■ ファクス専用のときファクスを受ける 37
■ 手動受信する 37
■ ファクス／電話自動切替のときファクスを受ける 38
■ 留守録接続のときファクスを受ける 40
■ 留守番電話機の設定 41

電　話

電話の使いかた（オプション） **45**
■ 電話をかける 45

音量の設定のしかた 46
■ モニター音量の設定 46
■ 呼出音量の設定 47

便利な機能の使い方

ポーリング通信 48
■ ポーリング送信 48
■ ポーリング受信 50
■ リバースポーリング通信 51
タイマー通信 53
■ タイマー送信 53
■ タイマーポーリング受信 54
■ タイマー特殊通信 55
中継通信 56
■ 中継通信について 56
中継同報指示 57
ファイル送信 58
■ ファイル蓄積 58
■ ファイル送信 59
■ ファイル消去 60
■ ファイルプリント 60
F コード通信 61
■ F コード送信 61
■ F コード掲示板登録の指定 62
■ F コード取り出し 63
■ F コード親展プリント 64
マルチコピー通信 65
OMR 通信 66
パスワード通信 67
■ パスワード通信について 67
■ システム登録について 67
パスワード送信の設定 69
パスワード送信の変更 70
パスワード受信の設定 71
パスワード受信の変更 72
パスワード送信設定の一時変更 73
セレクト通信 74
■ セレクト送信 74
■ セレクト受信 75
優先通信 76
ワンタイム海外通信 77
定期便タイマー通信 78
メモリー受信 79

■ メモリー受信の設定 79
■ メモリー受信を設定しているとき 79
■ メモリー受信の解除 79
■ メモリー受信のプリント 80
通信予約の確認と消去 81
■ 通信予約の確認 81
■ 通信予約の変更 83
■ 通信予約の消去 84
■ 指定通信予約レポートのプリント 85
■ 未達宛先再通信の指定 86
■ 受信データの強制出力 87
■ 手動ファイル転送 88

リスト・レポートのプリント

レポートのプリント 89
■ 通信管理レポートのプリント 89
■ 通信受付レポートのプリント 90
■ 通信結果レポートのプリント 91
リストのプリント 92
■ ダイヤルリストのプリント 92
■ ワンタッチリストのプリント 93
■ システム登録リストのプリント 94
■ 自局情報リストのプリント 95
■ F コード通信リストのプリント 96

各種登録・設定

登録操作フロー 97
ダイヤルの登録 98
■ ダイヤル登録操作フロー 98
■ ワンタッチダイヤルの登録 99
■ 短縮ダイヤルの登録 101
■ 特殊通信機能の登録 103
■ ダイヤルの変更 106
■ ダイヤルの消去 107
ワンタッチの登録 108
■ グループダイヤルの登録 108
■ グループダイヤル内容の宛先削除／追加 110
■ プログラムダイヤルの登録 111
■ プログラムダイヤルの変更 112
■ ファンクションの登録 113
■ ワンタッチの消去 116
中継情報の登録 117
中継情報の登録の種類 118

もくじ

F コード通信の登録 119
■ 親展ボックスの登録 119
■ 掲示板ボックスの登録 123
■ 通信ボックスの消去 126
システムの登録 127
■ システム登録のしかた 127
■ システム登録一覧表 128
文字入力のしかた 132
■ 入力モードの切り替え 132
■ かな漢／カナ／英記号モードでの入力 133
■ 数字モードでの入力 133
■ コードモードでの入力 133
■ 文字割り当て一覧 134
■ 文字入力の例 135
自局情報の登録 137
■ 日付と時刻の登録 138
■ 発信元情報の登録 139
■ 文字 ID（カナ）の登録 140
■ 数字 ID の登録 141
■ 定時刻タイマーの登録 142
■ 定期便タイマーの登録 143
■ F コードサブアドレスの登録（サブアドレス通信） 144
■ F コードパスワードの登録（サブアドレス通信） 145

必要なときにお読みください

消耗品の交換のしかた 146
■ 用紙の補充 146
■ 用紙カセットのサイズ変更 146
■ プロセスカートリッジの交換 146
こんなときには 146
■ 用紙がつまったとき 146
■ お手入れのしかた 146
■ 済スタンプの交換 147
故障かな？と思ったら 148
■ 主なエラーコード 150
■ 主なメッセージ 152
■ 停電のとき 154
■ チェック＆コール 154
主な仕様 155
句点コード表 156
索　引 163

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ **警告**	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ **注意**	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は、絵表示の一例です。）

⚠	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
⃠	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

●本体・オプションの取り扱いについて

⚠警告

■定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使う

他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。

■ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。

ぬれ手禁止

●ぬれた手を良くふいて電源プラグ(金属でない部分)を持ってください。

■電源コードを加工しない

火災や感電のおそれがあります。

■電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

●傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものをのせたり、束ねたりしない。

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

●コードやプラグの修理は、サービス実施店へご相談ください。

■電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

●電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

■機内に水や金属物(クリップやステープル針など)が入ったときは、すぐに電源プラグを抜く

機内の配線がショートして、火災をおこすおそれがあります。

電源プラグを抜く

●電源プラグを抜いて、サービス実施店へご連絡ください。

■本機(オプションを含む)を分解・改造しない

レーザー光線による視力障害、または高温部分や高電圧部分にさわるとやけどや感電するおそれがあります。

分解禁止

●この取扱説明書に記載されていないことは行わないでください。

■発煙・異臭などの異常状態をそのまま放置しない

火災や感電のおそれがあります。

●電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて、サービス実施店へご連絡ください。

安全上のご注意

⚠注意

■床、土台が不安定な場所や震動の激しい場所へは設置しない

本機が倒れて、けがをするおそれがあります。

●移動するときは、サービス実施店へご相談ください。

■シンナー・ガソリンなどの引火性の高いものの近くに設置しない

ガソリンなどが発火し火災をおこすおそれがあります。

●移動するときは、サービス実施店へご相談ください。

■油煙や湯気や水のかかる場所、ほこりの多い場所には置かない

調理台や加湿器などのそばに置くと、火災、感電の原因となることがあります。

●移動するときは、サービス実施店へご相談ください。

■湿気の多い場所ではアース線を取り付けて使用する

アース線接続

万一、漏電した場合に、火災、感電のおそれがあります。

●移動するときは、サービス実施店へご相談ください。

■アース線は、ガス管・水道管や避雷針などに接続しない

接地が不十分だったり、落雷などにより、感電したり、火災をおこすおそれがあります。

●移動するときは、サービス実施店へご相談ください。

■電源プラグを抜くときは電源コードを引っぱらない

コードが傷つき、火災、感電のおそれがあります。

●電源プラグを抜くときは、必ずプラグ（金属でない部分）を持ってください。

■動作中の紙づまりはそのまま放置しない

高温部の紙づまりを放置すると紙が発火し、火災をおこすおそれがあります。

●紙づまりは確実に取り除いてください。

■高温表示部とその周辺にはさわらないよう注意する

高温注意

高温部分にさわるとやけどするおそれがあります。

●紙づまり処置などで内部をさわるときは、十分に注意してください。

⚠ 注意

■鎖の長いブレスレットやネックレスなどをつけて操作しない

機内に触れたり、巻き込まれて、感電やけがをするおそれがあります。

●万一事故がおきたときは、電源スイッチを切り、サービス実施店へご連絡ください。

■動作中に光源ランプを直視しない

ランプの光により、目を傷めるおそれがあります。

●やむをえず、原稿台カバーを開けてコピーするときは、光源ランプを直視しないでください。

■本機の通風孔をふさがない

機内に熱がこもり火災の原因となるおそれがあります。

●本機の回りにダンボール箱などを積み上げないでください。

■機内のみどり色のツマミ以外は操作しない

高温部分や突起のある部品にさわるとやけどやけがをするおそれがあります。

●内部をさわるときは、十分に注意してください。

■本機に重いものを置いたり、乗ったり、トレイなどに体重をかけたりしない

物が落下したり、転んだり、落ちてけがをするおそれがあります。

●本機を台がわりに使用しないでください。

■原稿台（ガラス）に衝撃を与えたり、重いものを載せたりしない

ガラスが割れてけがをするおそれがあります。

●ガラスが割れたときは、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてサービス実施店へご連絡ください。

■エラー(EX-XX※)表示をしたときや、異音など異常な動作をしたときは、必ず電源プラグを抜く

火災や感電をおこすおそれがあります。

電源プラグを抜く

※ X は数字が表示されます。確認（メモ）して、サービス実施店へご連絡ください。

●電池の取り扱いについて

⚠警告

■充電・ショート・分解・変形・加熱・火に入れるなどしない

液漏れ・発熱・破裂・発火の原因になります。

■電池は幼児の手の届かないところに保管する

●万一、飲みこんだ場合は直ちに医師に相談してください。

■電池を保管、廃棄するときは、テープなどで端子部を絶縁する

他の金属や電池と混ざると液漏れ・発熱・破裂・発火の原因になります。

■電池の⊕極と⊖極は正しく接続する

液漏れ・発熱・破裂・発火の原因になります。

■電池に直接ハンダ付けをしない

液漏れ・発熱・破裂・発火の原因になります。

■液が目に入ったら、すぐに洗い流す

目を傷めるおそれがあります。

●こすらずにきれいな水で洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。

⚠注意

■直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管する

液漏れ・発熱・破裂の原因になります。

取扱上のお願い

設置上のお願い

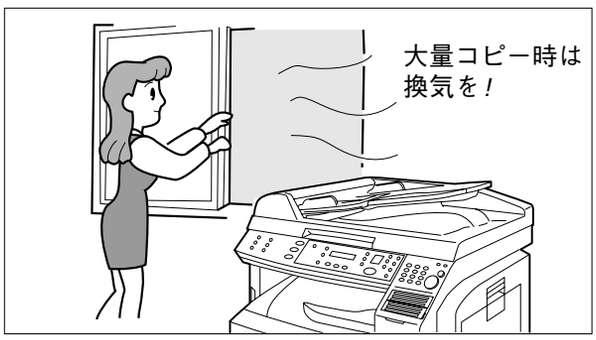
■次の様な場所への設置は避けてください。

●高・低温、低・多湿な場所
（適用温度･湿度：10～30℃、30～80%RH.）
●温度変化の激しい場所
●冷・暖房機の近く（直接風のあたる所）
●加湿機の近く
●テレビ、ラジオなど電子機器の近く
●直射日光のあたる場所
●ほこり、アンモニアガスが発生する場所
●シンナー、ガソリンなどの近く
●換気の悪い場所
●床、土台が不安定な場所、震動の激しい場所

■本機の背面は壁から 15cm 以上離してください。

換気についてのお願い

本機を使用中は、オゾンが発生しますが、その量は人体に悪影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の悪い部屋での長時間使用や、大量にコピーをとる場合には、快適な作業環境を保つために部屋の換気をお勧めいたします。



操作時のお願い

■動作中に電源を切ったり、本体カバー等を開けたり、用紙カセットを引き出したりしないでください。
（紙づまりの原因に！）

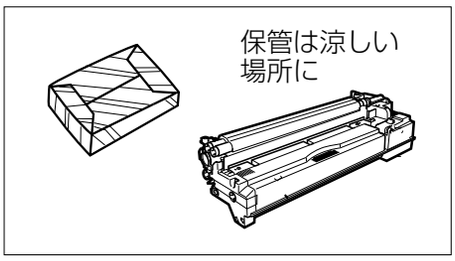
移動時のお願い

■本機の移動や運搬はサービス実施会社におまかせください。

●転居の際は、サービス引継が必要です。
（事前にサービス実施会社へご相談ください。

取扱上のお願い

用紙・トナーに関するお願い



■用紙、トナーなどは湿気の少ない涼しい場所に保管してください。

- 用紙は60～90g/m² (手差しでは 55～130g/m²) の上質紙・再生紙をお使いになれますが、できるだけ当社の推薦紙をご使用ください。
- トナーは当社指定品をご使用ください。

■電波障害防止におけるお願い

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

■法律で禁じられていること

次のようなコピーは所有するだけでも法律により罰せられますから充分ご注意ください。

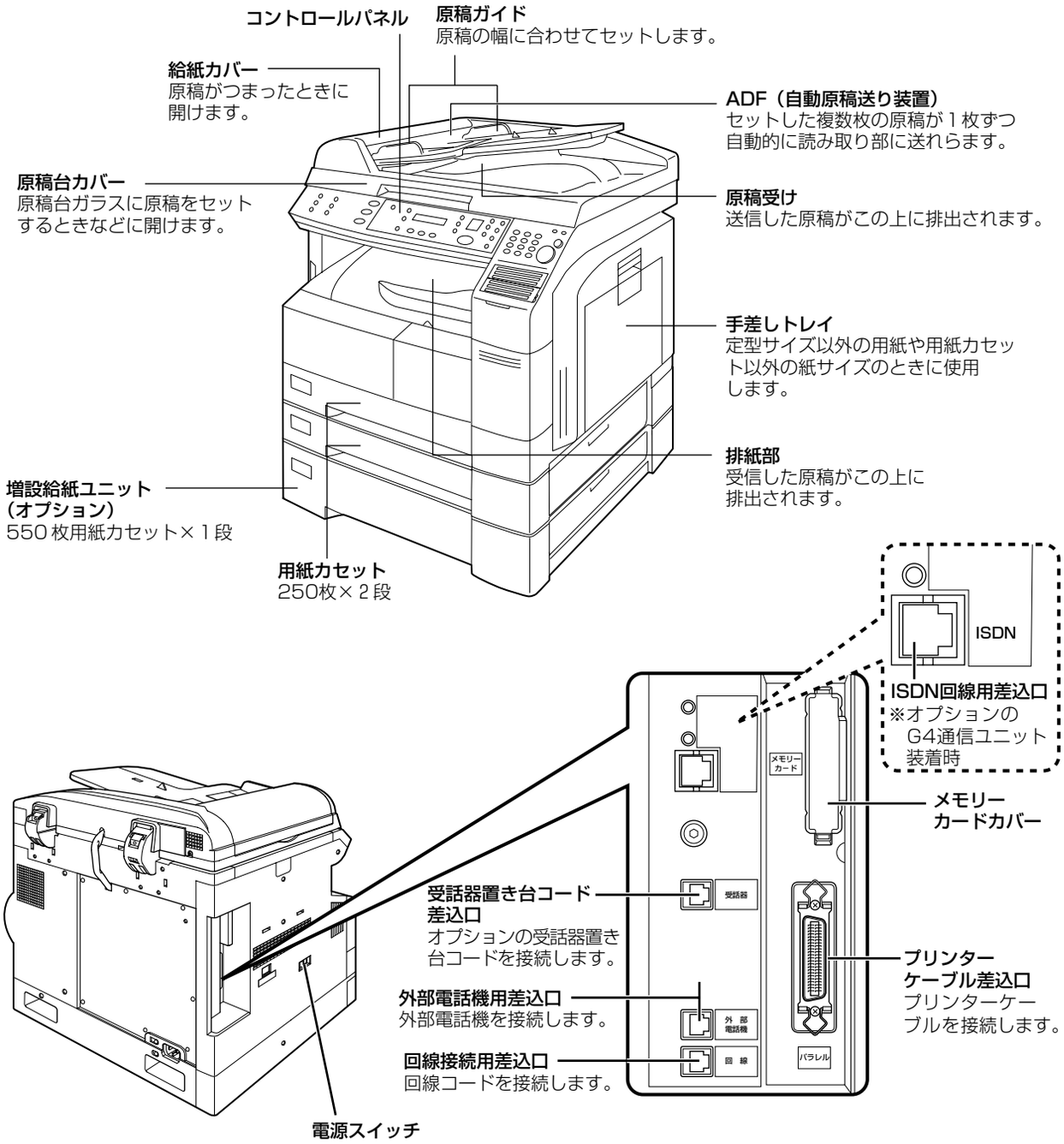
- 法律でコピーを禁止されているもの
  - ① 国内外で流通する紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券
  - ② 未使用の郵便切手、官製はがき
  - ③ 政府発行の印紙、酒税法や物品法で規定されている証紙類
- 注意を要するもの
  - ① 株券、手形、小切手など民間発行の有価証券、定期券、回数券などは、事業会社が業務上必要最低部数をコピーする以外は政府指導によって注意が呼びかけられています。
  - ② 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可書、身分証明書や通行券、食券などの切符類のコピーも避けてください。
- 著作権の対象となっている書籍、絵画、版画、地図、図面、写真などの著作物は個人的または家庭内その他、これに準ずる限られた範囲内で使用するためにコピーする以外は禁じられています。

■電源高調波についてのお知らせ

本機器は社団法人日本事務機械工業会が定めた複写機及び類似の機器の高調波対策ガイドライン（家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠）に適合しています。

各部の名前と働き

本体



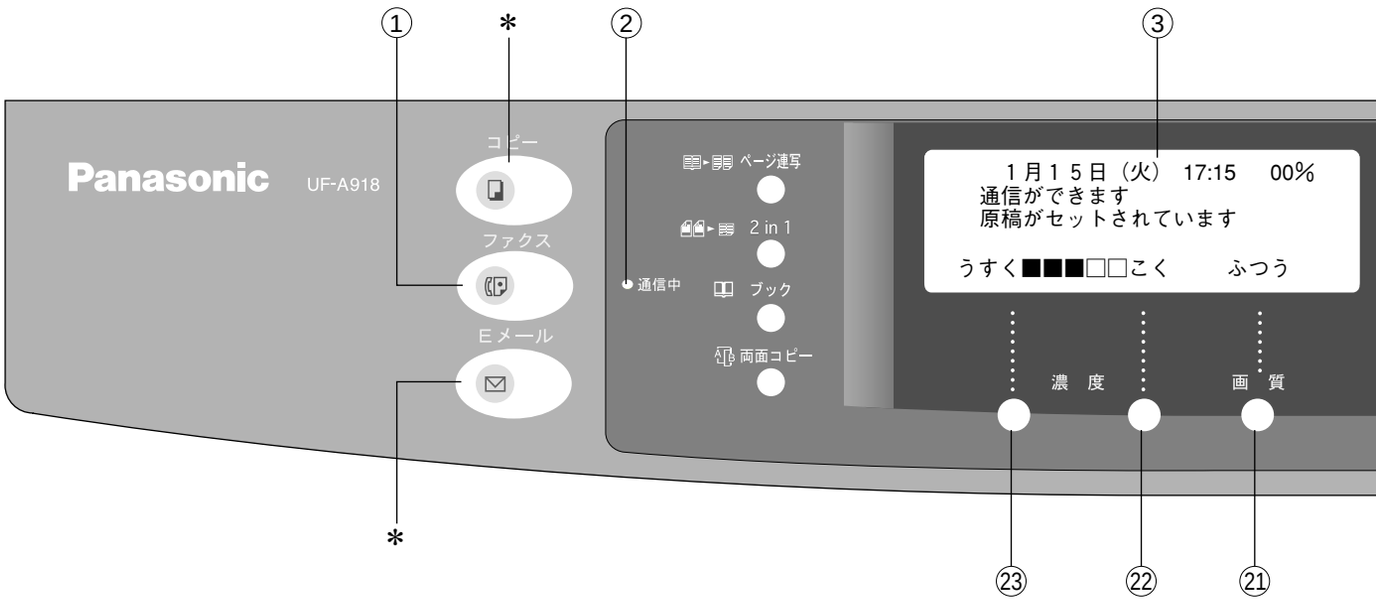
■ G4 通信ユニットを利用する

G4 通信ユニットを増設すると、高速なファクス通信を行なうことができます。
一般電話回線とISDN 回線の両方に接続してお使いの場合は、G3 通信とG4 通信を切り替えて送信できます。切り替えを行なう為に、機能ボタンF3 に「回線選択」が割り当てられます。
（お知らせ）

- G4 通信では、F コード通信、リバースポーリングをご利用できません。
- G4 通信ユニット経由での通話はできません。一般電話回線側でのみ通話できます。
- G4 通信ユニット経由の着信は自動受信となります。
- G4 通信ユニット経由でG4 通信とG3 通信を同時に行なうことができます。

各部の名前と働き

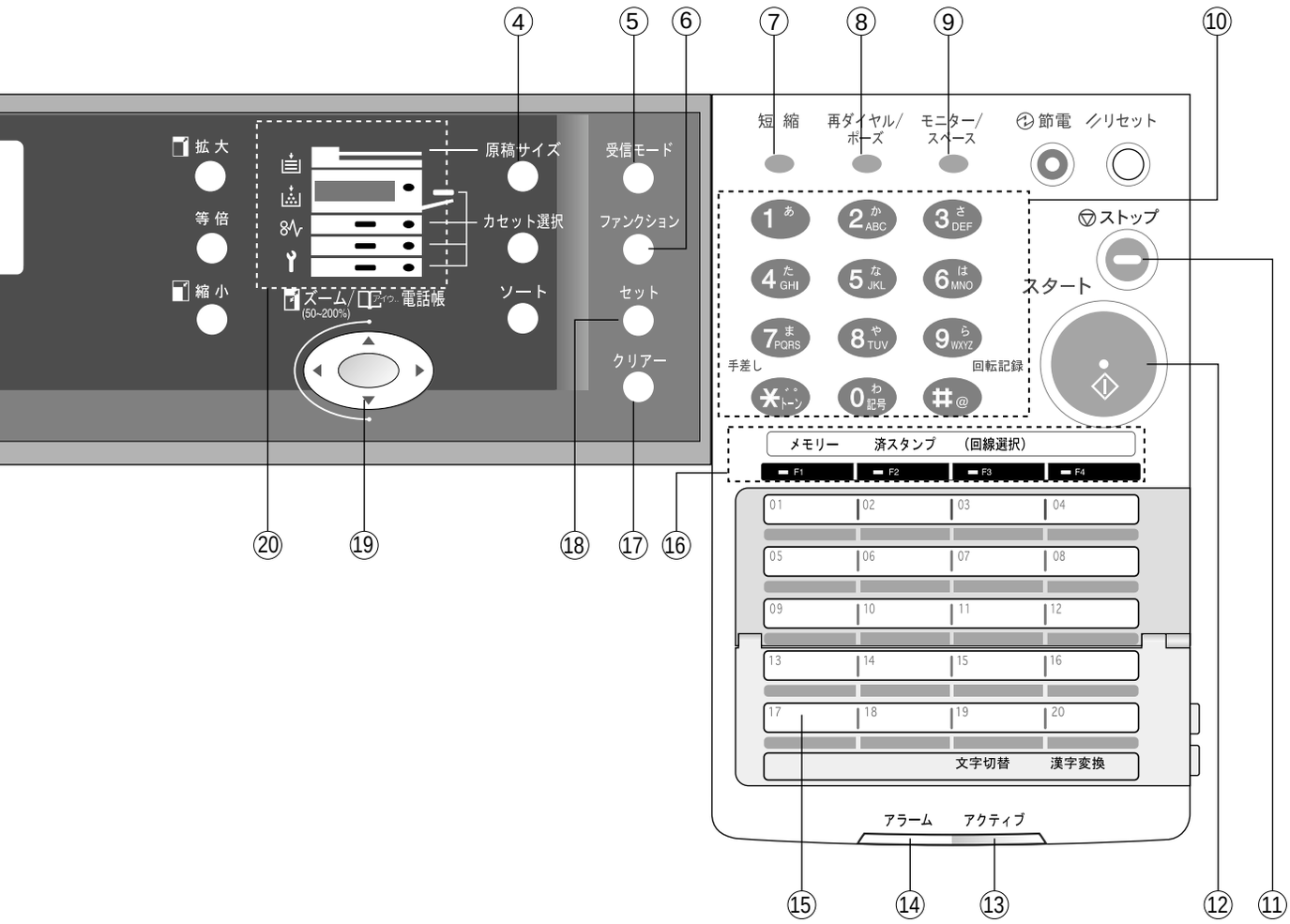
コントロールパネル



＊ファクス機能では、使用しません。
コピー ：取扱説明書（コピー編）参照
Eメール：インターネットFAXユニット（オプション）装着時に使用

No.	なまえ	はたらき
①	ファクスボタン	ファクスを送信選択するときに押します。
②	通信中ランプ	ファクス通信中および受話器をあげたときに点灯します。
③	メッセージディスプレイ	機械の状態、各種設定の状況を表示できます。
④	原稿サイズボタン	原稿サイズを手動で選択したいときに押します。
⑤	受信モード選択ボタン	手動受信と自動受信を選択するときに押します。
⑥	ファンクションボタン	各種機能を選ぶときや、登録するときに押します。
⑦	短縮ボタン	短縮ダイヤルするとき、または、番号の間にハイフンを入れるときに押します。
⑧	再ダイヤル / ポーズボタン	再ダイヤルするとき、または、番号の間に空白時間を入れるときに押します。
⑨	モニター/スペースボタン	受話器(オプション)を置いたまま、ダイヤルするとき、または、番号の間にスペースを入れるときに使用します。
⑩	テンキーボタン	ダイヤルするときや、各種の機能を選ぶときに押します。
⑪	ストップボタン	送信やコピー、登録などを途中で止めるとき、または、アラーム音を止めるときに押します。
⑫	スタートボタン	ファクス送信や受信をするときに押します。
⑬	アクティブランプ	読取り動作中または記録動作中です。
⑭	アラームランプ	（点灯）通信異常があります / 用紙がつまっています / すべてのカセットおよび手差しトレイに記録紙がありません。 （点滅）いずれかのカセット / または手差しトレイに用紙がありません。

各部の名前と働き



No.	なまえ	はたらき
⑮	ワンタッチボタン	ワンタッチダイヤルするときに押します。 また、プログラムに登録した通信をするときに押します。
⑯	機能ボタン（ランプ）	F1 ～F4 に機能登録をして使います。お買い上げ時は、下記の設定となっています。（各機能を有効にする場合はランプを点灯させます） F1：メモリー通信をするときに押します。 F2：済スタンプ（する、しない）を選択するときに押します。 F3：オプションの G4 通信ユニットを装着時に、回線選択をする時に押します。
⑰	クリアーボタン	入力した文字や数字を訂正するときに押します。
⑱	セットボタン	選択した内容を確定するときに押します。
⑲	カーソルボタン	呼出音量を大きくしたり、小さくしたりします。また、文字などの入力のときカーソールを左右に移動させるときに押します。また、電話帳を検索するときにも使います。
⑳	警告表示ランプ	用紙補給、プロセスカートリッジ補給が必要となったときや用紙がつまったときに点灯します。
㉑	画質ボタン	原稿の文字の大きさまたは、ハーフトーンを選ぶときに選択します。
㉒	こくボタン	原稿の濃さが薄いときに押します。
㉓	うすくボタン	原稿の濃さが濃いときに押します。

ファクス／コピーのモード切替

本機は通常のファクスとしてお使いになる以外に、コピーモードで拡大コピーや縮小コピーなどのコピー機能も合わせてお使いになることができます。

●お使いになる機能に合わせて、モードを選んでください。

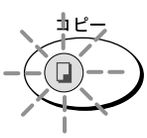
→ 送信・受信や電話などのファクス機能をお使いになるときは、「ファクスモード」を選んでください。

→ 通常のコピー、拡大／縮小コピーなどのコピー機能をお使いになるときは、「コピーモード」を選んでください。

■ モードを切り替えるには

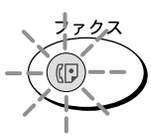
コピー または ファクス ボタンを押してお使いになるモードに切り替えてください。

－コピーモードにするには－



・コピーランプを点灯させます。

－ファクスモードにするには－



・ファクスランプを点灯させます。

●通信およびファクス機能の設定・登録操作を行うときには、ファクスモードを選んでください。

お知らせ

● 次の場合には「コピーモード」にセットしていても自動的に「ファクスモード」に切り替わります。

→受話器（オプション）を上げたり **モニター** を押したとき

→ **ワンタッチ**、**短縮**、**再ダイヤル** を押したとき

→ **受信モード** を押したとき

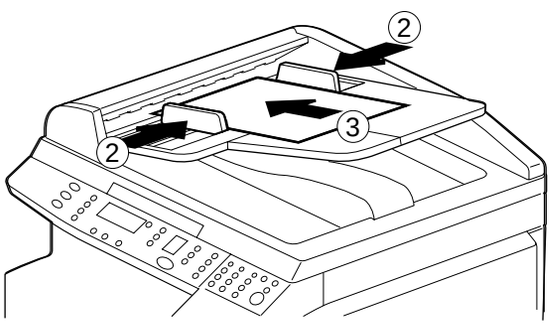
● 「コピーモード」にセットしていても、電話を受けたりファクスを自動的に受信することができます。受信モードが「手動受信」にセットされているときは、37ページの操作をして受信してください。

原　稿

原稿のセットのしかた

■原稿をセットする

送信／コピーの際に原稿をセットする方法には、ADF（自動原稿送り装置）を利用する方法と、原稿台ガラスにセットする方法の2 通りあります。セット方法は、原稿のサイズや厚さ、原稿の枚数などによって使い分けます。（「原稿について」☛20 ページ）

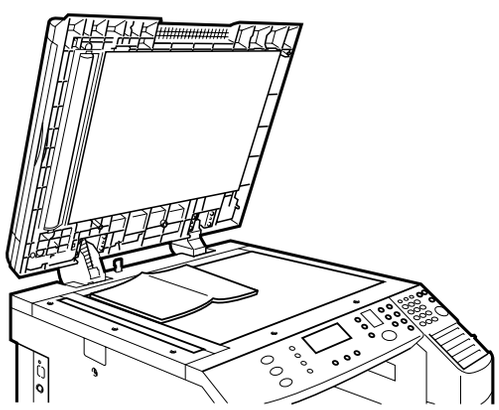


■ADF(自動原稿送り装置)にセットする

1 原稿の先端をそろえ、送る／コピーする面を上に向けて置く

2 原稿ガイドを原稿の幅に合わせる

3 原稿の先が突き当るまで差し込む。「ピッ」という音が鳴る



■原稿台ガラスにセットする

1 原稿台カバーを持ち上げて開ける

2 送る／コピーする面を下に向けて原稿を原稿台ガラスにのせる

3 原稿を左奥スミのガイドに突き当てる

4 原稿台カバーを静かに閉じる

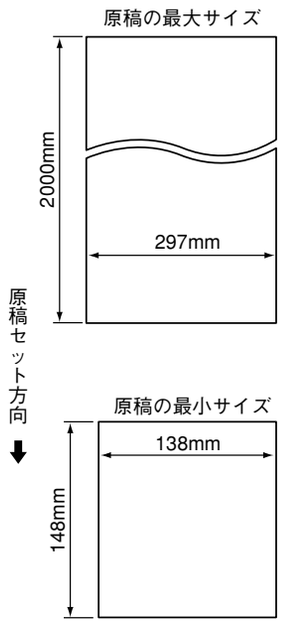
原　稿

原稿について

■原稿のサイズ

ADF（自動原稿送り装置）にセットできる原稿は、次のサイズのものに限ります。次のサイズ以外の原稿は、1枚づつ原稿を原稿台ガラスにセットするか、適応するサイズに分割して、送信または、コピーしてください。

	1枚だけセットするとき	複数枚の原稿をセットするとき
最大	297 × 2000mm （最大読取幅は 292mm）	297 × 420mm （最大読取幅は 292mm）
最小	138mm × 148mm	138mm × 148mm
1度にセットできる枚数	----------	B4以上　30枚 A4以下　50枚
原稿の紙厚	0.05 ～0.15mm	0.06 ～0.1mm
原稿の紙質	上質紙相当（表、裏ともコーティングのないもの）	

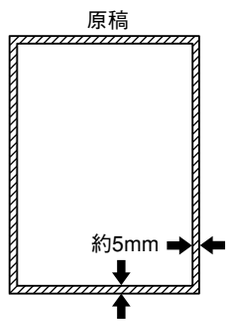


お知らせ

- 複数の原稿をセットするときは、同一サイズで同質の原稿をセットしてください。
- 原稿の厚さが0.1mmを越え、0.13mm以下のときは最大20枚までしかセットできません。

■有効読取画面について

原稿の端に文字などを記入すると、相手の記録紙にプリントされない場合があります。
右図の斜線部分には、文字などを記入しないようにしてください。



お知らせ

- 最大の有効読取幅は292mmです。セットした原稿の幅が、292mmより大きい場合は、読み取ることができない範囲があります。
- ファクス送信するときに、システム登録の「007 発信元印字」が“原稿内”に設定されている場合は、先端および後端から10mmまで文字などを書かないでください。発信元情報を送るため、相手の記録紙にプリントされません。

■相手機種との送信について

送信する相手にセットされている用紙のサイズに応じて、自動的に縮小して送信します。

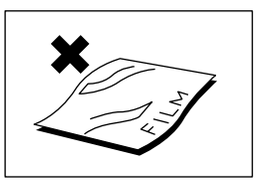
相手機 ＼ 送信原稿	A3	B4	A4
G3　A3機	そのまま	そのまま	そのまま
G3　B4機	B4に縮小	そのまま	そのまま
G3　A4機	A4に縮小	A4に縮小	そのまま

■原稿についてのご注意

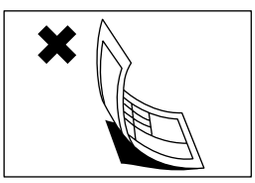
原稿をセットするときは、次のようなことにご注意してください。

■インクなどの乾いていない原稿は、完全に乾かしてからセットしてください。（読取部の汚れの原因）
■ADF（自動原稿送り装置）にセットする場合は、原稿にクリップやホチキスの針を付けたままセットしないでください。（故障の原因）

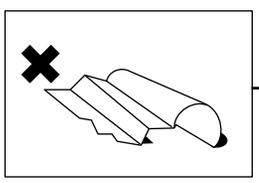
次のような原稿をADF（自動原稿送り装置）にセットすると、原稿がつまったり、相手先で受信した内容が乱れたりすることがあります。原稿台ガラスにセットして、コピーするか、または送信してください。



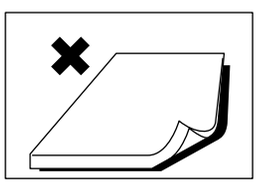
フィルム状の原稿、トレーシングペーパーのような透明な原稿



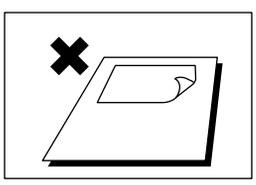
感圧紙、裏カーボン紙などの化学処理をした原稿



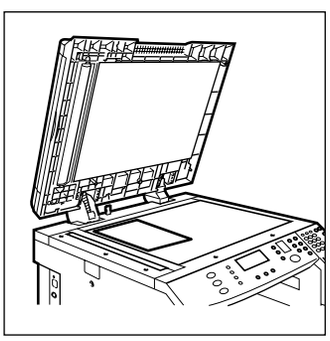
破れ、しわ、カールや折目のついた原稿



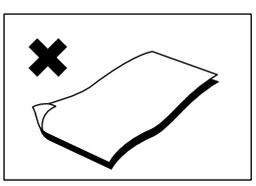
紙厚の厚すぎる（0.15mm を超える）原稿、布地、金属シート、印画紙



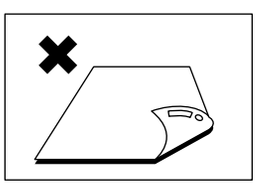
貼り合わせた原稿



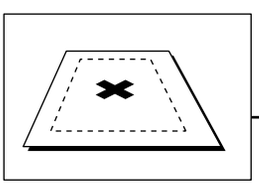
原稿台ガラスにセットする



紙厚の薄すぎる（0.05mm 未満）原稿



表または裏がコーティングされている原稿



（138mm × 148mm ）より小さい原稿

お知らせ

● サイズを読み取りにくい原稿を原稿台ガラスにセットするときは、原稿サイズ ボタンを押して原稿のサイズを指定します。

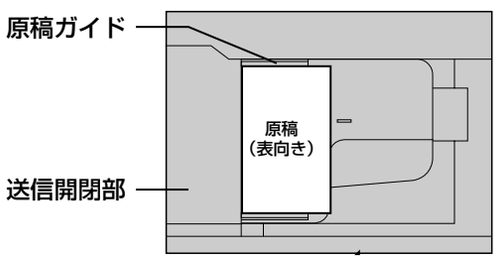
原　稿

■原稿サイズとセット方向について

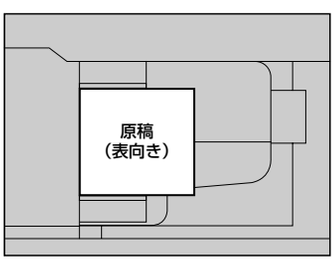
ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスのどちらかにセットして送信またはコピーをする場合でも、原稿の置き方には２とおりがあります。原稿を正しい方向にセットしないと、送信した原稿やコピーの画像が欠けたり必要以上に縮小されてしまう場合があります。

たとえばA4の原稿をA4□にセットしてA4機に送信する場合、メモリー送信のときには回転送信機能（☛32ページ）によって等倍で送信されますが、ダイレクト送信や手動送信のときには、A3の原稿がA4サイズに縮小されるように70%に縮小されてしまいます。送信またはコピーをするときは、原稿を正しい向きにセットするよう注意してください。

ADFにセットする場合

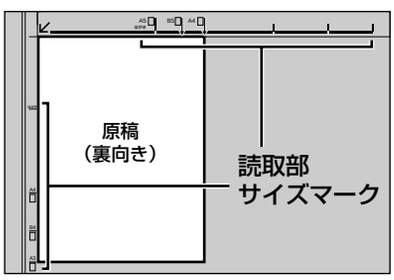


A5□、B5□、A4□

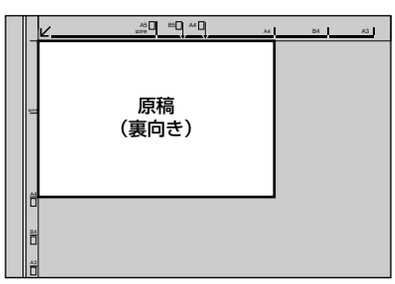


A4、B4、A3

原稿台ガラスにセットする場合



A5□、B5□、A4□

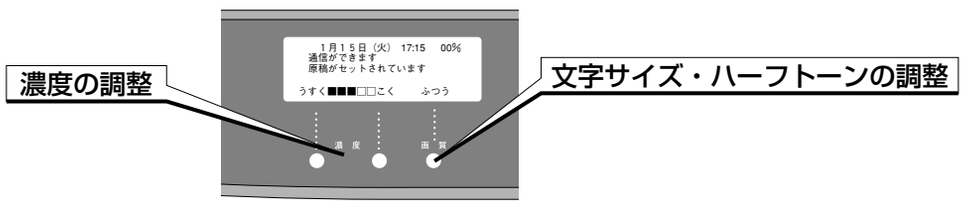


A4、B4、A3

- ADFに一度にセットできる枚数は、A4サイズ以下の場合は一度に50枚、A4を超えるサイズの場合は一度に30枚までセットできます。
- ADFにセットした原稿は一番上の原稿から順番に読み込まれます。
- 原稿台カバーを約20cm以上開けないと、原稿サイズを検知できないことがあります。
- ADFには、幅の異なる原稿を同時にセットしないでください。

画質の選びかた

セットした原稿に合わせて、濃度・文字サイズ・ハーフトーンを選ぶことができます。
●濃度を選ぶとき　　：原稿の濃さに合わせて選んでください。
●文字サイズを選ぶとき　　：原稿の文字の大きさに合わせて選んでください。
●ハーフトーンを選ぶとき　　：写真やカタログなどの原稿を送るときに選んでください。



濃度を選ぶ

○濃 度○ を押して選びます。

こ く　文字が薄い原稿

普通の濃さの原稿

うすく　色紙などのように紙の色の濃い原稿

文字サイズ、ハーフトーンを選ぶ

○画 質 を押して選びます。

ふつう　普通の大きさの文字の原稿

小さい　新聞などのように細かい文字の原稿

細 密　特に細かい文字の原稿

ハーフトーン　写真やカラー原稿など

お知らせ

● よくお使いになる画質を登録しておけば、原稿をセットするたびに設定を変える手間が省けます。（☛127ページ）

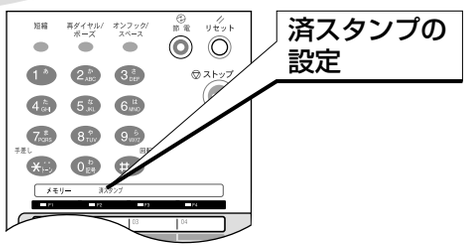
済スタンプの使いかた

送信済みの原稿に㊟マークを押すことができます。

［済スタンプ］を押して切り替えてください。

㊟マークを押したいとき　済スタンプ F2

㊟マークを押さないとき　済スタンプ F2



お知らせ

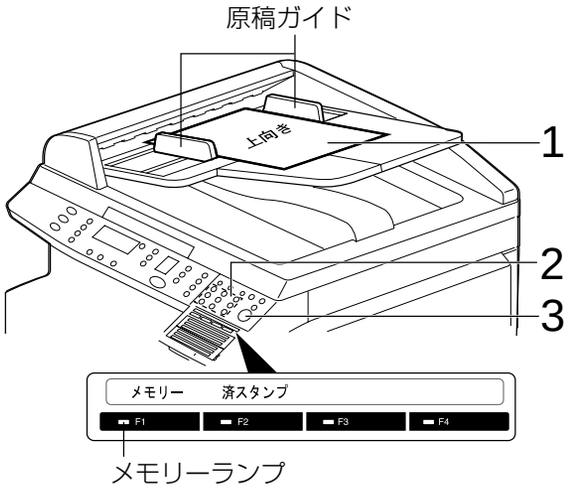
● 済スタンプの色はピンクです。押された済スタンプは消えません。
● 済スタンプをトレーシングペーパーなどの表面処理された原稿に使用すると、にじむことがあります。
● 工場出荷時はシステム登録の「028 メモリー済スタンプ」（☛129ページ）は“あり”になっています。メモリー送信または、ポーリング送信をする原稿に「㊟」マークを付けたくないときは、「028 メモリー済スタンプ」の設定を“なし”にしてください。

ファクス

ファクスを送る（メモリー送信）

ADFにセットするときは、複数枚の原稿も次々に自動的に読み込まれます。原稿台ガラスから2枚以上の原稿を送るときには、ディスプレイの表示に従って次々に原稿をセットし読み込ませます。

■ ADF から直接ダイヤルで送る



ファクス ランプ点灯状態、
メモリー（F1）ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 図のように原稿をセットする

・原稿に合わせて画質を選ぶとき。
（☛23 ページ）

```
  1月15日（火） 17:15   00%
通信ができます
原稿がセットされています
うすく■■■□□こく      ふつう
```

2 ダイヤルする（最大 60 桁）

```
メモリー送信          宛先数：000
0334919191
うすく■■■□□こく      ふつう
```

3 スタート を押す

・原稿読取開始されます。
・読取が終了した原稿から送信が開始されます。

```
メモリー送信          受付No.001
通信中                送信頁:0 1
0334919191
うすく■■■□□こく      ふつう
```

お知らせ

- 宛先を間違えたときは、クリアーを押して再指定してください。
- 送信を途中でやめるときは、ストップを押したあとに 1 あ（はい）を押してください。
- 直接ダイヤルでは、ダイヤルボタン（0～9、＊、＃）、ポーズ（-）、が使えます。
- メモリーには、A4 標準原稿で約 120 枚まで蓄積できます。
- オプションのG4通信ユニットを増設しているときは、手順2で電話番号を入力後、回線選択を登録した機能ボタンを押して通信する回線としてG4 、G3（Ⅰ）外線のどれかを指定します。

```
メモリー送信          宛先数：1
0312343333_             G 4
うすく■■■□□こく      ふつう
```

- オプションのG4通信ユニットを増設しているときは、最大３通信の同時動作が可能です。同時動作中のディスプレイに表示される通信回線表示は、次の優先度で表示されます。
  「外線」→「G4 」→「G3（Ⅰ）」

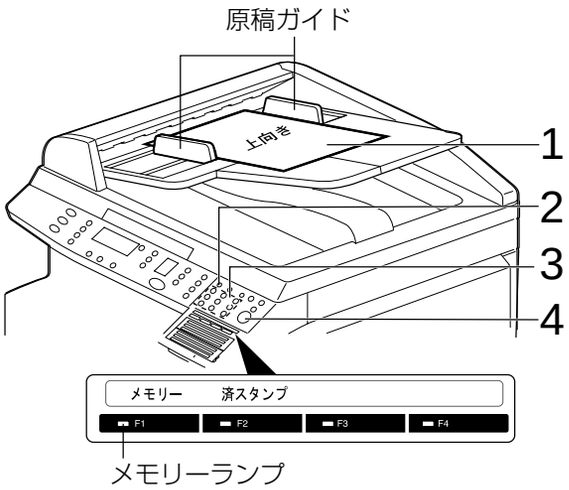
  ※同時通信動作中は通信中ランプが点滅します。

例：外線が表示されている場合

```
メモリー送信          受付No.001
通信中（外線）        送信頁:04/05
0312343333
うすく■■■□□こく      ふつう
```

■ ADF から短縮ダイヤルで送る

あらかじめ短縮ダイヤルを登録しておいてください。(☛101 ページ) 短縮ダイヤルは 00 ～99 までの任意の 100ヵ所をお使いになれます。



(ファクス) ランプ点灯状態、メモリー（F1）ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 図のように原稿をセットする

・ 原稿に合わせて画質を選ぶとき。(☛23 ページ)

```
  1月15日（火） 17:15    00%
通信ができます
原稿がセットされています

うすく■■■□□こく      ふつう
```

2 短縮 を押す

```
メモリー送信          宛先 数：000

短縮：__  （2 桁）

うすく■■■□□こく      ふつう
```

3 短縮番号(00 ～99)を選ぶ

・ テンキーボタンで短縮番号を選びます。

```
メモリー送信          宛先 数：001
松下電送システム
短縮：01（2 桁）

うすく■■■□□こく      ふつう
```

4 スタート を押す

・原稿読取が開始されます。
・読取が終了した原稿から送信が開始されます。

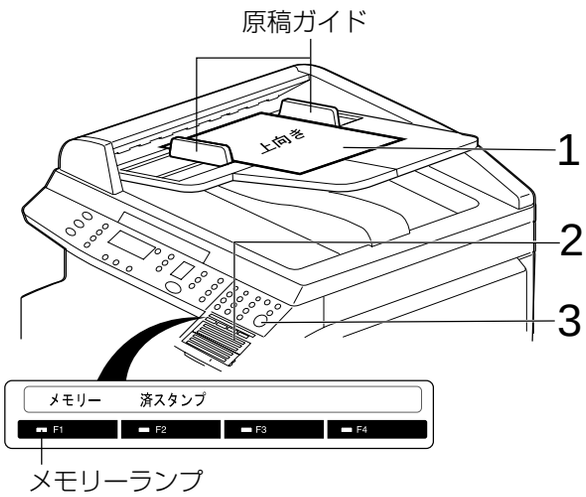
```
メモリー送信          受付No.001
通信中                送信頁:01
松下電送システム

うすく■■■□□こく      ふつう
```

お知らせ

- 宛先を間違えたときは、(ストップ)を押してください。
- 送信を途中でやめるときは、(ストップ)を押したあとに (1あ)(はい) を押してください。

■ ADF からワンタッチボタンで送る

あらかじめワンタッチダイヤルにダイヤル番号を登録しておいてください（☛99 ページ）。



ファクス ランプ点灯状態、
メモリー（F1）ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 図のように原稿をセットする

・ 原稿に合わせて画質を選ぶとき。
（☛23 ページ）

```
   1月15日（火） 17:15    00%
通信ができます
原稿がセットされています

うすく■■■□□こく      ふつう
```

2 ワンタッチボタン（01 ～ 60）を押す

```
メモリー送信          宛先数：001
東京本社
ワンタッチ：01

うすく■■■□□こく      ふつう
```

3 スタート を押す

・原稿読取が開始されます。
・読取が終了した原稿から送信が開始されます。

```
メモリー送信          受付No.001
通信中                送信頁:01
東京本社

うすく■■■□□こく      ふつう
```

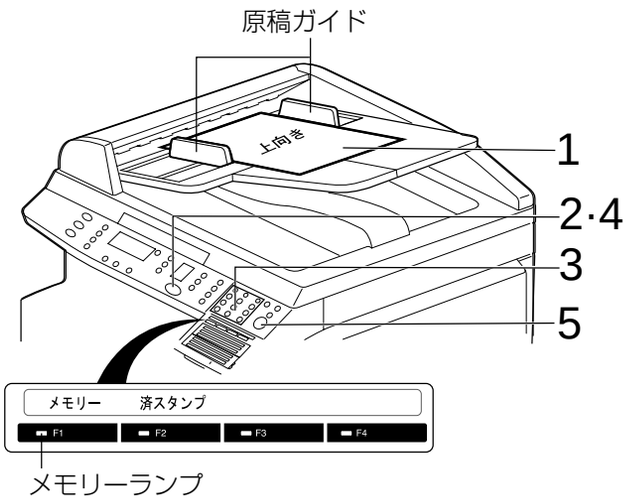
お知らせ

- 宛先を間違えたときは、ストップを押してください。
- 送信を途中でやめるときは、ストップを押したあとに 1あ（はい）を押してください。

★ 複数の宛先が登録されているワンタッチボタンと スタート を選ぶと、自動的に順次同報送信を始めます。

■ ADF から電話帳機能で送る

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録（☛99 ページ）してある宛先を電話帳機能で検索してダイヤルできます。



ファクス ランプ点灯状態、
メモリー（F1）ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 図のように原稿をセットする

・原稿に合わせて画質を選ぶとき。
（☛23 ページ）

```
  1月15日（火） 17:15   00%
通信ができます
原稿がセットされています

うすく■■■□□こく      ふつう
```

2 ▲ または ▼（電話帳）を押す

```
［あ］                  短縮：15
宛先名：愛知支店

うすく■■■□□こく      ふつう
```

3 検索文字を選ぶ

・1あ ～ 0わ記号 ボタンを使って検索文字を選びます。

```
［と］                  短縮：12
宛先名：東北支店

うすく■■■□□こく      ふつう
```

4 ▲ ▼を押して宛先を選ぶ

例：「東京本社」

例：「東京本社」

```
［と］                  短縮：01
宛先名：東京本社

うすく■■■□□こく      ふつう
```

5 スタート を押す

・原稿読取が開始されます。
・読取が終了した原稿から送信が開始されます。

```
メモリー送信          受付No.001
通信中                送信頁:01
東京本社

うすく■■■□□こく      ふつう
```

お知らせ

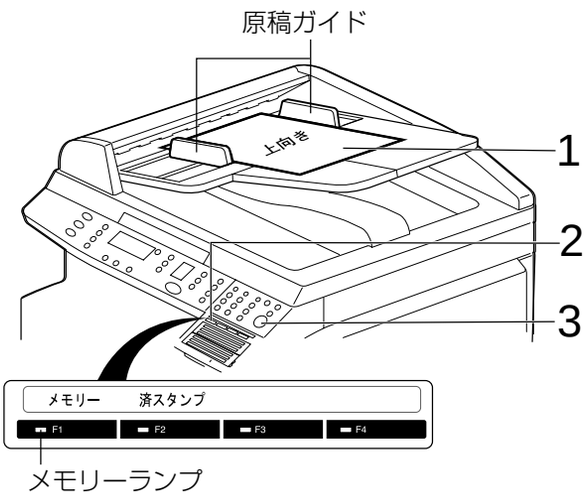
- 宛先を間違えたときは、ストップ を押してください。
- 送信を途中でやめるときは、ストップ を押したあとに 1あ（はい）を押してください。

ファクスを送る（ダイレクト送信）

原稿台ガラスからは 1 枚のみ、ADF からは 1 枚以上の原稿をダイレクト送信することができます。

■ ADF からダイレクト送信をする

原稿の枚数が多いなどでメモリーに入りきらないときにお使いください。



ファクス ランプ点灯状態、
メモリー（F1）ランプ消灯状態で

・点灯しているときは、押して消灯させる。

1 図のように原稿をセットする

・原稿に合わせて画質を選ぶとき。
（☛23 ページ）

```
 1月15日（火） 17:15   00%
通信ができます
原稿がセットされています

うすく■■■□□こく      ふつう
```

2 宛先を指定する

```
ダイレクト送信        宛先数：000

0334919191_

うすく■■■□□こく      ふつう
```

3 スタート を押す

・宛先にダイヤルし、送信が開始されます。

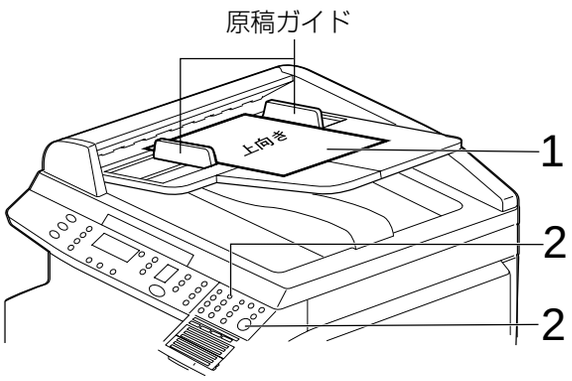
```
ダイレクト送信        受付No.001
ダイヤル中
0334919191

うすく■■■□□こく      ふつう
```

お知らせ

- ダイレクト送信を途中でやめるときは、ストップを押したあとに 1 あ(はい）を押してください。
- 手順 2 で宛先は直接ダイヤル、短縮ダイヤル、ワンタッチボタンから選べます。

■ ADF から再ダイヤルで送る

最後に通信をした宛先に、もう一度ファクスを送ります。



ファクス ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 図のように原稿をセットする

・ 原稿に合わせて画質を選ぶとき。
(☛23 ページ)

```
   1 月 1 5 日（火） 17:15    00%
通信ができます
原稿がセットされています

うすく■■■□□こく      ふつう
```

2 再ダイヤル/ポーズ スタート を押す

・宛先にダイヤルし、送信が開始されます。

```
ダイレクト送信          受付No.001
ダイヤル中
0334919191

うすく■■■□□こく      ふつう
```

自動再ダイヤル

相手が話し中などでつながらなかった場合、約 3 分間隔で 2 回まで自動的に再ダイヤルします。

■メモリー送信をしたとき

● 再ダイヤル待ちのとき

```
メモリー送信            受付No.001
再ダイヤル待ち
松下電送システム

うすく■■■□□こく      ふつう
```

・ 3 分間隔で 2 回まで自動的に再ダイヤルします。

● 再ダイヤルを取り消すには、ディスプレイに「再ダイヤル待ち」が表示されているときに ストップ 1 あ を押します。

● 再ダイヤル待ちのときに、次の送信をしたいときは、通常通り送信してください。

● つながらなかったときは、エラーメッセージ「通信エラーがありました」が表示されます。

■ダイレクト送信をしたとき

● 再ダイヤル待ちのとき

```
ダイレクト送信          受付No.001
再ダイヤル待ち
松下電送システム

うすく■■■□□こく      ふつう
```

・ 3 分間隔で 2 回まで自動的に再ダイヤルします。

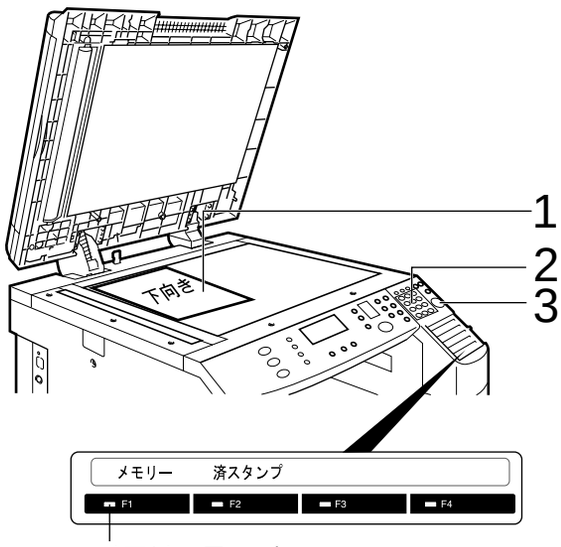
● 再ダイヤルを取り消すには、ストップ 1 あ を押します。

● 再ダイヤル待ちのときに、次の送信をしたいときは、ストップ 1 あ を押して取り消してから送信してください。

●つながらなかったときは、エラーメッセージ「通信エラーがありました」が表示されます。

■原稿台ガラスから送信する

原稿台ガラス上の原稿をメモリーに読み込んでから、宛先へ送信します。



ファクス ランプ点灯状態、
メモリー（F1）ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 図のように原稿をセットする

・原稿に合わせて画質を選ぶとき。
（☛23 ページ）

```
   1月15日（火） 17:15    00%
通信ができます
原稿サイズ＝A 4

うすく■■■□□こく      ふつう
```

2 宛先を指定する

・直接ダイヤル / ワンタッチダイヤル / 短縮ダイヤル / グループダイヤル / 電話帳

```
メモリー送信          宛先数：000

0334919191_

うすく■■■□□こく      ふつう
```

3 スタート を押す

・原稿の読み取りが始まります。
・原稿を 1 枚だけ送信するときは、手順６へ進みます。
・複数枚の原稿を送信するときは、手順４へ進みます。

```
メモリー送信          受付No.001
まだ読み込む原稿はありますか
1．いいえ    2．はい

うすく■■■□□こく      ふつう
```

4 続けて送信する原稿があるとき、2 か ABC セット を押す

```
メモリー送信          受付No.001
原稿サイズ＝A 4
スタートを押してください

うすく■■■□□こく      ふつう
```

5 原稿をセットし、スタート を押す

・原稿に合わせて、原稿サイズや画質モードを設定します。
・読み取りが終わると、手順３の表示に戻ります。

6 送信する原稿が無くなったら(1 あ) (セット) を押す

・宛先へダイヤルを始めます。
・通信中ランプが点灯します。
・送信原稿をお持ち帰りください。

7 相手につながると、自動的に送信を始める 送信が終わると、待機状態に戻ります。

```
メモリー送信          受付No.001
通信中                送信頁：01/02
0334919191
うすく■■■□□こく      ふつう
```

お知らせ

- 宛先を間違えたときは(ストップ)を押して手順 1 からやり直してください。
- 手順2で「ピピピ」と鳴ったときは、すでに30個の通信予約をしています。ファクスの送信をするときは、ダイレクト送信（☛28 ページ）をしてください。
- 送信を途中でやめるときは。原稿台ガラスの原稿を取ってからディスプレイで確認して、(ストップ) を押した後に (1 あ)(はい) を押してください。
- 送信できなかったときは、自動的に通信結果レポートがプリントされます。（☛92 ページ）
- ダイヤル中や通信中でも、次の通信を予約できます。手順1からの操作をしてください。
- メモリーには、A4 標準原稿で約 120 枚まで蓄積できます。
- ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされているときは、原稿台ガラスにセットしてある原稿を読み取ることはできません。
- インデックスなどはみ出した部分のある原稿や、紙の色が濃く反射率が極端に低い原稿などの場合、あるいは、原稿台ガラスにセットした本の片方のページだけを送信したい場合などは、手順1でディスプレイに「原稿サイズ＝○○」と表示されているときに (原稿サイズ) を押して、原稿サイズを指定できます。
- サイズを読み取れない原稿の場合は、(原稿サイズ) を押して原稿サイズを指定します。
- A4 サイズの原稿をA4□方向にセットしてメモリー送信すると、自動的に回転送信されます。
  回転送信されないように設定することもできます。（☛32 ページ）
- 手順3または5で原稿の読み取りが終わったあと、約1分間何も操作しないと、送信を中止して待機状態に戻ります。
- スリープモード中に原稿台ガラスからファクスを送るには、(節電) を押して待機画面に戻してから送信してください。
- オプションのG4通信ユニットを増設しているときは、手順2で電話番号を入力後、回線選択を登録した機能ボタンを押して通信する回線としてG4、G3（Ｉ）、外線のどれかを指定します。

```
メモリー送信          宛先数：1
0312343333_           G 4
うすく■■■□□こく      ふつう
```

- オプションの G4 通信ユニットを増設しているときは、最大３通信の同時動作が可能です。同時動作中のディスプレイに表示される通信回線表示は、次の優先度で表示されます。
  「外線」→「G4」→「G3（Ｉ）」
  ※同時通信動作中は通信中ランプが点滅します。

例：外線が表示されている場合

```
メモリー送信          受付No.001
通信中（外線）        送信頁:04/05
0312343333
うすく■■■□□こく      ふつう
```

回転送信について

A4 原稿を「← 」方向へセットしたとき、読み取った画像を 90° 回転し送信して、相手の A4 用紙に等倍送信します。

ファクス ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 **システム登録を選ぶ**　ファンクション　7 ま PQRS　4 た GHI　セット

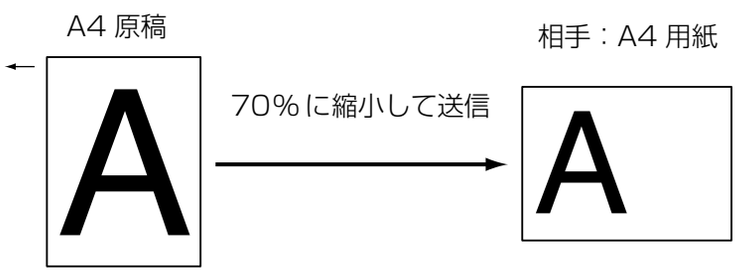
2 **回転送信の設定を選ぶ**　0 わ 記号　7 ま PQRS　8 や TUV　セット

```
078 回転送信              設定:1
1．なし      2．あり
うすく■■■□□こく      ふつう
```

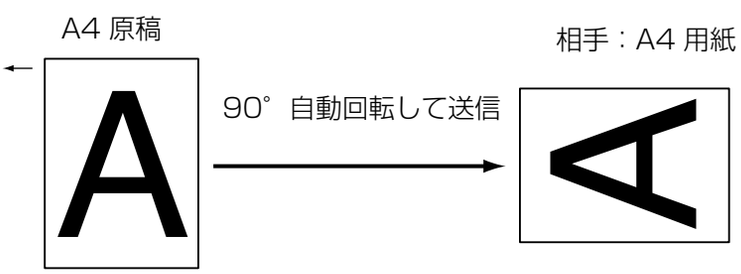
3 **回転送信を有効にする**　2 か ABC　セット

4 ストップ **を押す**

■ 回転送信をしない場合



■ 回転送信を有効にした場合



お知らせ

- 回転送信は、メモリー送信（メモリー（F 1）ランプが点灯）のときにご利用できます。ダイレクト送信（メモリー（F 1）ランプが消灯）では、回転送信はおこないません。
- お買い上げ時の設定では、システム登録の「078 回転送信」は“あり”になっています。

メモリーがいっぱいになると

システム登録の「082 クイックメモリー送信」（☛130ページ）の設定が“あり”で宛先数が1つの場合、メモリーがいっぱいになると、蓄積された部分までを自動的に送信します。メモリーに蓄積されたページの送信終了後、残りの原稿を送信し直してください。また、設定が“なし”のときまたは、設定が”あり”で宛先数が複数な場合にメモリーがいっぱいになった場合は、次のどちらかの操作をしてください。

- 1 ：中止で動作を中止し、メモリーの内容の消去を行います。再度すべての原稿を「ダイレクト送信」してください。
- 2 ：実行で、完全に蓄積されたページまでを送信します。残りの原稿を送信し直してください。

1 **アラームが鳴る**

```
メモリーが一杯になりました
送信しますか
1：中止        2：実行

うすく■■■□□こく        ふつう
```

2 **1 あ または 2 かABC を押す**

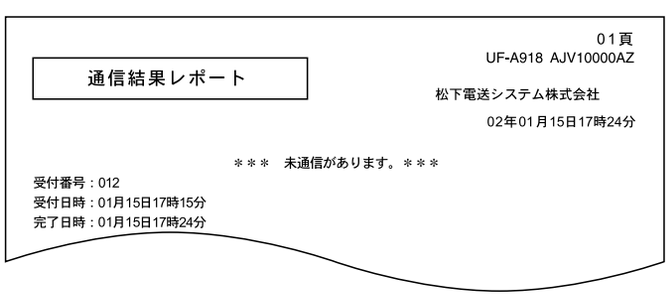
お知らせ

- 1 ページ目でメモリーがいっぱいになったときは、送信することはできません。ダイレクト送信（☛28ページ）してください。
- 取り消しの選択画面が表示されてから、約 1 分、何も操作しないと、自動的にメモリーの内容が宛先に送信されます。
- システム登録の「082 クイックメモリー送信」（☛130ページ）の設定が“なし”のとき、宛先数が1 つで複数枚メモリー送信する場合、メモリー使用量が70%を超えた場合は、自動的にダイレクト送信に切り替わって送信します。

通信結果レポート

送信やポーリング受信などをしたとき、宛先や通信結果をレポートにしてプリントできます。

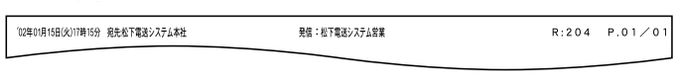
- システム登録の「012 通信結果レポート」を設定すれば、レポートのプリント方法を選択できます。（☛128 ページ）
- お買い上げ時は、通信エラーのときだけレポートをプリントします。



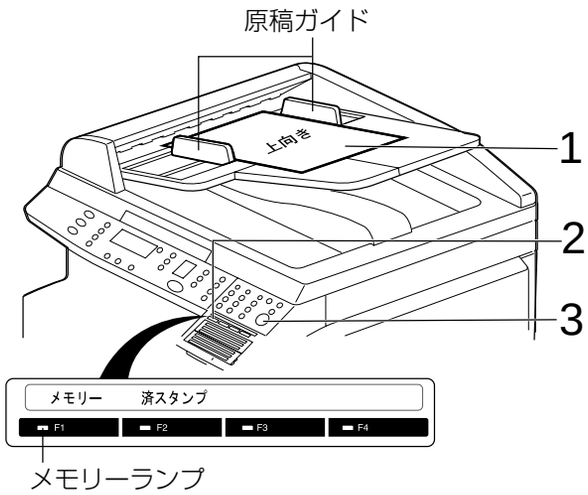
発信元情報について

ファクスを送信したとき、発信元に登録（☛139ページ）された会社名や部署名を通信時刻などと一緒に相手の用紙の先端にプリントできます。

相手用紙のプリント例



一度にたくさんの相手に送る（順次同報送信）



（ファクス）ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 図のように原稿をセットする

・原稿に合わせて画質を選ぶとき。
（☛23 ページ）

```
 1月15日（火） 17:15   00%
通信ができます
原稿がセットされています

うすく■■■□□こく      ふつう
```

2 複数の宛先を選ぶ

・複数宛先の指定のしかた。
（☛35 ページ）

3 （スタート）を押す

・原稿読取が開始されます。

お知らせ

● 送信を途中でやめるときは、（ストップ）を押したあとに 1（あ）（はい）を押してください。

複数宛先の指定のしかた

宛先は直接ダイヤルで30ヵ所、短縮ダイヤルで100ヵ所、ワンタッチボタンで60ヵ所の計190ヵ所まで指定できます。

- 直接ダイヤルで選ぶ→ [宛先の電話番号] ＋ セット →次の宛先を選べる
- 短縮ダイヤルで選ぶ→ 短縮 ＋ [指定する短縮番号] →次の宛先を選べる
- ワンタッチボタンで選ぶ

  →指定するワンタッチボタンを押す→次の宛先を選べる

例：「０３３４９１９１９１」「ワンタッチボタン０１」「短縮ダイヤル０１」を指定する。

ファクス ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 **原稿をセットする**

2 **ダイヤルを指定する**

```
メモリー送信          宛先数：000

0334919191_

うすく■■■□□こく      ふつう
```

3 セット **を押す**

```
メモリー送信          宛先数：001
宛先を追加してください
又は　スタートで通信します

うすく■■■□□こく      ふつう
```

4 01 **を押す**

```
メモリー送信          宛先数：002
東京本社
ワンタッチ：０１

うすく■■■□□こく      ふつう
```

5 短縮 0わ記号 1あ **を押す**

```
メモリー送信          宛先数：003
松下電送システム
短縮：０１　（２桁）

うすく■■■□□こく      ふつう
```

6 セット **を押す**

```
メモリー送信          宛先数：003
宛先を追加してください
又は　スタートで通信します

うすく■■■□□こく      ふつう
```

7 スタート **を押す**

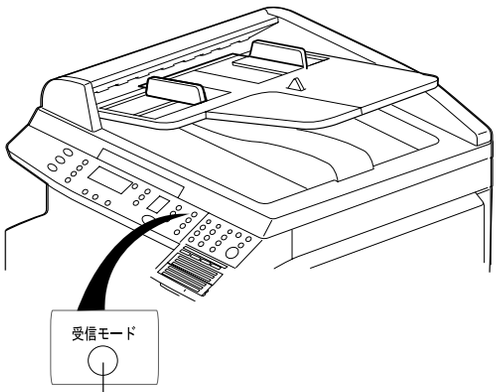
原稿を読み取り、送信が開始されます。

お知らせ

- 複数宛先指定の途中で◀または▶ボタンを押すと、指定した宛先の確認ができます。
- 間違った宛先を指定したときは、◀ または▶ ボタンで宛先を表示させてからクリアー を押してください。

ファクスを受ける

■受信モードを選ぶ



受信モード選択ボタン

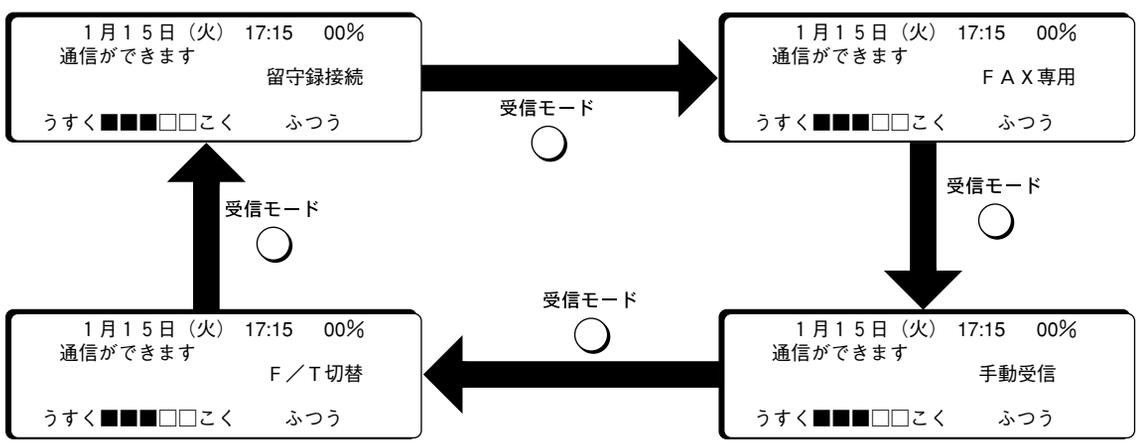
ファクスの受信をするとき、受信モード ○ を押して、受信のしかたを切り替えます。

1 ファクス専用（☛37 ページ）
・電話がかかってくると、自動的にファクス受信します。

2 手動受信（☛37 ページ）
・電話がかかってくると、呼出音が鳴ります。受信操作をして受信します。

3 ファクス／電話自動切替（F/T 切替）（☛38 ページ）
・電話がかかってくると、一度電話を受けてから、相手がファクスか電話を自動的に判断して切り替えます。

4 留守録接続（☛40 ページ）
・接続した留守番電話機が電話を受けたあと、相手がファクスの場合には自動的に受信します。

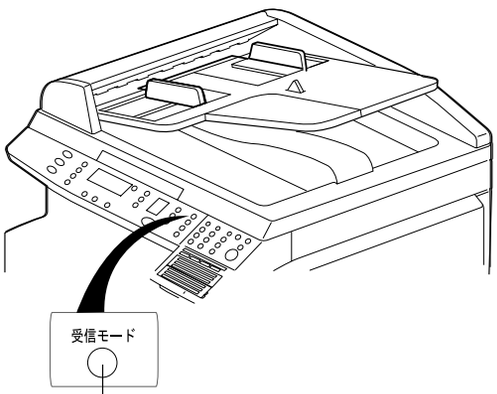


お知らせ

● A4▯ の用紙をセットしているときに A4 原稿を受信した場合、お買い上げ時の設定では、自動的に回転させてプリントします。

■ファクス専用のときファクスを受ける

相手がファクスを送ってくると、自動的に受信を始めます。



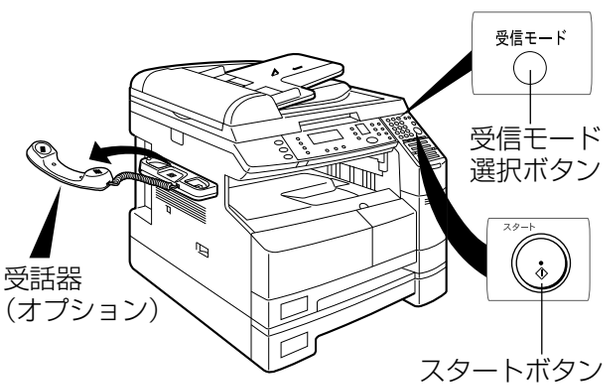
受信モード ○ を押して、FAX 専用を表示させる

1 相手がファクスを送ってくると、つながる
・通信中ランプが点灯します。

2 自動的に受信が始まる

■手動受信する

本機にオプションのハンドセットユニットを接続してお使いになっている場合、接続した受話器で話をしたあとファクスの受信ができます。



受信モード ○ を押して、手動受信を表示させる

1 呼出音が鳴ったら受話器を上げる

2 相手と話をする（★）

3 原稿をセットしないで スタート を押す

4 受話器を戻す（★★）

お知らせ

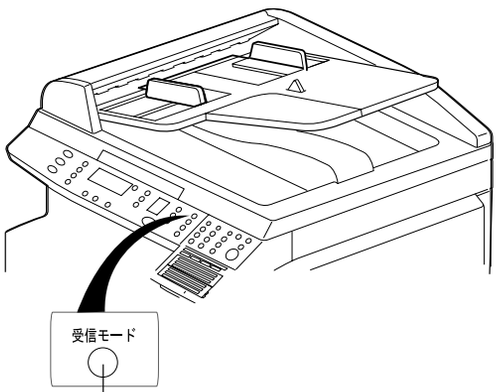
★ 受話器を上げたときに何も聞こえない場合は、手順3の操作をして受信に切り替えてください。

★★ スタート を押すまえに受話器を戻すと、電話が切れます。

- オプションのハンドセットをお使いになるときは、システム登録の「075 OP ハンドセット」の設定を“あり”にしてください。（☛130 ページ）
- ファクスの受信を始めるまえの呼出音の回数は、システム登録の「021 着信呼出回数」で設定してください。（☛129 ページ）

■ ファクス／電話自動切替のときファクスを受ける

一度電話を受けてから、相手がファクスか電話かを自動的に判断して切り替えます。



受信モード選択ボタン

受信モード ○ を押して、F/T 切替を表示させる

1 相手がファクスを送ってくると、つながる

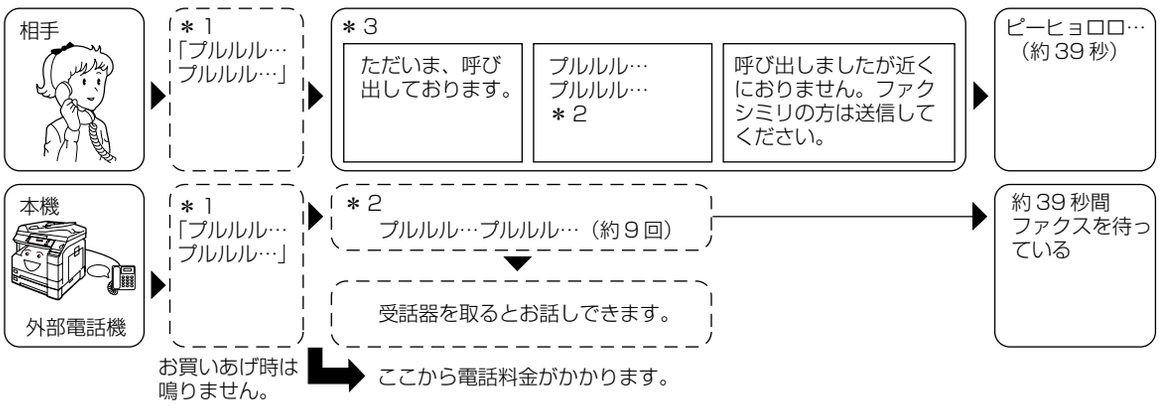
・通信中ランプが点灯します。

2 自動的に受信が始まる

お知らせ

- 相手が電話または手動送信のファクスのとき
  →電話のときは呼出音が鳴ります。受話器を上げてお話しください。
  →手動送信のファクスのときは、受話器を上げて スタート を押してください。
  外部電話機で受けた場合は、リモート受信の操作をしてください。(☛44ページ)
- ファクスの受信を始めるまえの呼出音の回数は、システム登録の「021 着信呼出回数」で設定してください。(☛129 ページ)

ファクス／電話自動切替にセットしているとき、電話がかかってくると



＊1 「021 着信呼出回数」(☛129ページ「システム登録」)
「ただいま呼び出しております」が聞こえるまえに呼出音を鳴らすことができます。
呼出回数を設定すると、相手が自動送信のファクスでも呼出音が鳴ります。

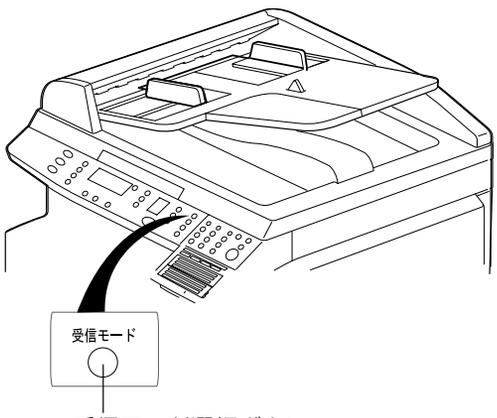
＊2 「018 F/Tベル回数」(☛129ページ「システム登録」)
ファクスの呼出音を鳴らす回数です。設定により呼出回数を変更することができます。変更すると、相手に流す「プルルル…」音の回数も変わります。

＊3 「072 音声応答」(☛130ページ「システム登録」)
設定により、相手に音声応答を流さないで、呼出音だけを流すことができます。

● 呼出音の音量は、◀▶キーで音量を調節してください。ディスプレイ上に音量レベルが表示されます。(☛47ページ)

■留守録接続のときファクスを受ける

接続した留守番電話機が電話を受けたあと、相手がファクスの場合には自動的に受信します。



受信モード選択ボタン

受信モード ○ を押して、留守録接続を表示させる

1 相手がファクスを送ってくると、呼出音が鳴る

- 外付けの留守番電話機で設定されている回数だけ、呼出音を鳴らします。
- 受信が始まるまで、留守番電話機に録音されている応答メッセージを流します。

2 自動的に受信が始まる

お知らせ

- 相手が電話または手動送信のファクスのとき
  - → 電話のときは、呼出音のあと相手に外付けの留守番電話機の応答メッセージを返し、用件を録音します。
  - → 手動送信のファクスのときは、外付けの留守番電話機に切り替わったあと、相手が送信してくると受信を始めます。
- “留守録接続”にセットするときは、必ず外付けの留守番電話機を接続してください。
- “留守録接続”にセットしたときは、外付けの留守番電話機も必ず留守セットしてください。（☛41 ページ）
- 留守番電話機の呼出回数は10回以上にしないでください。自動送信のファクスを受信できなくなることがあります。
- 留守番電話機の録音テープやメモリーの残りが少ない、またはいっぱいになっているときは、ファクスの受信ができなくなります。（☛41 ページ）

■留守番電話機の設定

お持ちの留守番電話機に応答メッセージを録音し、留守セットします。

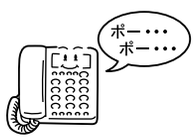
1 **留守番電話機に応答メッセージ（60 秒以内）を録音する**

2 **留守セットする**

・留守番電話機の取扱説明書に従って、留守セットしてください。

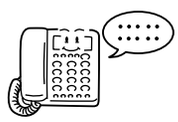
留守番電話機を接続したときのご注意

●用件件数について
ファクス送信音「ポー…ポー…ポー…」が用件1件分として録音される



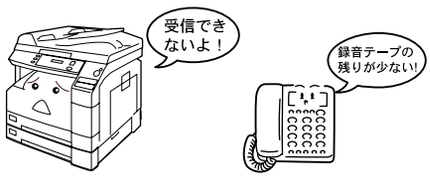
・自動送信のファクスの場合、用件にファクス送信音が録音されることがあります。

用件1件分に何も録音されていないことがある



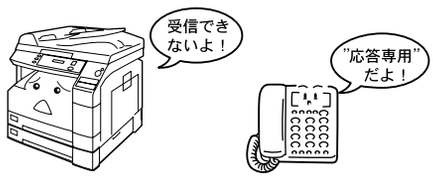
・相手が手動送信のファクスの場合、用件に無音が録音されることがあります。

●録音テープの残りが少なくなってきているときファクスの受信ができない。



・留守番電話機が動き出してからの時間が少ないため、受信に切り替わらないことがあります。録音テープを巻き戻してください。

●留守番電話機を“応答専用”にしているときファクスの受信ができない。



・留守番電話機の応答メッセージを返してすぐに電話が切れます。ファクスの受信もしたいときは“応答専用”にセットしないでください。

● 用件録音中のとき
用件録音中にファクスの受信に切り替わる。

・録音中に無音（約6秒）が続くと、ファクスの受信に切り替わります。

●留守番電話機の機能について
留守番電話機の自動発信機能（転送機能、ポケットベル呼出機能、予約発信機能など）は使えなくなります。

メモリー代行受信

用紙がなくなったなどでプリントできなくなっても、メモリーが代わりに受信します。

1 **用紙がなくなるとメモリーが代わりに受信する**

2 **受信が終わる**

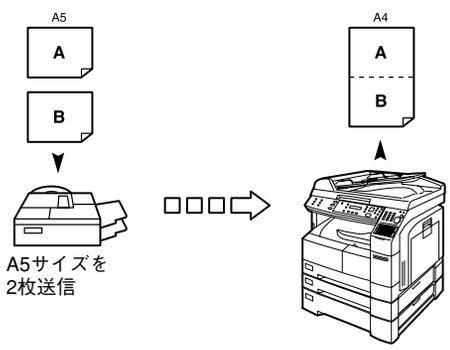
3 **用紙を補給する**
・プリント開始。

お知らせ

- メモリーには制限があります。用紙は早めに補充してください。(☛コピー編を参照ください)
- システム登録の「066 代行出力」の設定が“あり”になっているときは、適正サイズの用紙が無くなると、他のカセットにセットされている用紙に記録します。(☛130 ページ)
- メモリーにはA4 標準原稿(A4 サイズ 700 字程度の原稿)で約 120 枚まで受信できます。

2 in 1 受信

相手の方が、セットされている用紙の 2 分の 1 以下のサイズの原稿を送ってきた場合に、2 枚の原稿を合成して 1 枚の用紙にプリントすることができます。A5 横、B5 横サイズなど、小さいサイズの原稿を受信するときに、用紙を節約することができます。
ただし、受信原稿のサイズと同じサイズの用紙がセットされているときは、同じサイズの用紙にプリントし、2 in 1 受信はしません。

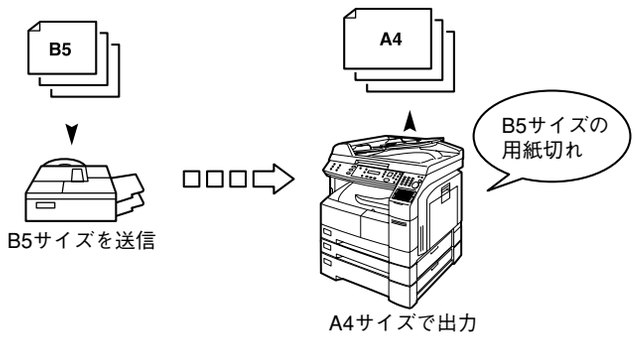


お知らせ

- システム登録の「067 受信 2 in 1 機能」の設定が“なし”になっているときは、2 in 1 受信できません。(☛130 ページ)

代行出力

本機は相手が送ってきた原稿に合わせて、受信した原稿を最適なサイズの用紙でプリントします。代行出力の設定をしておけば、プリントの途中で用紙がなくなっても他のカセットにセットされている用紙を使って、受信した原稿をプリントできます。

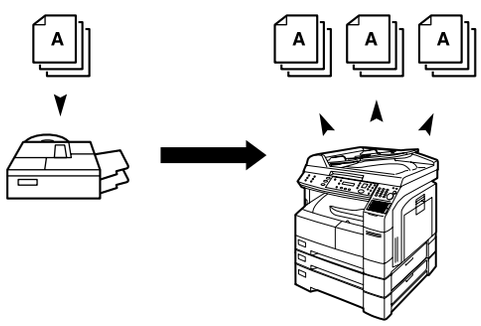


お知らせ

- 他の用紙にはプリントしたくないときは、システム登録の「066 代行出力」の設定を“なし”にしておいてください。（☛130 ページ）

マルチプリント受信

受信したときに、あらかじめ設定した部数だけプリントすることができます。



お知らせ

- マルチプリント受信をするには、システム登録の「101 マルチプリント部数」の設定が必要です（☛130 ページ）。
- ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録してある宛先からマルチプリント受信を設定するには、次の設定が必要です。
  ・特殊通信機能の登録で「マルチプリント部数」を指定する。（☛104ページ）
  ・送信側（相手機）での自局情報の登録をする。

ファクス

リモート受信

システム登録の「047 リモート受信」の設定を“あり”にすると、外部電話機で話をした後、外部電話機からの操作で受信に切り替えることができます。（☛129ページ）

1 **外部電話機の受話器を上げ、相手と話をする**

2 **ファクスの受信に切り替える**

・プッシュホン式回線をお使いの場合：（＊トーン）（＊トーン）（2秒以内に押す）

・回転ダイヤル式回線をお使いの場合：（9 WXYZ）（9 WXYZ）（5秒以内にダイヤルする）

3 **受話器を戻す**

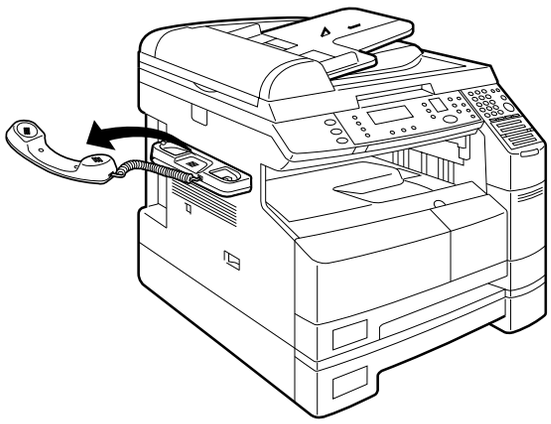
お知らせ

- 外部電話機から、電話をかけたときは、リモート受信できません。
- 手順1でファクス送信音「ポー・・ポー・・」が聞こえた場合、相手は自動送信のファクスです。手順2の操作をしてください。

電　話

電話の使いかた（オプション）

■ 電話をかける



1 **受話器を上げる**

・「ツー」が聞こえる。

・《通信中》ランプが点灯する

```
   1月15日（火） 17:15    00%
受話器が上がっています

うすく■■■□□こく      ふつう
```

2 **宛先を指定する**

・ 直接ダイヤル / ワンタッチダイヤル / 短縮ダイヤル / 電話帳

・ダイヤルのしかた（☛24 ページ）

```
   1月15日（火） 17:15    00%
ダイヤルしています
0334919191

うすく■■■□□こく      ふつう
```

3 **話をする**

4 **受話器を戻す**

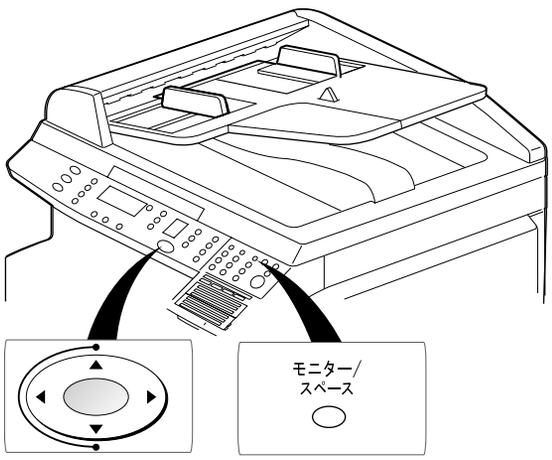
お知らせ

- オプションのハンドセットをお使いになるときは、システム登録の「075 OPハンドセット」の設定を“あり”にしてください。（☛130 ページ）
- 宛先を間違えたときは、受話器を戻して、手順 1 からやり直します。
- 手順2でワンタッチダイヤルを使用したとき、「ピピピ」と鳴ったときは、グループダイヤル（☛108 ページ）として登録されているかまたはプログラムダイヤルとして登録されているワンタッチダイヤルを選んでいます。電話をかけることはできません。
- モニター/スペースを押すと、受話器を上げないでダイヤルできます。電話がつながったら、受話器を上げてお話しください。

音量の設定のしかた

■ モニター音量の設定

モニター/スペース を押したときなどに聞こえるスピーカー音の大きさを調整できます。



1 モニター/スペース を押す

```
    1月15日（火） 17:15    00%
ダイヤルしてください

うすく■■■□□こく      ふつう
```

2 ◀ または ▶ を押す

・現在、設定されているモニター音量が表示されます。

```
    1月15日（火） 17:15    00%
        モニター音量
    小［■■■          ］大
うすく■■■□□こく      ふつう
```

3 ◀ または ▶ を押して、モニター音量を調整する

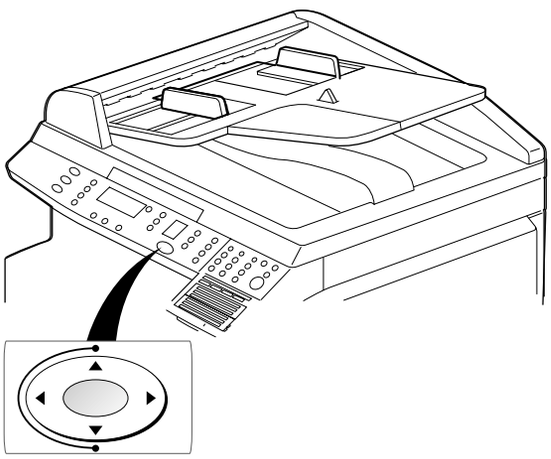
・▶：モニター音が大きくなります。
・◀：モニター音が小さくなります。
・音量は８段階まで調整できます。
・◀を押して、“■”表示を消すと、モニター音は聞こえなくなります。

```
    1月15日（火） 17:15    00%
        モニター音量
    小［              ］大
うすく■■■□□こく      ふつう
```

4 モニター/スペース を押す

```
    1月15日（火） 17:15    00%
通信ができます

うすく■■■□□こく      ふつう
```

■呼出音量の設定



ファクス ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 **◀または▶を押す**

・現在、設定されている呼出音量が表示され、1 秒間、呼出音が鳴ります。

2 **◀または▶を押して、呼出音を調整する**

・テスト用の呼出音を聞きながら、お好みの大きさに調整します。
・▶：呼出音が大きくなります。
・◀：呼出音が小さくなります。
・呼出音はオフ、小、大の3段階調整ができます。

便利な機能の使い方

ポーリング通信

ポーリングパスワードが一致すると、ポーリング送信側にセットしている原稿をポーリング受信側の操作で取り出すことができます。このとき、通信費はポーリング受信側の負担となります。

● ポーリング通信は機種が限定されます。詳しくは、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。

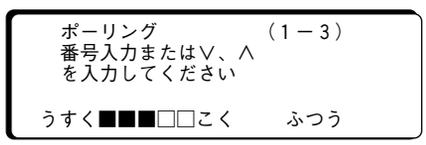
■ポーリング送信

(ファクス) ランプ点灯状態で

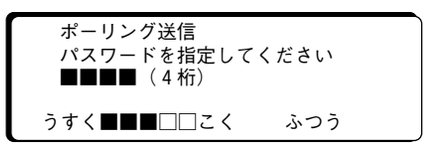
・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 原稿をセットする

2 (ファンクション) (3さ DEF) を押す



3 (2か ABC) (セット) を押す



4 パスワード（4桁）を入れる

5 (スタート) を押す

・原稿読取開始。

6 相手からのポーリング受信の操作で、送信開始

・送信が終わると、メモリーの内容は消去されます。

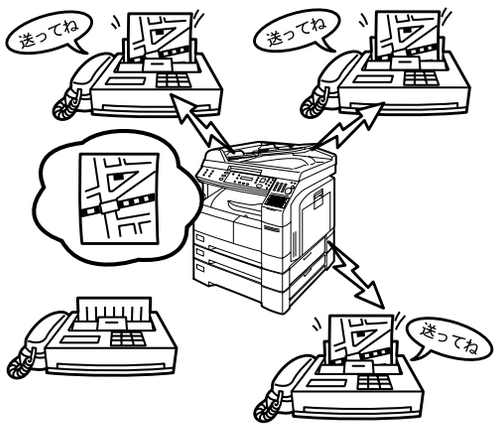
お知らせ

- ポーリング送信の指定を途中でやめるときは、(ストップ)を押してください。
- ポーリング送信は、最大10件まで指定できます。
- ポーリング送信を解除するときは、「通信予約の消去」をしてください。（☛84ページ）。
- ワンタッチ、機能ボタンにポーリング送信の操作をファンクション登録しておけば、登録ボタンを押したあと、手順4からの操作をするだけでポーリング送信を指定できます。
- 原稿読取中にメモリーがいっぱいになったときは、ポーリング送信の登録はできません。

掲示板の使いかた

システム登録の「027 ポーリング送信保存」の設定を“あり”にしておけば（☛129ページ）ポーリング送信をしてもメモリーに読み込んだ原稿は消去されません。同じ原稿を複数の相手にポーリング送信（掲示板送信）したいときにお使いください。

● 掲示板送信を選んだとき、メモリーに読み込んだ原稿を消去したいときは、（☛84ページ）「通信予約の消去」の操作をしてください。



相手を限定しないでポーリング送信をする

ポーリングパスワードを入れないでセットすれば、当社機以外のファクスやパスワードを使っていない相手にもポーリング送信できます。

ファクス ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 **原稿をセットする**

2 ファンクション ○ 3さ DEF **を押す**

```
ポーリング              （1－3）
番号入力または∨、∧
を入力してください

うすく■■■□□こく      ふつう
```

3 2か ABC セット ○ **を押す**

```
ポーリング送信
パスワードを指定してください
■■■■（4桁）

うすく■■■□□こく      ふつう
```

4 スタート ◇ **を押す**

・原稿読取が開始されます。

● システム登録の「026 ポーリング用暗証番号の登録」をしている場合は、手順3のあとクリアーボタンを押してから、スタートボタンを押してください。

■ポーリング受信

ファクス ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 ファンクション を押す　3さ DEF を押す

```
ポーリング              （1－3）
番号入力または∨、∧
を入力してください

うすく■■■□□こく      ふつう
```

2 1あ　セット を押す

```
ポーリング受信
パスワードを指定してください
■■■■（4桁）

うすく■■■□□こく      ふつう
```

3 パスワード（4桁）を入れる

4 セット を押す

```
ポーリング受信      宛先数：000
宛先を指定してください


うすく■■■□□こく      ふつう
```

5 宛先を指定する

・ 直接ダイヤル ワンタッチダイヤル 短縮ダイヤル グループダイヤル 電話帳

・最大190宛先まで指定できます。「複数宛先の指定のしかた」（☛35ページ）

6 スタート を押す

・宛先にダイヤルし、ポーリング受信を始めます。

お知らせ

- ポーリング受信の指定を途中でやめるときは、ストップ を押してください。
- ワンタッチボタンにポーリング受信の操作と宛先をプログラム登録しておけば、ワンタッチボタンを押すだけでポーリング受信ができます。（☛111ページ）
- ワンタッチ、機能登録ボタンにポーリング受信の操作をファンクション登録しておけば、登録ボタンを押したあと、手順3からの操作をするだけでポーリング受信ができます。（☛113ページ）

■リバースポーリング通信

相手に原稿を送信してから、相手にセットされているポーリング送信の原稿を受信します。
リバースポーリング通信は、機密保持のため、送信側と受信側に設定されたポーリング通信用パスワードを照合し、一致しないと受信できません。

ファクス ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 原稿をセットする

```
  1月15日（火） 17:15   00%
通信ができます
原稿がセットされています

うすく■■■□□こく      ふつう
```

2 ファンクション ○ 3さ DEF を押す

```
ポーリング              （1－3）
番号入力またはV、Λ
を入力してください

うすく■■■□□こく      ふつう
```

3 3さ DEF セット ○ を押す

・システム登録の「026 ポーリング用暗証番号の登録」をすでに行っているときは、登録内容が表示されます。パスワードを変更しない場合は、手順5へ進んでください。

```
リバースポーリング
パスワードを指定してください
■■■■    （4桁）

うすく■■■□□こく      ふつう
```

4 パスワード（4桁）を入れる

例：パスワード「1 2 3 4」を指定

1あ 2かABC 3さDEF 4たGHI

・テンキーボタンで4桁のパスワードを指定します。

```
リバースポーリング
パスワードを指定してください
1 2 3 4    （4桁）

うすく■■■□□こく      ふつう
```

5 セット ○ を押す

```
リバースポーリング　宛先数：000
宛先を指定してください


うすく■■■□□こく      ふつう
```

6 宛先を指定する

・直接ダイヤル ワンタッチダイヤル 短縮ダイヤル 電話帳 グループダイヤル

・リバースポーリング通信がセットされます。

・最大190宛先まで指定できます。「複数宛先の指定のしかた」（☛35ページ）

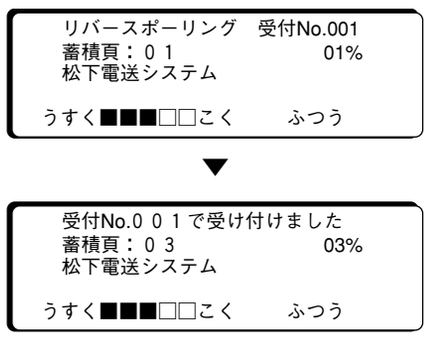
```
リバースポーリング　宛先数：001
松下電送システム
短縮：01    （2桁）

うすく■■■□□こく      ふつう
```

7 スタート を押す

リバースポーリング通信が始まる

・宛先に送信を始めます。
・送信が終わるとパスワードを照合し、一致したらポーリング受信を始めます。

・原稿読取開始



お知らせ

- リバースポーリング通信では、通信料金はポーリング受信側が負担します。
- リバースポーリング通信は、相手機種が限定されます。詳しくは、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。
- リバースポーリング通信の指定を途中でやめるときは、ストップを押してください。
- G4通信（オプションのG4通信ユニット経由）でのリバースポーリング通信は利用できません。

タイマー通信

タイマー送信とタイマーポーリング受信、タイマー特殊通信他、通信予約を合わせて 30 タイマーまで指定できます。

■タイマー送信

あらかじめ指定した時刻に自動的に原稿を送信します。

(ファクス) ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 原稿をセットする

2 ファンクション ○ (1 あ) を押す

```
タイマー通信          (1－3)
番号入力または∨、∧
を入力してください

うすく■■■□□こく      ふつう
```

3 (1 あ) を押し、セット ○ を押す

```
メモリー送信
予約時刻を指定してください
__ :

うすく■■■□□こく      ふつう
```

4 送信時刻を入れる

・ 時刻は 24 時間制で入れます。

5 セット ○ を押す

```
メモリー送信          宛先数：000
宛先を指定してください


うすく■■■□□こく      ふつう
```

6 宛先を指定する

・ 直接ダイヤル / ワンタッチダイヤル / 短縮ダイヤル / 電話帳 / グループダイヤル

・最大 190 宛先まで指定できます。「複数宛先の指定のしかた」（☛35 ページ）

7 スタート を押す

・タイマー送信がセットされます。

■タイマーポーリング受信

あらかじめ指定した時刻に自動的にポーリング受信を始めます。

ファクス ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 ファンクション ○ 1あ を押す

```
タイマー通信              （1－3）
番号入力またはV、Λ
を入力してください

うすく■■■□□こく      ふつう
```

2 2かABC を押し、セット ○ を押す

```
ポーリング受信
予約時刻を指定してください
__ ：

うすく■■■□□こく      ふつう
```

3 受信時刻を入れる

・ 時刻は 24 時間制で入れます。

4 セット ○ を押す

```
ポーリング受信
パスワードを指定してください
■■■■（4桁）

うすく■■■□□こく      ふつう
```

5 パスワード（4桁）を入れる

6 セット ○ を押す

```
ポーリング受信        宛先数：000
宛先を指定してください

うすく■■■□□こく      ふつう
```

7 宛先を指定する

・ 直接ダイヤル ワンタッチダイヤル 短縮ダイヤル 電話帳 グループダイヤル

・最大 190 宛先まで指定できます。「複数宛先の指定のしかた」（☛35 ページ）

8 スタート を押す

・タイマーポーリング受信がセットされます。

お知らせ

- タイマー送信／タイマーポーリング受信の指定を途中でやめるときは、ストップ を押してください。
- すでに 30 件のタイマー通信を含む通信予約が予約されていると、これ以上タイマー通信をセットすることはできません。現在予約されているタイマー通信または他の通信予約を解除（☛83ページ）するか、通信が終わってからセットし直してください。
- ワンタッチボタンにタイマー送信やタイマーポーリング受信の操作と宛先をプログラム登録しておけば、ワンタッチボタンを押すだけで通信を指定できます。（☛111 ページ）
- ワンタッチ、機能ボタンにタイマー送信やタイマーポーリング受信の操作をファンクション登録しておけば、登録ボタンを押したあとに宛先を入れるだけで通信を指定できます。（☛113 ページ）

■タイマー特殊通信

本機でご利用になれる様々な通信を、通信時刻を指定してお使いになれます。

(ファクス) ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 ファンクション ○ (1あ) を押す

```
タイマー通信              (1－3)
番号入力または∨、∧
を入力してください

うすく■■■□□こく    ふつう
```

2 (3さ DEF) を押し、セット ○ を押す

```
特殊通信
予約時刻を指定してください
__ ：

うすく■■■□□こく    ふつう
```

3 通信時刻を入れる

・ 時刻は 24 時間制で入れます。

4 セット ○ を押す

```
特殊通信              (1－5)
番号入力または∨、∧
を入力してください

うすく■■■□□こく    ふつう
```

5 (1あ) ～ (6は MNO) または、(◎) を押して通信を選ぶ

・下記「特殊通信一覧表」を参照して選びます。

6 通信を指定する

特殊通信一覧表

ダイヤルボタン	特殊通信の種類		参照ページ
(1あ)	中継同報指示		57 ページ
(3さ DEF)	ファイル送信		58 ページ
(4た GHI)	Ｆコード通信	Ｆコード送信	61 ページ
		Ｆコード取り出し	63 ページ
(5な JKL)	マルチコピー通信		65 ページ

お知らせ

- タイマー特殊通信の指定を途中でやめるときは、(ストップ ⊖)を押してください。
- すでに30件のタイマー通信を含む通信予約が予約されていると、タイマー特殊通信をセットすることはできません。現在予約されているタイマー通信または他の通信予約を解除(☛83ページ)するか、通信が終わってからセットし直してください。
- ワンタッチボタンにタイマー特殊通信の操作と宛先をプログラム登録しておけば、ワンタッチボタンを押すだけで通信を指定できます。(☛111 ページ)
- ワンタッチ、機能ボタンにタイマー特殊通信の操作をファンクション登録しておけば、登録ボタンを押したあとに宛先を入れるだけで通信を指定できます。(☛113ページ)

中継通信

■ 中継通信について

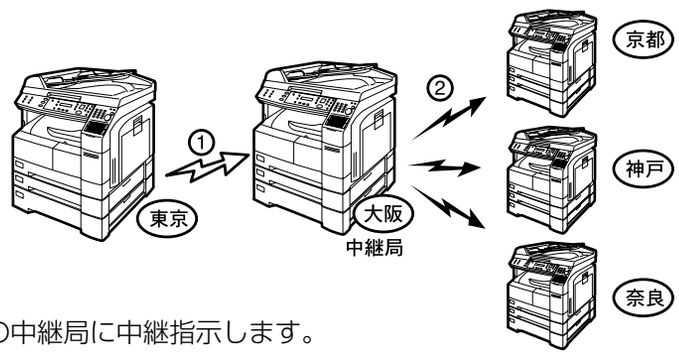
メモリー機能を持つ中継局を使って、次のような中継通信を指定することができます。

- 中継通信をする場合は、本機を含むネットワークを構成する必要があります。
- 中継ネットワークを構成する場合は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。

中継同報指示について

遠距離にある複数の宛先へファクスを送りたいとき、中継局に送信すれば、中継局は指定された宛先へ順次送信します。

例：東京から、大阪の中継局を経由して京都、神戸、奈良へ送信します。



① 東京から大阪の中継局に中継指示します。
　●原稿は、大阪の中継局のメモリーにいったん蓄積されます。

② 大阪の中継局は、東京から指示された京都、神戸、奈良へ順次送信します。
　●東京から、それぞれの宛先へ送信する手間が省け、トータルの通信料金も削減できます。

中継同報指示

メモリー機能を持った中継局を中心に中継ネットワークを組んで、遠方にある複数の宛先へ一度にファクスを送信できます。

中継同報送信をする前に

- 本機の登録モードの「中継情報の登録」に中継情報を登録する。（☛117 ページ）
- システム登録の「104 短縮ダイヤル情報」を“あり”にして、短縮ダイヤルやワンタッチダイヤルに中継情報を登録できるようにする。（☛130 ページ）
- 中継局の電話番号と中継情報を、本機の短縮ダイヤルやワンタッチダイヤルに登録する。（☛99 ページ）
- 中継同報送信をする相手の電話番号と中継情報を、本機の短縮ダイヤルやワンタッチダイヤルに登録する。（☛99 ページ）
- 中継ネットワークを構成する場合は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。

ファクス ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 原稿をセットする

2 ファンクション ○ 2 か ABC を押す

```
特殊通信                （1－5）
番号入力またはV、Λ
を入力してください

うすく■■■□□こく      ふつう
```

3 1 あ を押し、セット ○ を押す

```
中継同報指示          宛先数：000
宛先を指定してください

うすく■■■□□こく      ふつう
```

4 宛先を指定する

・ 短縮ダイヤル / ワンタッチダイヤル / グループダイヤル / 電話帳

・直接ダイヤルを除く最大160宛先まで指定できます。「複数宛先の指定のしかた」（☛35ページ）

5 スタート を押す

・中継局へダイヤルし、送信を開始します。

お知らせ

- 中継同報送信を途中でやめるときは、ストップ を押してください。
- ワンタッチボタンに中継同報指示の操作と宛先をプログラム登録しておけば、ワンタッチボタンを押すだけで通信を指定できます。（☛111 ページ）
- ワンタッチ、機能ボタンに中継同報指示の操作をファンクション登録しておけば、登録ボタンを押したあとに宛先を入れるだけで通信を指定できます。（☛113 ページ）

ファイル送信

会社までの地図など、頻繁に送る原稿を本機のメモリーに蓄積して何度でも送ることができます。
ファイル送信をお使いになれば、いちいち送信原稿をセットする手間が省けます。

■ファイル蓄積

ファイル送信する原稿を本機のメモリーに蓄積します。メモリーに蓄積できるファイルは、1 ファイルのみです。

(ファクス) ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 原稿をセットする

2 (ファンクション) (2 か ABC) **を押す**

```
特殊通信                    (1－5)
番号入力または∨、∧
を入力してください

うすく■■■□□こく    ふつう
```

3 (3 さ DEF) (セット) (1 あ) (セット) **を押す**

・ 原稿読込開始。

```
ファイル蓄積          受付No.001
蓄積頁：01                 04%

うすく■■■□□こく    ふつう
```

お知らせ

- ファイル蓄積を途中でやめるときは、(ストップ)を押してください。
- メモリーには A4 標準原稿で 120 枚まで読み込めます。
- すでに蓄積されているファイルがあるときは、ファイル蓄積をすることはできません。蓄積されているファイルを消去（☛60ページ）して、手順 1 からの操作をしてください。
- ワンタッチ、機能ボタンにファイル蓄積の操作をファンクション登録しておけば、登録ボタンを押すだけでファイル蓄積ができます。（☛113 ページ）
- 原稿読取中にメモリーがいっぱいになったときは、ファイル送信の蓄積はできません。

■ファイル送信

ファイル蓄積した内容を送信します。

(ファクス) ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 ファンクション ○ (2 か ABC) を押す

```
特殊通信                    (1－5)
番号入力または∨、∧
を入力してください

うすく■■■□□こく      ふつう
```

2 (3 さ DEF) セット ○ (2 か ABC) セット ○ を押す

```
ファイル送信          宛先数：000
宛先を指定してください

うすく■■■□□こく      ふつう
```

3 宛先を指定する

・ 直接ダイヤル / ワンタッチダイヤル / 短縮ダイヤル / 電話帳 / グループダイヤル

・最大 190 宛先まで指定できます。「複数宛先の指定のしかた」(☛35 ページ)

4 (スタート) を押す

・宛先にダイヤルし、ファイル送信を始めます。

お知らせ

- ファイル送信を途中でやめるときは、(ストップ)を押してください。
- ファイル送信をしても、メモリーに蓄積されている内容は消去されません。
- ワンタッチボタンにファイル送信の操作と宛先をプログラム登録しておけば、ワンタッチボタンを押すだけで通信を指定できます。(☛111 ページ)
- ワンタッチ、機能ボタンにファイル送信の操作をファンクション登録しておけば、登録ボタンを押したあとに宛先を入れるだけで通信を指定できます。(☛113 ページ)

■ファイル消去

ファイル蓄積した内容を消去します。

ファックス ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 ファンクション ○ 2 か ABC を押す

```
特殊通信                    (1－5)
番号入力または∨、∧
を入力してください

うすく■■■□□こく      ふつう
```

2 3 さ DEF セット ○ 3 さ DEF セット ○ を押す

```
ファイル消去されました

うすく■■■□□こく      ふつう
```

お知らせ

● ファイル消去を途中でやめるときは、ストップ ⊖ を押してください。

■ファイルプリント

ファイル蓄積した内容をプリントして確認できます。

ファックス ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 ファンクション ○ 2 か ABC を押す

```
特殊通信                    (1－5)
番号入力または∨、∧
を入力してください

うすく■■■□□こく      ふつう
```

2 3 さ DEF セット ○ 4 た GHI セット ○ を押す

```
ファイルプリント
プリントしています

うすく■■■□□こく      ふつう
```

お知らせ

● ファイルプリントを途中でやめるときは、ストップ ⊖ を押してください。
● ワンタッチ､機能ボタンにファイルプリントの操作をファンクション登録しておけば、登録ボタンを押すだけでプリントできます。(☛113ページ)
● ファイルプリントしても、メモリーに蓄積した文書は消去されません。

F コード通信

当社機以外のファクスをお使いの相手とも、サブアドレスやパスワードを使って機密事項を保持した通信をすることができます。

- Fコード通信は、ITU - TのT30（SUB、SEP、PWD）機能を持っているファクスであれば、相手機種を限定しないでF コード通信ができます。
- Fコード通信をするには、メモリー機能を持つF コードセンター機が必要になります。

■Fコード送信

Fコード送信は、Fコードセンター機に開設されているボックスの番号をサブアドレス番号で指定し、機密保持のためパスワードを使ってボックスに文書を送ります。

ファクス ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 原稿をセットする

2 ファンクション ○ 2 か ABC を押す

```
特殊通信                    (1－5)
番号入力またはV、Λ
を入力してください

うすく■■■□□こく      ふつう
```

3 4 た GHI セット ○ 1 あ セット ○ を押す

```
Fコード送信
サブアドレスを指定してください
_
うすく■■■□□こく      ふつう
```

4 送信するボックスのサブアドレス（最大20桁）を入れる

5 セット ○ を押す

```
Fコード送信
パスワードを指定してください
_
うすく■■■□□こく      ふつう
```

6 ボックスのパスワード（最大20桁）を入れる

7 セット ○ を押す

```
Fコード送信          宛先数：000
宛先を指定してください


うすく■■■□□こく      ふつう
```

8 宛先を指定する

・ 直接ダイヤル ワンタッチダイヤル 短縮ダイヤル グループダイヤル 電話帳

・最大 190 宛先まで指定できます。「複数宛先の指定のしかた」（☛35 ページ）

9 スタート を押す

・Ｆコードセンターへダイヤルし、送信を始めます。

お知らせ

- Ｆコード送信を途中でやめるときは、ストップを押してください。
- ワンタッチボタンにＦコード送信の操作と宛先を登録しておけば、ワンタッチボタンを押すだけで通信を指定できます。（☛111 ページ）
- ワンタッチ、機能ボタンにＦコード送信の操作をファンクション登録しておけば、登録ボタンを押したあとにサブアドレス、パスワードおよび宛先を入れるだけで通信を指定できます。（☛113ページ）

■Ｆコード掲示板登録の指定

あらかじめ掲示板ボックスを開設して、ボックスに文章を登録することができます。（☛123ページ）

ファクス ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 原稿をセットする

2 ファンクション 2 か を押す

```
特殊通信                    （１－５）
番号入力またはＶ、Λ
を入力してください

うすく■■■□□こく      ふつう
```

3 4 た セット 3 さ セット を押す

```
Ｆコード掲示板登録
ボックスNo.を指定してください
＿      （２桁）

うすく■■■□□こく      ふつう
```

4 ボックス No.（２桁）を指定する

・間違えたときはクリアーを押し、再度指定します。

5 セット を押す

・掲示板登録がセットされます。

お知らせ

- 掲示板登録の指定を途中でやめるときは、ストップを押してください。
- 掲示板登録の指定の手順５で開設していないボックスNo.や、掲示板ボックスとして開設されていないボックス No. は指定できません。
- 原稿読取中にメモリーがいっぱいになったときは、掲示板登録の指定はできません。

■Fコード取り出し

Fコードセンター機に開設されているボックス番号をサブアドレス番号で指定し、ボックスに保存されている文書を取り出します。

●Fコード取り出しでは、Fコード取り出し側が通信料金を負担します。

(ファクス) ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 ファンクション ○ (2 か ABC) を押す

```
特殊通信                    (1－5)
番号入力または∨、∧
を入力してください

うすく■■■□□こく      ふつう
```

2 (4 た GHI) セット ○ (2 か ABC) セット ○ を押す

```
Fコード取り出し
サブアドレスを指定してください
－

うすく■■■□□こく      ふつう
```

3 文書の取り出しをするボックスのサブアドレス（最大20桁）を入れる

4 セット ○ を押す

```
Fコード取り出し
パスワードを指定してください
－

うすく■■■□□こく      ふつう
```

5 ボックスのパスワード（最大20桁）を入れる

6 セット ○ を押す

```
Fコード取り出し      宛先数：000
宛先を指定してください


うすく■■■□□こく      ふつう
```

7 宛先を指定する

・ 直接ダイヤル / ワンタッチダイヤル / 短縮ダイヤル / 電話帳 / グループダイヤル

・最大190宛先まで指定できます。「複数宛先の指定のしかた」（☛35ページ）

8 スタート ◇ を押す

・Fコードセンターへダイヤルし、保存されている文書の取り出しを始めます。

お知らせ

- Fコード取り出しを途中でやめるときは、(ストップ ⊖)を押してください。
- ワンタッチボタンにFコード取り出しの操作と宛先をプログラム登録しておけば、ワンタッチボタンを押すだけで通信を指定できます。（☛111ページ）
- ワンタッチ、機能登録ボタンにFコード取り出しの操作をファンクション登録しておけば、登録ボタンを押したあとにサブアドレス、パスワードおよび宛先を入れるだけで通信を指定できます。（☛113ページ）

■Fコード親展プリント

親展ボックスに登録された文書を引き出すことができます。（☛119ページ）

(ファクス) ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 (ファンクション) (2 か ABC) を押す

```
特殊通信                    （1－5）
番号入力または∨、∧
を入力してください

うすく■■■□□こく      ふつう
```

2 (4 た GHI) (セット) (4 た GHI) (セット) を押す

```
Fコード親展プリント
ボックスNo.を指定してください
＿        （2桁）

うすく■■■□□こく      ふつう
```

3 ボックスNo.（2桁）を指定する

・間違えたときは (クリアー) を押し、再度指定します。

4 (セット) を押す

```
Fコード親展プリント
暗証番号を指定してください
＿        （4桁）

うすく■■■□□こく      ふつう
```

5 暗証番号（4桁）を指定する

・間違えたときは (クリアー) を押し、再度指定します。

6 (セット) を押す

・Fコード親展プリントの出力がセットされます。
・暗証番号が一致すると、指定された親展ボックスに登録されている文書のプリントを始めます。

お知らせ

- Fコード親展プリントを途中でやめるときは、(ストップ)を押してください。
- Fコード親展プリントの手順4で開設していないボックスや、親展ボックスとして開設されていないボックス、および文書が登録されていないボックスは指定できません。
- 親展ボックスの暗証番号を忘れると、登録されている文書の出力ができなくなります。暗証番号は忘れないようにご注意ください。
- 暗証番号を忘れた場合は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。

マルチコピー通信

宛先に送信するときは、受信側でプリントする部数を指定することができます。

- マルチコピー通信は、相手機種が限定されます。詳しくはお買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。
- マルチコピー通信を指定できるのは、マルチコピー通信機能を持つ相手に限ります。

ファクス ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 原稿をセットする

```
   1月15日（火） 17:15    00%
通信ができます
原稿がセットされています

うすく■■■□□こく       ふつう
```

2 ファンクション 2 か ABC 5 な JKL セット を押す

```
マルチコピー通信
部数を指定してください
01   （2桁）

うすく■■■□□こく       ふつう
```

3 受信側でプリントする部数（2桁）を指定する

・プリント部数を指定します（最大99部）。

・間違えたときはを クリアー 押し、再度指定します。

```
マルチコピー通信
部数を指定してください
02   （2桁）

うすく■■■□□こく       ふつう
```

4 スタート を押す

```
マルチコピー通信      宛先数：000
宛先を指定してください


うすく■■■□□こく       ふつう
```

5 宛先を指定する

・ 直接ダイヤル / ワンタッチダイヤル / 短縮ダイヤル / 電話帳 / グループダイヤル

・最大 190 宛先まで指定できます。「複数宛先の指定のしかた」（☛35 ページ）

6 スタート を押す

・マルチコピー通信を開始します。

お知らせ

- マルチコピー通信の指定を途中でやめるときは、ストップ を押します。
- 短縮ダイヤルを登録するときに、マルチコピー通信部数を指定することができます。（☛104 ページ）
- マルチコピー通信部数が登録されているダイヤルを選択したときは、手順 3 でプリント部数を入力する必要はありません。

OMR 通信

機能や宛先をマークしたOMRシート（別売品）を原稿に重ねてセット（最初のページに）すれば、複雑な通信を簡単な操作でご利用できます。
OMR通信を指定できる宛先は、OMR解読機能を持つ相手に限ります。詳しくはお買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。

ファクス ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 **OMR シートを原稿の一番最初のページにセットする**

```
  1月15日（火） 17:15   00%
通信ができます
原稿がセットされています

うすく■■■□□こく      ふつう
```

2 ファンクション ○ 8や TUV 2か ABC セット ○ **を押す**

```
OMR通信          設定：1
   1：オフ   2：オン

うすく■■■□□こく      ふつう
```

3 2か ABC セット ○ **を押す**

```
  1月15日（火） 17:15   00%
通信ができます
原稿がセットされています

うすく■■■□□こく      ふつう
```

4 **宛先を指定する**

・ 直接ダイヤル / ワンタッチダイヤル / 短縮ダイヤル / 電話帳 / グループダイヤル

・最大 190 宛先まで指定できます。「複数宛先の指定のしかた」（☛35 ページ）

5 スタート ◇ **を押す**

・OMR 通信を開始します。

お知らせ

● OMR 通信を途中でやめるときは、ストップ ⊖ を押します。

パスワード通信

■パスワード通信について

通信するときに、送信側と受信側に登録されているパスワードを照合します。パスワードを照合し、一致する相手とだけ通信するので、機密性の高い通信が確保できます。また、送信と受信を個別に制限できるので、相手に合わせた設定ができます。

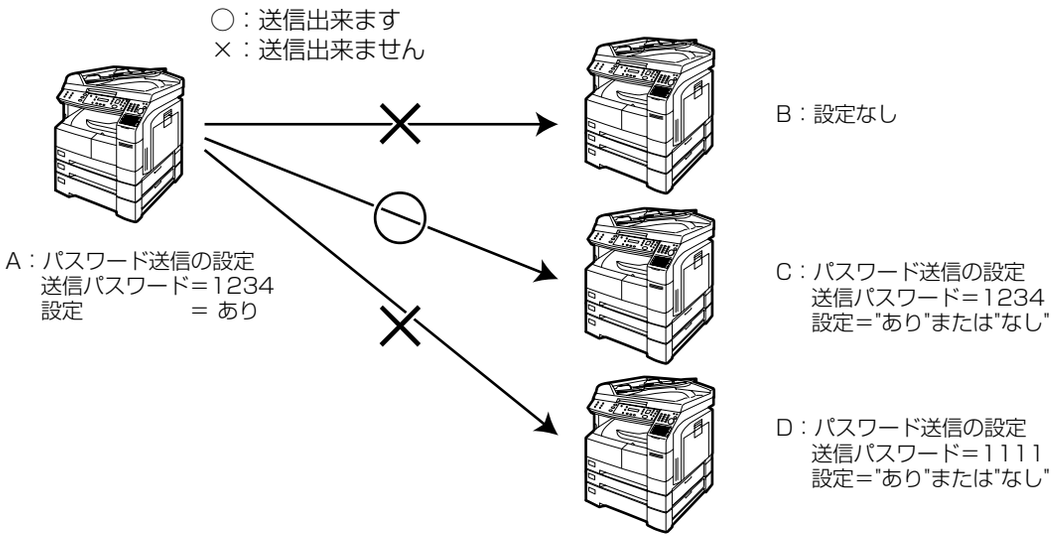
● あらかじめ「パスワード送信」の設定（☛69ページ）と「パスワード受信」の設定（☛71ページ）が必要です。

■システム登録について

	設定状況	
パスワード送信	送信パスワードの登録なし	・パスワード通信しません。
	送信用パスワードを登録し設定を“なし”にする	・通常のダイヤル操作ではパスワード送信しません。 ・パスワード操作するときは、送信前の操作が必要です。（☛69ページ） ・相手がパスワード送信をしてくると、送信側と受信側に登録されている送信パスワードを照合し、一致すると通信できます。
	送信用パスワードを登録し設定を“あり”にする	・通常のダイヤル操作でパスワード送信が指定できます。 ・パスワード送信をしないときは、送信前の操作が必要です。（☛69ページ） ・相手がパスワード送信をしてくると、送信側と受信側に登録されている送信パスワードを照合し、一致すると通信できます。
パスワード受信	受信パスワードの登録なし	・パスワード通信しません。
	受信用パスワードを登録し設定を“なし”にする	・相手がパスワード受信を設定しているときは、受信側と送信側に登録されている受信パスワードを照合し、一致すると通信できます。 ・そのほかは、通常の通信と同じです。
	受信用パスワードを登録し設定を“あり”にする	・常にパスワード受信の状態になっています。 ・パスワード受信を設定している相手と受信パスワードを照合し、一致すると通信できます。

便利な機能の使い方

パスワード送信

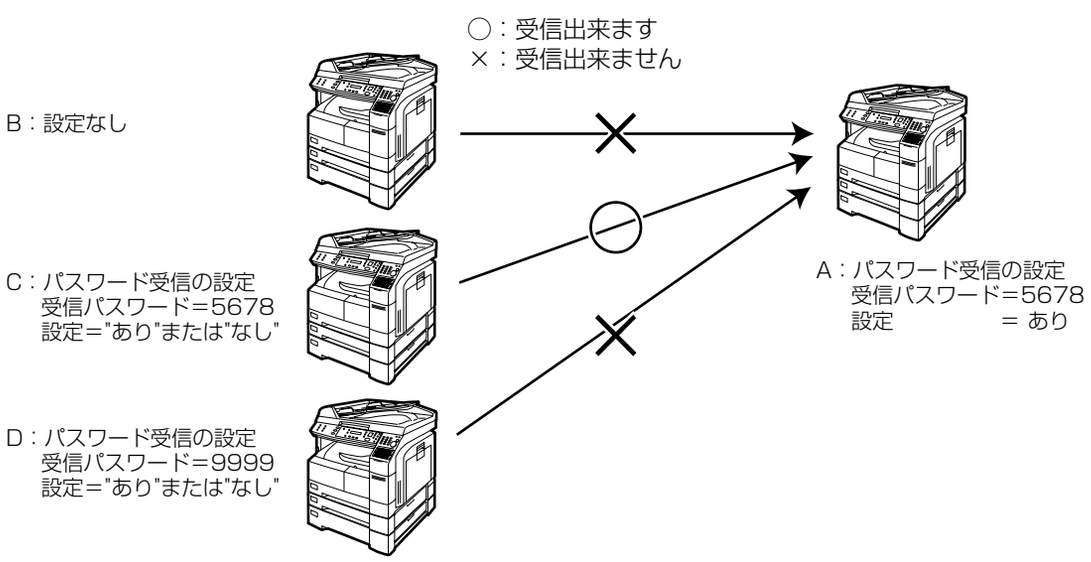


パスワード送信は、送信側の設定が“あり”の場合、受信側に設定されている「送信パスワード」を送信側でチェックし、一致した場合に送信します。

・送信側のパスワード送信の設定が“なし”の場合は、通常の送信と変わりありません。

・パスワード送信の設定“あり”または“なし”は、送信時のみに機能します。

パスワード受信



パスワード受信は、受信側の設定が“あり”の場合、送信側に設定されている「受信パスワード」を受信側でチェックし、一致した場合に受信します。

・受信側のパスワード受信の設定が“なし”の場合は、通常の受信と変わりありません。

・パスワード受信の設定“あり”または“なし”は、受信時のみに機能します。

パスワード送信の設定

ファクス ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 ファンクション 7 ま PQRS を押す

・登録モードを選択します。

2 4 た GHI セット を押す

・システム登録を選択します。

3 0 わ 記号 4 た GHI 3 さ DEF セット を押す

・パスワード送信を選択します。

```
043  パスワード送信
パスワードを登録してください
_          （4桁）
うすく■■■□□こく      ふつう
```

4 パスワード送信用のパスワード（4桁）を入れ、セット を押す

・例：パスワード「1234」の場合、1 あ 2 か ABC 3 さ DEF 4 た GHI を押します。

・間違えたときは、クリアー を押して再度入力します。

```
043  パスワード送信      設定：1
パスワード＝1 2 3 4
1．なし      2．あり
うすく■■■□□こく      ふつう
```

5 使いかたに合わせて、1 あ （なし）または 2 か ABC （あり）を押す

```
043  パスワード送信      設定：1
パスワード＝1 2 3 4
1．なし      2．あり
うすく■■■□□こく      ふつう
```

6 セット ストップ を押す

お知らせ

- パスワード送信の設定を取り消すときは、手順5で クリアー を押したあとに、ストップ を押します。
- システム登録の「043 パスワード送信」（☛129ページ）の設定を“あり”にすると、ディスプレイに“パスワード送信設定中です”が点滅します。
- ディスプレイに“パスワード送信設定中です”が表示されているときは、通常の送信ができなくなります。パスワード送信をしたくないときは、「パスワード送信設定の一時変更」（☛73ページ）を参照して操作してください。
- パスワード送信の設定および変更を途中でやめるときは、ストップ を押します。

パスワード送信の変更

(ファクス) ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 (ファンクション) (7 ま PQRS) を押す

・登録モードを選択します。

2 (4 た GHI) (セット) を押す

・システム登録を選択します。

3 (0 わ 記号) (4 た GHI) (3 さ DEF) (セット) を押す

・パスワード送信を選択します。

```
043  パスワード送信
パスワードを登録してください
1 2 3 4   (4桁)

うすく■■■□□こく      ふつう
```

4 パスワードを変更するときは、(クリアー) を 4 回押す

・現在設定されている内容が表示されています。

・パスワードを変更しないときは (セット) を押し、手順６へ進みます。

```
043  パスワード送信
パスワードを登録してください
_         (4桁)

うすく■■■□□こく      ふつう
```

5 変更するパスワード（4桁）を入れ、(セット) を押す

・例：パスワード「4321」の場合、

(4 た GHI) (3 さ DEF) (2 か ABC) (1 あ) を押します。

・間違えたときは、(クリアー) を押して再度入力します。

```
043  パスワード送信     設定：1
パスワード＝4 3 2 1
1．なし      2．あり

うすく■■■□□こく      ふつう
```

6 (1 あ)（なし）または (2 か ABC)（あり）を押す

```
043  パスワード送信     設定：1
パスワード＝4 3 2 1
1．なし      2．あり

うすく■■■□□こく      ふつう
```

7 (セット) (ストップ) を押す

お知らせ

- 手順６で、(クリアー) を押したあとに (ストップ) を押すと、設定されていた内容がすべて消去されます。
- パスワード送信の設定および変更を途中でやめるときは、(ストップ) を押します。

パスワード受信の設定

ファクス ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 **ファンクション ○ 7 まPQRS を押す**

・登録モードを選択します。

2 **4 たGHI セット ○ を押す**

・システム登録を選択します。

3 **0 わ記号 4 たGHI 4 たGHI セット ○ を押す**

・パスワード受信を選択します。

```
044  パスワード受信
パスワードを登録してください
_          （4桁）

うすく■■■□□こく      ふつう
```

4 **パスワード受信用のパスワード（4桁）を入れ、セット ○ を押す**

・例:パスワード「5678」の場合、5 なJKL 6 はMNO 7 まPQRS 8 やTUV を押します。

・間違えたときは、クリアー ○ を押して再度入力します。

```
044  パスワード受信     設定：1
パスワード＝5 6 7 8
1．なし      2．あり

うすく■■■□□こく      ふつう
```

5 **使いかたに合わせて、1 あ(なし) または 2 かABC(あり) を押す**

```
044  パスワード受信     設定：1
パスワード＝5 6 7 8
1．なし      2．あり

うすく■■■□□こく      ふつう
```

6 **セット ○ ストップ ⊖ を押す**

お知らせ

- パスワード受信の設定を取り消すときは、手順5で クリアー ○ を押したあとに、ストップ ⊖ を押します。
- システム登録の「044 パスワード受信」（☛129ページ）の設定を“あり”にすると、ディスプレイに“パスワード受信設定中です”が点滅します。
- ディスプレイに“パスワード受信設定中です”が表示されているときは、通常の受信ができなくなります。
- パスワード受信の設定および変更を途中でやめるときは、ストップ ⊖ を押します。

パスワード受信の変更

ファクス ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 ファンクション 7 を押す

・登録モードを選択します。

2 4 セット を押す

・システム登録を選択します。

3 0 4 4 セット を押す

・パスワード受信を選択します。

```
044  パスワード受信
パスワードを登録してください
５６７８  （４桁）

うすく■■■□□こく      ふつう
```

4 パスワードを変更するときは、クリアー を 4 回押す

・現在設定されている内容が表示されています。

・パスワードを変更しないときは セット を押し、手順６へ進みます。

```
044  パスワード受信
パスワードを登録してください
＿          （４桁）

うすく■■■□□こく      ふつう
```

5 変更するパスワード（４桁）を入れ、セット を押す

・例：パスワード「8765」の場合、

8 7 6 5 を押します。

・間違えたときは、クリアー を押して再度入力します。

```
044  パスワード受信      設定：１
パスワード＝８７６５
１．なし      ２．あり

うすく■■■□□こく      ふつう
```

6 1（なし）または 2（あり）を押す

```
044  パスワード受信      設定：１
パスワード＝８７６５
１．なし      ２．あり

うすく■■■□□こく      ふつう
```

7 セット ストップ を押す

お知らせ

- 手順６で、クリアー を押したあとに ストップ を押すと、設定されていた内容がすべて消去されます。
- パスワード受信の設定および変更を途中でやめるときは、ストップ を押します。

パスワード送信設定の一時変更

パスワード送信の一時解除・一時設定を行いたい場合、次の手順で１回の通信に限り、設定を変更できます。

(ファクス) ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 (ファンクション) (8 や TUV) を押す

・セレクトモードを選択します。

2 (4 た GHI) (セット) を押す

・パスワード送信を選択します。

```
パスワード送信          設定：2
   1．オフ      2．オン
うすく■■■□□こく      ふつう
```

3 (1 あ) または (2 か ABC) を押し、(セット) を押し、パスワードを入力する

・次の通信設定を選択します。

・(1 あ)：１回の通信に限りパスワード送信の設定を“オフ”にできます。

・(2 か ABC)：１回の通信に限りパスワード送信の設定を“オン”にできます。

```
パスワード送信
パスワードを指定してください
４３２１
うすく■■■□□こく      ふつう
```

4 (セット) を押す

5 宛先を指定する

・直接ダイヤル / ワンタッチダイヤル / 短縮ダイヤル / 電話帳 / グループダイヤル

・最大 190 宛先まで指定できます。「複数宛先の指定のしかた」（☛35 ページ）

6 (スタート) を押す

・１回の通信に限りパスワード送信の設定を“なし”または“あり”にして通信を開始します。

セレクト通信

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録されているダイヤル番号の下４桁と、相手から送られてきたID番号の下４桁を照合し、一致したときだけ送信または、受信します。

■セレクト送信

- あらかじめ、セレクト送信する宛先を登録しておいてください。（☛98ページ）
- 相手のID番号には、電話番号を登録してもらってください。

(ファクス) ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 原稿をセットする

```
 1月15日（火） 17:15   00%
通信ができます
原稿がセットされています

うすく■■■□□こく      ふつう
```

2 (ファンクション) (8 や TUV) (3 さ DEF) (セット) を押す

・セレクト送信を選択します。

```
セレクト送信              設定：1
   1．オフ      2．オン
うすく■■■□□こく      ふつう
```

3 (2 か ABC) (セット) を押す

・セレクト送信がセットされます。

4 宛先を指定する

・ 直接ダイヤル / ワンタッチダイヤル / 短縮ダイヤル / 電話帳 / グループダイヤル

・最大190宛先まで指定できます。「複数宛先の指定のしかた」（☛35ページ）

5 (スタート) を押す

・１回の通信に限りセレクト送信が開始されます。

・相手の数字IDと、本機に登録されているダイヤル番号を照合し、一致したときだけ送信します。

お知らせ

- システム登録の「045 セレクト送信」（☛129ページ）を“あり”にしておけば、常にセレクト送信の状態になります。
- セレクト送信の設定を途中でやめるときは、(ストップ) を押します。
- システム登録の「045 セレクト送信」（☛129ページ）を“あり”にすると、ディスプレイに“セレクト送信設定中です”が点滅します。
- セレクト送信を解除するときは、手順3で (1 あ) を押します。
- 本機に相手のダイヤル番号を登録していないときは、送信できません。
- 相手がID番号を送ってこない場合（ID番号を登録していない、登録できないなど）は、送信できません。
- 手動送信をしたときは、相手をセレクトしないで送信します。

■セレクト受信

- あらかじめ、セレクト受信する宛先を登録しておいてください。（☛98 ページ）
- 相手の ID 番号には、電話番号を登録してもらってください。

ファクス ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 ファンクション ○ 7まPQRS を押す

・登録モードを選択します。

2 4たGHI セット ○ を押す

・システム登録を選択します。

3 0わ記号 4たGHI 6はMNO セット ○ を押す

・セレクト受信を選択します。

```
046  セレクト受信          設定：1
 1．なし      2．あり
うすく■■■□□こく      ふつう
```

4 2かABC を押す

・“あり”を選択します。

```
046  セレクト受信          設定：2
 1．なし      2．あり
うすく■■■□□こく      ふつう
```

5 セット ○ ストップ ⊖ を押す

・セレクト受信が設定されます。
・受信が始まると、相手の数字IDと、本機に登録されているダイヤル番号を照合し、一致したときだけ受信します。

お知らせ

- セレクト受信の設定を途中でやめるときは、ストップ ⊖ を押します。
- システム登録の「046 セレクト受信」（☛129ページ）を“あり”にすると、ディスプレイに“セレクト受信設定中です”が点滅します。
- セレクト受信を解除するときは、手順４で 1あ を押します。
- 本機に相手のダイヤル番号を登録していないときは、受信できません。
- 相手がID 番号を送ってこない場合（ID番号を登録していない、登録できないなど）は、受信できません。
- 手動受信をしたときは、相手をセレクトしないで受信します。

優先通信

● 複数の通信予約をしているときに、至急に送りたい原稿を、現在行っている通信の次に割り込んで予約できます。

(ファクス) ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 原稿をセットする

```
  1月15日（火） 17:15   00%
通信ができます
原稿がセットされています

うすく■■■□□こく      ふつう
```

2 (ファンクション) (8 や TUV) (1 あ) (セット) を押す

```
優先通信                  設定：1
      1：オフ      2：オン

うすく■■■□□こく      ふつう
```

3 (2 か ABC) (セット) を押す

・優先通信が指定されます。

4 宛先を指定する

・ 直接ダイヤル / ワンタッチダイヤル / 短縮ダイヤル / 電話帳 / グループダイヤル

・最大 190 宛先まで指定できます。「複数宛先の指定のしかた」（☛35 ページ）

```
メモリー送信        宛先数：001
松下電送システム
短縮：01（2桁）

うすく■■■□□こく      ふつう
```

5 (スタート) を押す

・原稿の読取が開始されます。

```
メモリー送信        受付No：001
蓄積頁：01                01%
松下電送システム

うすく■■■□□こく      ふつう
```

お知らせ

● 優先予約の指定を途中でやめるときは、(ストップ) を押します。

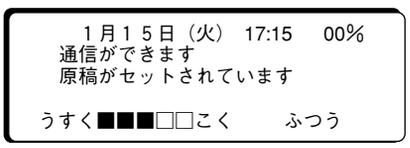
ワンタイム海外通信

海外の相手と通信していて、通信エラーや画面異常になるときに指定してください。

ファクス ランプ点灯状態で

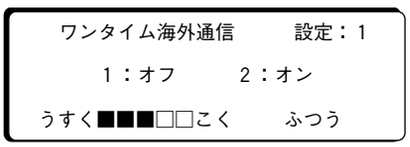
・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 原稿をセットする



2 ファンクション ○ 8 や TUV 5 な JKL セット ○ **を押す**

・ワンタイム海外通信を選択します。



3 2 か ABC セット ○ **を押す**

・ワンタイム海外通信がセットされます。

4 宛先を指定する

・ 直接ダイヤル / ワンタッチダイヤル / 短縮ダイヤル / 電話帳 / グループダイヤル

・最大 190 宛先まで指定できます。「複数宛先の指定のしかた」（☛35 ページ）

5 スタート ◇ **を押す**

・原稿の読取が開始されます。

お知らせ

● ワンタイム海外通信の指定を途中でやめるときは、ストップ ⊖ を押します。

定期便タイマー通信

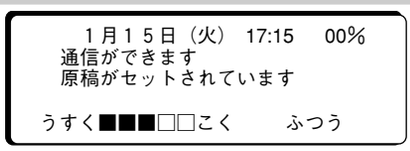
あらかじめ定期便タイマーの指定時刻を登録（5 つまでの時刻）しておけば、定期便タイマー送信をセットした時刻から最も近い登録時刻になると自動的に送信が始まります。

- 定期便タイマーは、他の通信予約を含めて最大 30 件まで指定できます。
- 自局情報の「定期便タイマーの登録」（☛143 ページ）をしておいてください。

ファクス ランプ点灯状態で

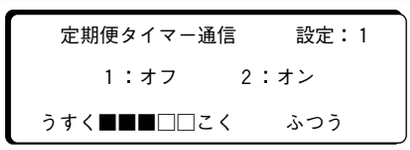
・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 原稿をセットする



2 ファンクション 8や TUV 6は MNO セット を押す

・定期便タイマー通信を選択します。



3 2か ABC セット を押す

・定期便タイマー通信がセットされます。

4 宛先を指定する

・ 直接ダイヤル ワンタッチダイヤル 短縮ダイヤル 電話帳 グループダイヤル

・最大 190 宛先まで指定できます。「複数宛先の指定のしかた」（☛35 ページ）

5 スタート を押す

・原稿の読取が開始されます。

6 定期便タイマー通信がセットされる

・一番近い登録時刻になると、自動的に定期便タイマー通信を開始します。

お知らせ

- 定期便タイマー通信の指定を途中でやめるときは、ストップ を押します。
- 指定した定期便タイマー通信を消去するときは、「通信予約の消去」（☛84 ページ）をしてください。
- 指定した定期便タイマー通信の内容を確認するときは、「通信予約の確認」（☛81 ページ）をしてください。

メモリー受信

ファクスを受信したとき、すぐに用紙にプリントしないでメモリーに蓄積しておくことができます。

■メモリー受信の設定

(ファクス) ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 **ファンクション ○ 8や TUV 7ま PQRS セット ○ を押す**

```
メモリー受信              設定：1
1．なし      2．あり
3．プリント

うすく■■■□□こく      ふつう
```

2 **2か ABC セット ○ を押す**

・メモリー受信の設定がされます。

お知らせ

● メモリー受信の設定を途中でやめるときは、(ストップ) を押します。

■メモリー受信を設定しているとき

メモリー受信する

・相手からのダイヤルで、自動的に受信が始まります。

```
 1月15日（火） 17:15   01%
通信ができます
受信データが残っています

うすく■■■□□こく      ふつう
```

お知らせ

● メモリーには、A4 標準原稿で約 120 枚まで蓄積できます。
●手動受信をしたときでも、原稿はメモリーに保存されます。

■メモリー受信の解除

(ファクス) ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 **ファンクション ○ 8や TUV 7ま PQRS セット ○ を押す**

```
メモリー受信              設定：2
1．なし      2．あり
3．プリント

うすく■■■□□こく      ふつう
```

2 **1あ セット ○ を押す**

・メモリー受信が解除されます。

お知らせ

● メモリーに受信した原稿が蓄積されているときは、メモリーの内容をプリントしてからメモリー受信を解除します。

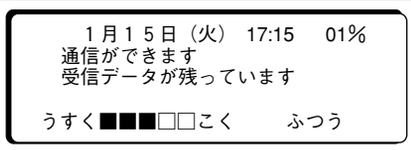
■ メモリー受信のプリント

メモリー受信した原稿をプリントします。

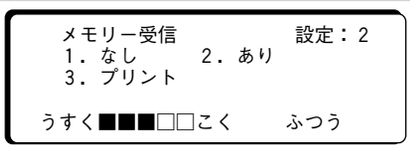
(ファクス) ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 **メモリー受信をしたとき**



2 (ファンクション) (8や TUV) (7ま PQRS) (セット) **を押す**



3 (3さ DEF) (セット) **を押す**

・メモリー受信した原稿をプリントします。

お知らせ

- メモリー受信の解除およびプリントの設定を途中でやめるときは (ストップ) を押してください。
- メモリー受信のプリントで、プリントが始まってから (ストップ) を押しても、プリントは止まりません。

通信予約の確認と消去

タイマー通信などの通信予約を確認・消去できます。

■通信予約の確認

● 通信予約の内容をディスプレイに表示させて確認できます。また、通信予約をレポートにしてプリントすることもできます。

(ファクス) ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 (ファンクション) (9 ら WXYZ) (1 あ) (セット) **を押す**

・通信予約の確認を選択します。

```
通信予約の確認
 1．通信予約レポート
 2．画面表示

うすく■■■□□こく      ふつう
```

2 (2 か ABC) **を押す**

```
内容は ∨ ∧ ボタンで
確認してください

うすく■■■□□こく      ふつう
```

3 **▼ または ▲ を押す**

・▼または▲を押すたびに画面が切り替わり、予約している通信や未通信の内容が表示されます。
・未通信のときには、「再通信待ち」が表示されます。

(例)

```
メモリー送信          受付No.008
予約中
松下電送システム

うすく■■■□□こく      ふつう
```

▼ ↑ ↓▲

```
ポーリング受信        受付No.009
予約中
東京本社

うすく■■■□□こく      ふつう
```

▼ ↑ ↓▲

```
ポーリング受信        受付No.010
再通信待ち
松下電送システム　業務部

うすく■■■□□こく      ふつう
```

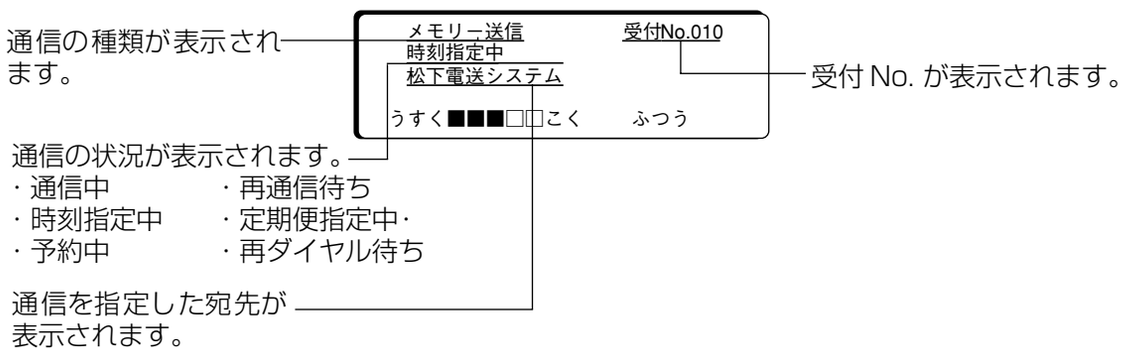
4 (ストップ) **を押す**

・通信予約の確認を終了します。

お知らせ

● 通信予約の確認を途中でやめるときは、(ストップ) を押します。
● 手順2で (1 あ) を押すと、通信予約をレポートにしてプリントできます。
● 手順1で「ピピピ」と鳴り、“予約ファイルがありません”と表示されたときは、通信予約されている内容がありません。
● 通信予約レポートのプリントの設定を途中でやめるときは、(ストップ) を押します。
● プリントが始まってから (ストップ) を押しても、プリントは止まりません。

通信予約表示のみかた



お知らせ

● 通信の種類には、送信などの通信名のほか、次の内容が表示されます。
- タイマー通信予約中（時刻指定中、定期便指定中）
- FAX 中（発呼待、通信中）
- ダイヤル待ち（再ダイヤル待ち、予約中）

■通信予約の変更

タイマー送信やタイマーポーリング受信で予約した宛先や時刻を変更できます。

(ファクス) ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 (ファンクション) (9 ら WXYZ) (2 か ABC) (セット) を押す

・時間・宛先変更を選択します。

```
時間・宛先変更
受付No.または　∨　∧
受付No.＝__　　（３桁）

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

2 変更する受付 No. を指定する、または ▼、▲ を押して変更するファイルを選択する

・受付 No.（3 桁）を指定してファイルを選ぶこともできます。
・▼ または ▲ を押して、現在予約している通信の内容を表示します。
・受付 No. を間違えたときは、(クリアー) を押して、入れ直します。

例：「受付 No.001 を指定」

```
時間・宛先変更
受付No.または　∨　∧
受付No.＝００１（３桁）

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

または

例：「▼ ▲で選択」

```
メモリー送信　　受付No.001
時刻指定中
松下電送システム

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

3 (セット) を押す

・予約時刻が表示されます。

```
メモリー送信　　受付No.001
予約時刻を指定してください
１０：００

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

4 変更する時刻を入れ、(セット) を押す

・例：午後 10 時 30 分に変更する場合
・(2 か ABC) (2 か ABC) (3 さ DEF) (0 わ 記号) (セット) を押します。
・時刻は 24 時間制で入れます。
・間違えたときは、(クリアー) を押して、入れ直します。
・予約時刻を変更しないときは、何も入力しないで (セット) を押します。

```
メモリー送信　　宛先数：002
宛先を追加してください
又は　スタートで通信します

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

5 複数の宛先を指定している場合は、◀ または ▶ を押して変更する宛先を表示する

・宛先を変更しない場合は、手順８へ進みます。
・宛先の追加のみの場合は、手順７へ進みます。
・指定している宛先が１宛先の場合は手順６へ進みます。

6 (クリアー) を押して、表示されている宛先を取り消す

・複数の宛先を取り消すときは、手順5からの操作をくり返します。

```
メモリー送信　　宛先数：001
松下電送システム
短縮：０１（２桁）

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

7 変更または追加する宛先を入れる

・ 直接ダイヤル / ワンタッチダイヤル / 短縮ダイヤル / 電話帳 / グループダイヤル

・宛先は、すでに指定されているものと合わせて最大190件まで指定できます。「複数宛先の指定のしかた」（☛35ページ）

・宛先を変更または追加しないときは、何も入れないで手順８へ進みます。

8 スタート を押す

・通信予約の内容が変更され、待機状態に戻ります。

■通信予約の消去

● 予約した通信の内容を消去できます。

ファクス ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 ファンクション 9ら 3さ セット を押す

・通信予約の消去を選択します。

```
通信予約の消去
受付No.または　∨　∧
受付No.＝__　　（３桁）

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

2 消去する受付No.を指定する、または ▼、▲ を押して消去するファイルを選択する

・３桁の受付No.を指定します。間違えたときは、クリアー を押して、入れ直します。

・▼ または ▲ を押すと、現在予約している通信の内容が表示されます。

例：「受付No.001を指定」

```
通信予約の消去
受付No.または　∨　∧
受付No.＝００１（３桁）

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

または

例：「▼ ▲で選択」

```
メモリー送信　　受付No.001
時刻指定中
松下電送システム

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

3 セット を押す

```
メモリー送信　　受付No. 001
通信予約の消去を行いますか
１．はい　　２．いいえ

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

4 1あ を押す

・指定した受付No.の通信予約を消去します。

・消去しないときは、2か を押します。

```
メモリー送信　　受付No. 001
消去しました

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

お知らせ

● 通信予約の消去を途中でやめるときは、ストップ を押します。

● 受付No.が分からないときは、通信予約レポートをプリントしてください。（☛81ページ）

■指定通信予約レポートのプリント

受付No.を指定して通信予約レポートをプリントできます。レポートには、通信を指定した原稿が付加されます。

(ファクス) ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 ファンクション ○ 9(ら WXYZ) 4(た GHI) セット ○ を押す

```
指定通信予約レポート
受付No.または　∨　∧
受付No.＝__　　（3桁）

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

2 プリントする受付No.を指定する、または ▼、▲ を押してプリントするファイルを選択する

・3桁の受付No.を指定します。間違えたときは、(クリアー) ○ を押して、入れ直します。

・▼ または ▲ を押すと、現在予約している通信の内容が表示されます。

例

```
指定通信予約レポート
受付No.または　∨　∧
受付No.＝００１（3桁）

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

3 (セット) ○ を押す

・指定した受付No.の通信予約レポートをプリントします。

```
指定通信予約レポート
プリントしています

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

お知らせ

- 通信予約レポートのプリントを途中でやめるときは、(ストップ) ⊖ を押します。
- 手順3で受付No.が分からないときは、通信予約レポートをプリントしてください。（☛81ページ）

■ 未達宛先再通信の指定

未通信となった、最新 10 通信までをメモリーに保持し、受付 No. を指定して、もう一度通信することができます。

● システム登録の「031 未送信ファイル保存」の設定が“あり”になっていないと、未通信の内容はメモリーに保存されません。（☛129 ページ）

■ 未達宛先再通信の個別指定

●未通信になった通信から、受付 No. を指定して再通信します。

ファクス ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 ファンクション ○ 9 ら WXYZ 6 は MNO セット ○ を押す

```
未達宛先再通信
受付No.または　∨　∧
受付No.＝__　　（３桁）

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

2 受付 No. を指定する、または▼、▲ を押してプリントするファイルを選択する

・間違えたときは、クリアー ○ を押して、入れ直します。

・３桁の受付 No. を指定します。

例

```
未達宛先再通信
受付No.または　∨　∧
受付No.＝００１（３桁）

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

3 スタート ◇ を押す

・再通信がセットされます。

・宛先へダイヤルし、再通信を開始します。

お知らせ

● 再通信の指定を途中でやめるときは、ストップ ⊖ を押します。
● 受付No.が分からないときは、通信予約レポートをプリントしてください。（☛81 ページ）
● 未通信が 10 通以上になると、一番古い通信から消去されます。そのとき、通信結果レポートをプリントしてメモリーから消去された内容をお知らせします。
● 未通信ファイルの消去をするときは、「通信予約の消去」（☛84ページ）をしてください。

■ 未達宛先再通信の全指定

メモリーに保存されている未通信を、すべて再通信します。

ファクス ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 ファンクション 9 WXYZ 6 MNO セット を押す

```
未達宛先再通信
受付No.または　∨　∧
受付No.＝__　　（３桁）

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

2 ✱トーン ✱トーン ✱トーン セット を押す

・未達宛先再通信の全指定をします。

```
全宛先再通信しますか
１．はい　　２．いいえ

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

3 1 あ を押す

・未達宛先再通信に登録されている全宛先の再通信がセットされます。

```
全宛先再通信受け付けました

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

■受信データの強制出力

システム登録の「066 代行出力」を“なし”にしているときは、相手が送信した原稿サイズに適応する用紙が無くなっていると、受信した原稿はプリントされないでメモリーに保存します。
次の操作をすると、メモリーに保存されている原稿を強制的にプリントすることができます。

■ メモリーに受信データが残っているとき

次の内容が表示されます。

```
１月１５日（火）　17:15　　01%
通信ができます
受信データが残っています

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

1 ファンクション 9 WXYZ 7 PQRS セット を押す

・メモリーに保存されている受信データの情報が表示されます。

```
受付No.０８０　　１．強制出力
07-10　13:15　　受信頁数：０１
松下電送システム

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

2 1 あ を押す

・受信データを強制出力する。

```
受信データの強制出力
プリントしています

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

お知らせ

- 受信データの強制出力を途中でやめるときは、ストップ を押します。
- プリントが始まってから ストップ を押しても、プリントは止まりません。
- 複数の受信データがあるときは、一番最初に代行受信したものしか選択できません。

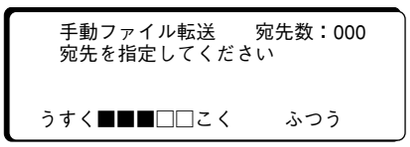
■手動ファイル転送

代行受信をしているけれどトナーや用紙が無くてプリントできないときなどに、受信した内容を別のファクスに転送してプリントすることができます。

ファクス ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 ファンクション 9ら 8や セット を押す



2 宛先を指定する

・ 直接ダイヤル / ワンタッチダイヤル / 短縮ダイヤル / 電話帳 / グループダイヤル

・最大 190 宛先まで指定できます。「複数宛先の指定のしかた」（☛35 ページ）

3 スタート を押す

・宛先にダイヤルし、受信データの転送を始めます。

お知らせ

- 手動ファイル転送を途中でやめるときは、ストップ を押します。
- ワンタッチ、機能ボタンに手動ファイル転送の操作をファンクション登録しておけば、登録ボタンを押したあとに宛先を入れるだけで通信を指定できます。（☛113 ページ）

リスト・レポートのプリント

レポートのプリント

■通信管理レポートのプリント

送信および受信の結果をレポートにしてプリントします。

(ファクス) ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 (ファンクション) (6 は MNO) (1 あ) (セット) **を押す**

```
通信管理レポート
 1．通信管理レポートの出力
 2．通信管理レポートの確認

うすく■■■□□こく      ふつう
```

2 (1 あ) **を押す**

・通信管理レポートのプリントを開始します。

```
通信管理レポート
プリントしています

うすく■■■□□こく      ふつう
```

01頁
UF-A918 AJV10000AZ

通信管理レポート

松下電送システム株式会社

02年01月15日17時15分

＊ 送 信 ＊

No.	受付番号	通信日時	相手先	枚数	通信種別	通信時間	料金	ﾓｰﾄﾞ	状況
01	001	01-15 15:15	123	00/01	送　信	00:00'15		外線	停止SW
02	003	01-15 15:23	03-3123-4567	01/01	送　信	00:00'15	10	外線	良　好

＊ 受 信 ＊

No.	受付番号	通信日時	相手先	枚数	通信種別	通信時間	料金	ﾓｰﾄﾞ	状況
01	002	01-15 15:15		01	受　信	00:00'24		外線	良　好
02	005			01	受　信	00:00'33		外線	良　好
				01	ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ受信	00:00'22	10	外線	良　好
					受　信	00:01'06		外線	良　好
					信	00:00'50		外線	良

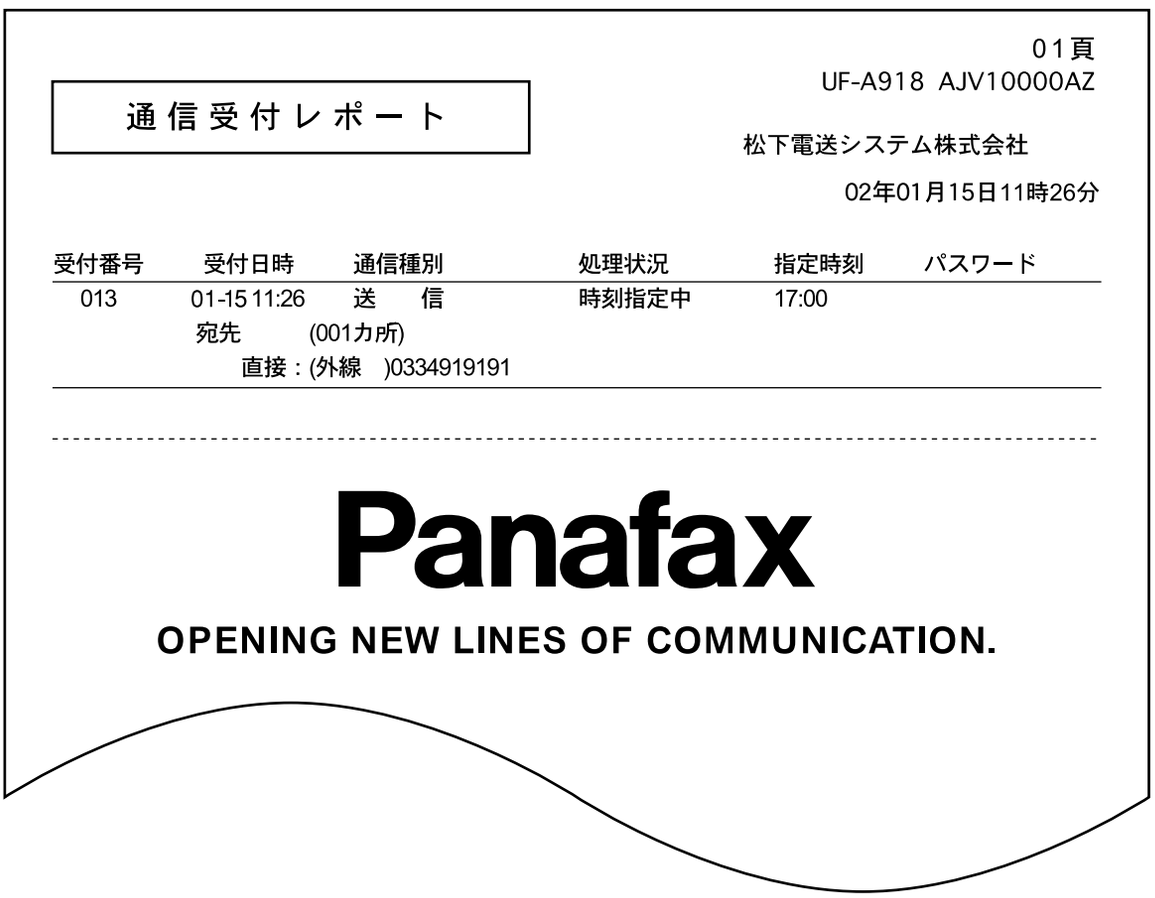
お知らせ

- 通信管理レポートのプリントを指定すると、40通信分の結果をレポートにしてプリントします。
- システム登録の「012 通信管理レポート」(☛128ページ) の設定をすれば、40通信分ごとにレポートを自動出力することができます。
- 通信管理レポートのプリントを途中でやめるときは、(ストップ) を押します。
- 手順2で (2 か ABC) を押すと、通信管理レポートの内容をディスプレイに表示させて確認できます。▼▲で画面が切り替わり、送信および受信の結果を確認できます。

リスト・レポートのプリント

■通信受付レポートのプリント

メモリー通信を受け付けるたびに、受付内容を表すレポートをプリントできます。
システム登録の「014 通信受付レポートの設定」（☛128 ページ）を“あり”に設定する必要があります。



01頁
UF-A918 AJV10000AZ

通信受付レポート

松下電送システム株式会社

02年01月15日11時26分

受付番号	受付日時	通信種別	処理状況	指定時刻	パスワード
013	01-15 11:26	送　信	時刻指定中	17:00	
	宛先	(001カ所)			
	直接：(外線)0334919191				

Panafax

OPENING NEW LINES OF COMMUNICATION.

お知らせ

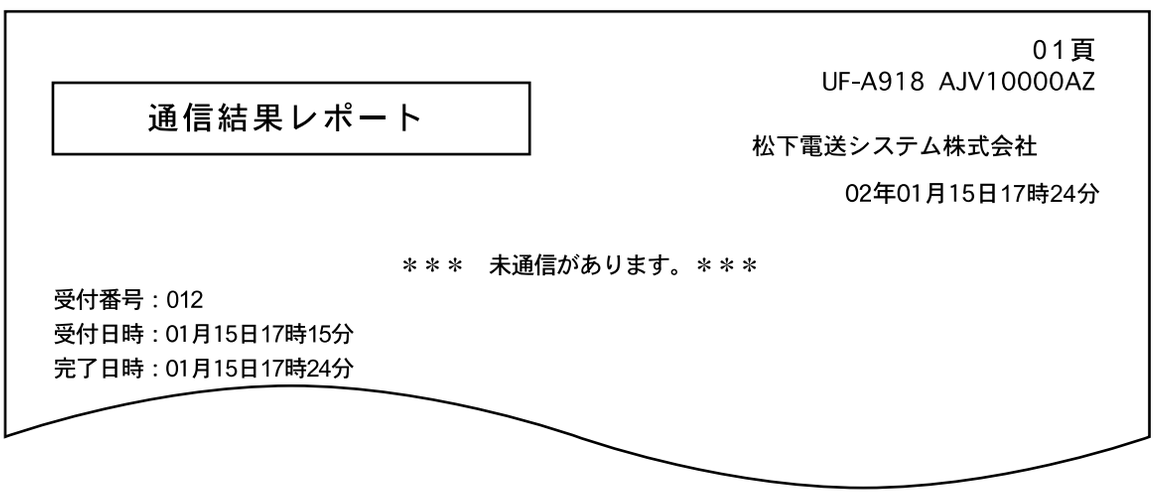
● プリントした通信受付レポートに送信を指定した原稿を付加します。

■通信結果レポートのプリント

通信するたびに、通信結果の内容を表すレポートをプリントすることができます。

■ 通信結果レポートのプリント

お買い上げ時の設定では、結果レポートは未通信になったときだけプリントされます。



お知らせ

- システム登録の「012 通信結果レポート」（☛128ページ）の設定により、通信結果レポートのプリント方法を選択することができます。
- プリントした通信結果レポートに、送信を指定した原稿を付加します。

リストのプリント

■ダイヤルリストのプリント

ワンタッチ・短縮リスト：ダイヤル番号を登録した内容をプリントします。
電話帳リスト：ダイヤル番号を登録した内容を、検索文字の順番にリストしてプリントします。

(ファクス) ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 ファンクション ○ 6 MNO 2 ABC セット ○ を押す

```
ダイヤルリスト
1．ワンタッチ・短縮リスト
2．電話帳リスト

うすく■■■□□こく        ふつう
```

2 1 あ または 2 ABC を押す

・ダイヤルリストのプリントを開始します。

01頁
UF-A918 AJV10000AZ

ワンタッチ・短縮リスト

松下電送システム株式会社
02年01月15日17時15分

ﾜﾝﾀｯﾁ･短縮番号	登録名称/電話番号	料金	識別番号	中継指定	指定番号	指定部数
00	[ま] 松下電送サービス長野					
01					1234567	送信(03)
					1234599	受信(02)

01頁
UF-A918 AJV10000AZ

電話帳リスト

松下電送システム株式会社
02年01月15日17時15分

■検索文字 【え】

ﾜﾝﾀｯﾁ･短縮番号	登録名称/電話番号	料金	識別番号	中継指定	指定番号	指定部数
〈01〉	[え] A商事株式会社 0331234567		22(02)	(代行宛先)短縮：19	1234567	送信(03) 受信(02)

■検索文字 【し】

ﾜﾝﾀｯﾁ･短縮番号	登録名称/電話番号	料金	識別番号	中継指定	指定番号	指定部数
03	[し] C商事株式会社 0612345678		22(02)		1234567	送信(03)

■検索文字 【て】

ﾜﾝﾀｯﾁ･短縮番号	登録名称/電話番号	料金	識別番号	中継指定	指定番号	指定部数
05	[て] T産業株式会社 0867123456	080.0円		(代行宛先)短縮：18		

お知らせ

- ワンタッチ･短縮番号欄の＜＞がついている項目はワンタッチボタン、ついていない項目は短縮ボタンです。
- ダイヤルリストのプリントを途中でやめるときは、(ストップ) を押します。

■ワンタッチリストのプリント

ワンタッチ、機能ボタンに登録したグループダイヤル、プログラム、ファンクションの内容をリストにしてプリントします。

(ファクス) ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

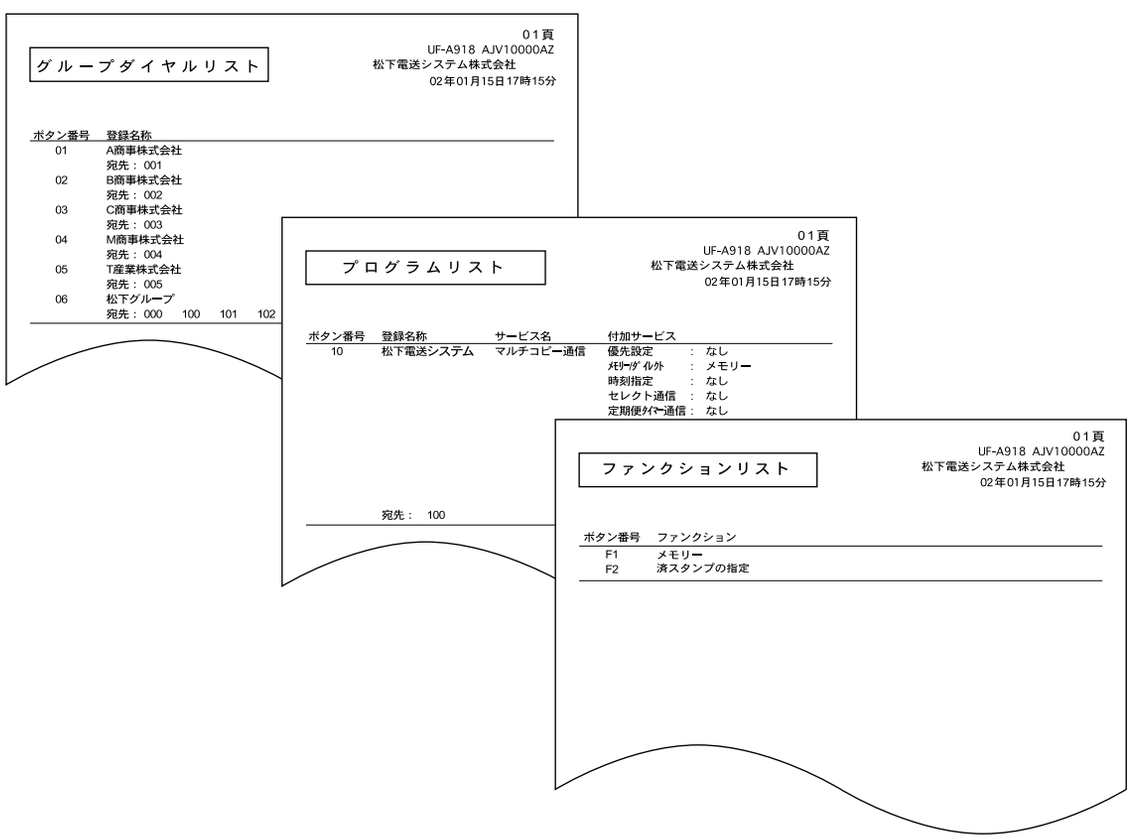
1 ファンクション ○ 6 は MNO 3 さ DEF セット ○ **を押す**

```
ワンタッチリスト          (1－4)
番号入力または∨、∧
を入力してください

うすく■■■□□こく      ふつう
```

2 1 あ ～ 4 た GHI **で選択する　または ▼▲ で選択し、セット ○ を押す**

・ 1 あ ：グループダイヤルリスト
・ 2 か ABC ：プログラムリスト
・ 3 さ DEF ：ファンクションリスト
・ 4 た GHI ：全ワンタッチリスト

ワンタッチリストのプリントを開始します。



グループダイヤルリスト

01頁
UF-A918 AJV10000AZ
松下電送システム株式会社
02年01月15日17時15分

ボタン番号	登録名称
01	A商事株式会社
	宛先： 001
02	B商事株式会社
	宛先： 002
03	C商事株式会社
	宛先： 003
04	M商事株式会社
	宛先： 004
05	T産業株式会社
	宛先： 005
06	松下グループ
	宛先： 000　100　101　102

プログラムリスト

01頁
UF-A918 AJV10000AZ
松下電送システム株式会社
02年01月15日17時15分

ボタン番号	登録名称	サービス名	付加サービス	
10	松下電送システム	マルチコピー通信	優先設定	： なし
			ﾒﾓﾘｰｹﾞｲ外	： メモリー
			時刻指定	： なし
			セレクト通信	： なし
			定期便ﾀｲﾏｰ通信	： なし

宛先： 100

ファンクションリスト

01頁
UF-A918 AJV10000AZ
松下電送システム株式会社
02年01月15日17時15分

ボタン番号	ファンクション
F1	メモリー
F2	済スタンプの指定

お知らせ

● ワンタッチリストのプリントを途中でやめるときは、(ストップ) を押します。

リスト・レポートのプリント

■システム登録リストのプリント

システム登録で設定した内容をリストにしてプリントします。

ファックス ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 ファンクション ○ 6 は MNO 4 た GHI セット ○ **を押す**

・システム登録に設定されている内容がプリントされます。
・プリント終了後、待機状態に戻ります。

```
システム登録リスト
プリントしています

うすく■■■□□こく      ふつう
```

01頁
UF-A918 AJV10000AZ

システム登録リスト

松下電送システム株式会社

02年01月15日17時15分

現在の設定（標準設定）

001	原稿濃淡	(1:うすく	～	5:こく)	3	3
002	文字サイズ	(1:ふつう	2:小さい 3:細密	4:ﾊｰﾌﾄｰﾝ)	1	1
004	済スタンプ	(1:なし	2:あり)		1	2
005	送信メモリー優先	(1:なし	2:あり)		2	2
006	ダイヤル切替	(1:PB	2:10pps	3:20pps)	1	1
007	発信元印字	(1:なし	2:原稿外	3:原稿内)	3	3

お知らせ

● システム登録リストのプリントを途中でやめるときは、ストップ を押します。

■自局情報リストのプリント

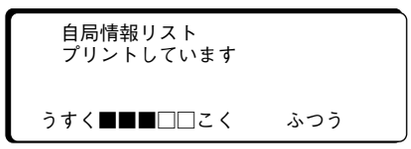
自局情報に設定した内容をリストにしてプリントします。

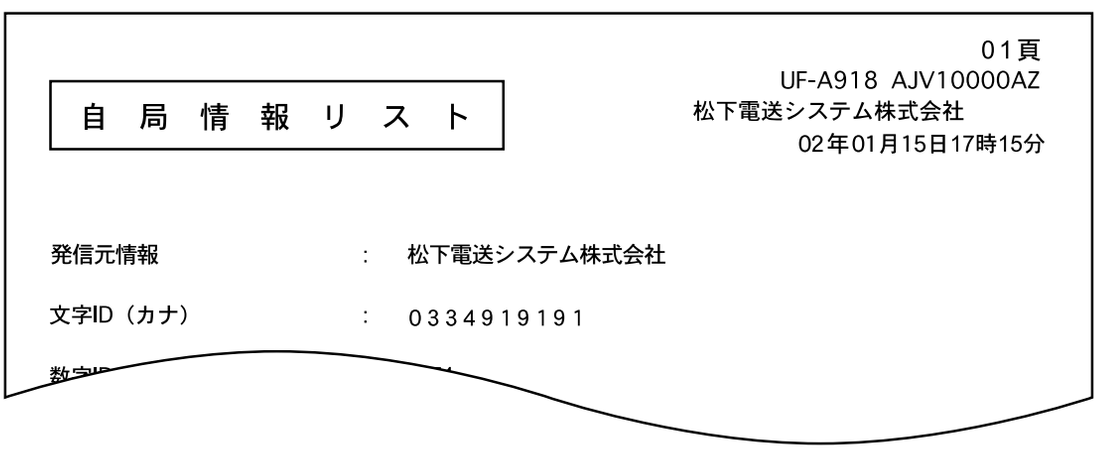
(ファクス) ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 ファンクション ○ 6 は MNO 5 な JKL セット ○ を押す

・自局情報に設定されている内容がプリントされます。





お知らせ

● 自局情報リストのプリントを途中でやめるときは、(ストップ) を押します。

リスト・レポートのプリント

■Fコード通信リストのプリント

Fコード通信に設定した内容をリストにしてプリントします。

(ファクス) ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 (ファンクション) (6 は MNO) (6 は MNO) (セット) **を押す**

・Fコード通信に設定されている内容がプリントされます。

```
Fコード通信リスト
プリントしています

うすく■■■□□こく      ふつう
```

01頁
UF-A918 AJV10000AZ

Fコード通信リスト

松下電送システム株式会社

02年01月15日17時15分

ボックス番号	ボックス名称	サービス名	付加サービス	
01	親展ボックス	親展ボックス	暗証番号	：＊＊＊＊
			サブアドレス	：12345678901234567890
			パスワード	：12345678901234567890
			セレクト番号	：短縮：10
			受付ﾚﾎﾟｰﾄ出力	：あり

お知らせ

● Fコード通信リストのプリントを途中でやめるときは、(ストップ) を押します。

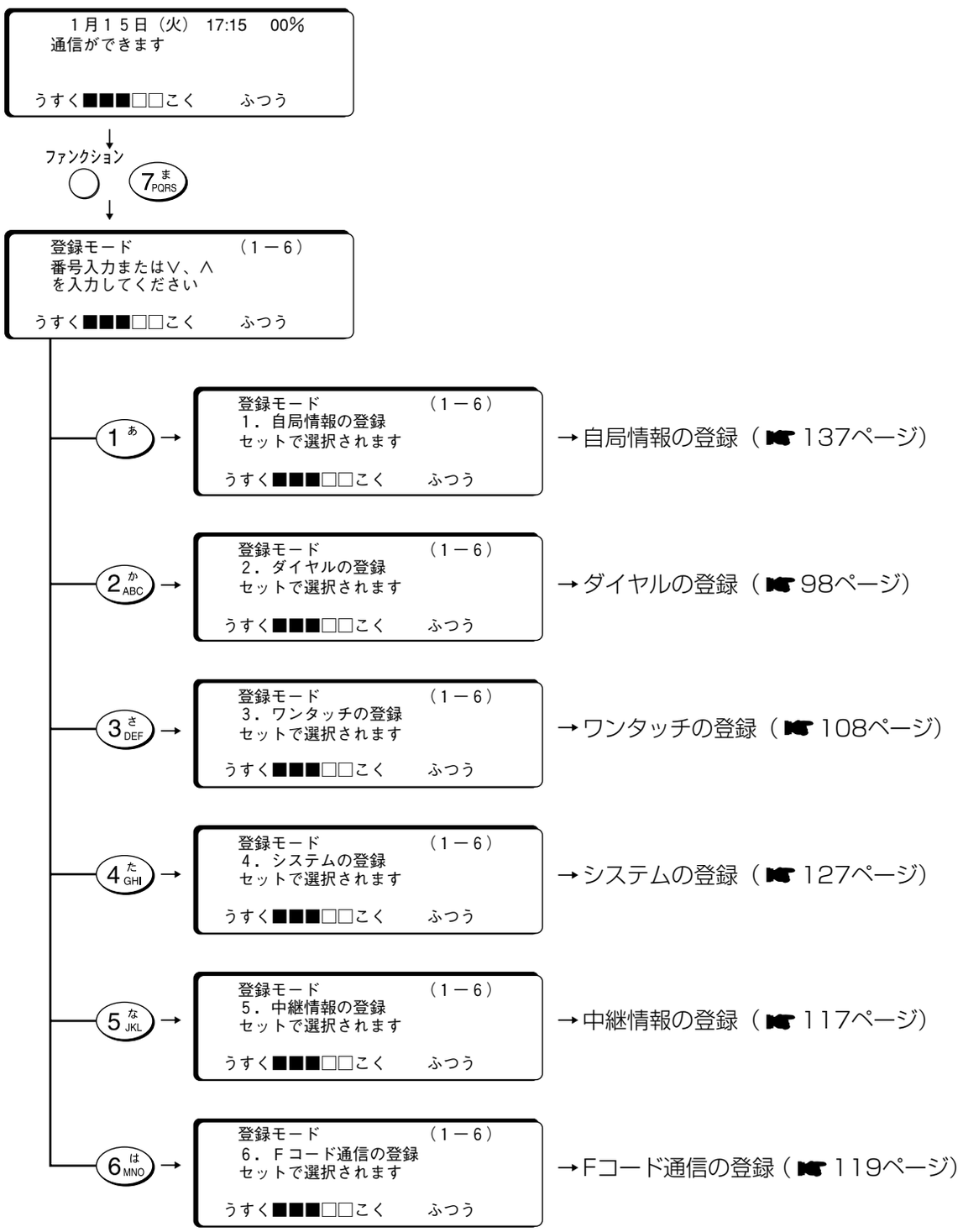
各種登録・設定

登録操作フロー

次のボタン操作をして、それぞれの登録をします。

(ファクス) ランプ点灯状態で

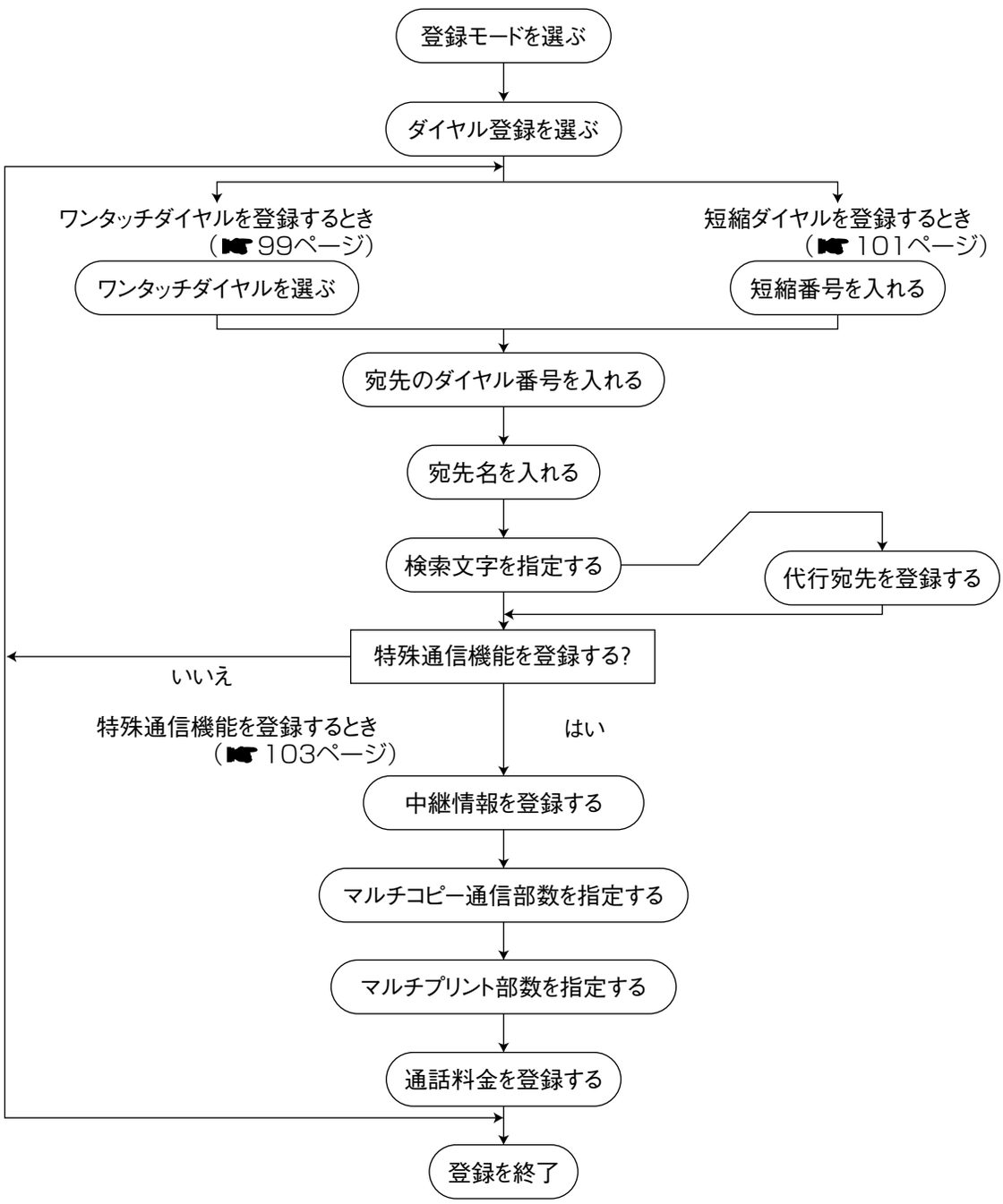
・消灯しているときは、押して点灯させる。



ダイヤルの登録

■ ダイヤル登録操作フロー

ダイヤル番号をワンタッチダイヤル（01 ～ 60）や短縮ダイヤル（00 ～ 99）に登録して、簡単な操作で相手にダイヤルすることができます。



■ワンタッチダイヤルの登録

よく使う宛先のダイヤル番号をワンタッチダイヤル（01 ～60 ）に登録しておくことができます。

(ファクス) ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 ファンクション ○ 7(ま PQRS) 2(か ABC) セット ○ **を押す**

```
ダイヤルの登録
1．ワンタッチダイヤルの登録
2．短縮ダイヤルの登録

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

2 1(あ) **を押す**

```
ワンタッチダイヤルの登録
ボタン(０１～６０)
　　を押してください

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

3 **ワンタッチボタン（01 ～60）を押す**

・すでに登録されている内容がある場合、その番号が表示される。

・間違えたときや登録済のボタンを押した場合は、▼▲を押し、ほかのワンタッチボタンを選べます。

```
ワンタッチダイヤル登録：０１
ダイヤルを登録してください

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

4 **宛先のダイヤル番号（最大 60 桁）を入れる**

・間違えた場合は、◀▶ を押してカーソルを移動させて クリアー ○ で消してから、入れ直します。

・オプションの G4 通信ユニットを増設している場合は、電話番号入力後回線選択を登録した機能ボタンを押して回線を指定し、セット ○ ボタンを押します。

例

```
ワンタッチダイヤル登録：０１
ダイヤルを登録してください
0334952973_

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

5 セット ○ **を押す**

・ダイヤル番号が登録されます。

```
ワンタッチダイヤル登録：０１
名称を登録してください(かな漢)
―

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

6 **宛先名（最大 20 文字）を入れる**

・宛先の名前を入れます。（☛132 ページ）

```
東京本社_
　入力モード：かな漢
■

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

7 セット ○ **を押す**

・宛先名が登録されます。

・宛先名に登録した先頭の文字が、電話帳の検索文字として表示されます。

```
ワンタッチダイヤル登録：０１
検索文字を入力してください
検索文字：と

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

8 **検索文字を確認して セット を押す**

・検索文字が登録されます。
・システム登録の「107 代行宛先通信」（☛131 ページ）の設定が「あり」の場合、登録できます。

```
代行宛先を登録してください
短縮：__　（2桁）
うすく■■■□□こく　ふつう
```

9 **代行宛先を入れて セット を押す**

・特殊通信機能の登録が選べる。
（☛103 ページ「特殊通信機能の登録」）

```
特殊通信機能を登録しますか
1．はい　2．いいえ
うすく■■■□□こく　ふつう
```

10 **2 か ABC を押す**

・続けてワンタッチダイヤルの登録ができます。手順3からの操作をします。

```
ワンタッチダイヤルの登録
ボタン(01～60)
　　を押してください
うすく■■■□□こく　ふつう
```

11 **ストップ を押す**

お知らせ

- ワンタッチダイヤルの登録を途中でやめるときは、ストップ を押します。
- 手順４でダイヤル番号として登録できるのは、数字、＊、＃、ポーズ（−）、オンフック / スペース（スペース）の最大（60 桁）です。
- 手順４でスペースを登録するときは、モニター/スペース を押します。
- 国際ダイヤル通話をご利用の場合は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。
- NCC回線をご利用の場合は、NCC回線のアクセス番号のあとに、再ダイヤル/ポーズ を2回押して約７秒の空白時間を入れてから、残りのダイヤル番号を入れてください。
- 宛先名の先頭に50音以外の文字登録を登録したときは、電話帳機能を使ってダイヤルするときの検索文字が登録されません。手順 8 で セット を押す前に、テンキーを使って検索文字を登録してください。
- 一般電話の電話番号を誤って登録すると、自動再ダイヤルにより相手の方を何度も呼び出し、大変ご迷惑をおかけすることになりますのでご注意ください。

■短縮ダイヤルの登録

よく使う宛先のダイヤル番号を2 桁の短縮番号（00 ～99）に登録しておくことができます。

(ファクス) ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 (ファンクション) (7 ま PQRS) (2 か ABC) (セット) を押す

```
ダイヤルの登録
1．ワンタッチダイヤルの登録
2．短縮ダイヤルの登録

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

2 (2 か ABC) を押す

```
短縮ダイヤルの登録　　設定数：000
短縮番号を指定してください
短縮：__　　（2 桁）

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

3 短縮番号（00 ～99 ）を押す

・すでに登録されている内容がある場合、その番号が表示されます。
・間違えた場合は、▼▲ を押し、ほかの短縮番号を選べます。

```
短縮ダイヤルの登録　　短縮：０１
ダイヤルを登録してください
－

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

4 宛先のダイヤル番号（最大 60 桁）を入れる

・間違えたときや登録済のボタンを押した場合は、◀▶ を押してカーソルを移動させて (クリアー) で消してから、入れ直します。
・オプションの G4 通信ユニットを増設している場合は、電話番号入力後回線選択を登録した機能ボタンを押して回線を指定し、(セット) ボタンを押します。

例

```
短縮ダイヤルの登録　　短縮：０１
ダイヤルを登録してください
0334919191_

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

5 (セット) を押す

・ダイヤル番号が登録されます。

```
短縮ダイヤルの登録　　短縮：０１
名称を登録してください(かな漢)
―

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

6 宛先名（最大 20 文字）を入れる

・宛先の名前を入れます。(☛132 ページ)

```
松下電送システム__
　入力モード：かな漢
■

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

7 (セット) を押す

・宛先名が登録されます。
・宛先名に登録した先頭の文字が、電話帳の検索文字として表示されます。

```
短縮ダイヤルの登録　　短縮：０１
検索文字を入力してください
検索文字：ま

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

8 **検索文字を確認して セット を押す**

・検索文字が登録されます。
・システム登録の「107 代行宛先通信」（☛131ページ）の設定が「あり」の場合、登録できます。

```
代行宛先を登録してください
短縮：__　　（2桁）
うすく■■■□□こく　　ふつう
```

9 **代行宛先を入れて セット を押す**

・特殊通信機能の登録が選べます。
（☛103ページ「特殊通信機能の登録」）

```
特殊通信機能を登録しますか
1．はい　　2．いいえ
うすく■■■□□こく　　ふつう
```

10 **2 か を押す**

・続けて短縮ダイヤルの登録ができます。手順3からの操作をします。

```
短縮ダイヤルの登録　　設定数：001
短縮番号を指定してください
短縮：__　　（2桁）
うすく■■■□□こく　　ふつう
```

11 **ストップ を押す**

・待機状態に戻ります。

お知らせ

- 短縮ダイヤルの登録を途中でやめるときは、ストップ を押します。
- 手順4でダイヤル番号として登録できるのは、数字、＊、＃、ポーズ（−）、オンフック/スペース（スペース）の最大（60桁）です。
- 国際ダイヤル通話をご利用の場合は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。
- NCC回線をご利用の場合は、NCC回線のアクセス番号のあとに、再ダイヤル/ポーズ を2回押して約7秒の空白時間を入れてから、残りのダイヤル番号を入れてください。
- 宛先名の先頭に50音以外の文字登録を登録したときは、電話帳機能を使ってダイヤルするときの検索文字が登録されません。手順8で セット を押す前に、テンキーを使って検索文字を登録してください。
- 一般電話の電話番号を誤って登録すると、自動再ダイヤルにより相手の方を何度も呼び出し、大変ご迷惑をおかけすることになりますのでご注意ください。

■特殊通信機能の登録

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに「中継情報」などの特殊通信機能を登録することができます。

- 「中継情報」を登録したいときは、あらかじめ、システム登録の「104 短縮ダイヤル情報」を“あり”にしておいてください（☛130ページ）。
- 特殊通信機能について、詳しくは、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。

(ファクス) ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 **ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルの登録の手順９までの操作をする（☛99ページ、101ページ）**

```
特殊通信機能を登録しますか
1．はい　　2．いいえ
うすく■■■□□こく　　ふつう
```

2 **(1あ) を押す**

```
中継情報を登録しますか
1．中継機　　2．中継機以外
3．いいえ
うすく■■■□□こく　　ふつう
```

3 **中継機の種類を選ぶ**

・(1あ)：宛先が中継親局のときに選びます。
・(2かABC)：宛先が中継親局を経由した相手のときに選びます。
・(3さDEF)：のとき→手順10へ進みます。

例：「2」

```
中継機識別番号を
登録してください
＿　（2桁）
うすく■■■□□こく　　ふつう
```

4 **中継機識別番号（2桁）を指定し、(セット) を押す**

・2桁の識別番号を指定します。
・手順3で (1あ) を選択した場合、手順7へ進みます。
・間違えたときは、(セット) を押す前に (クリアー) 押して、指定し直します。

```
中継指示宛先の登録
1．短縮　　2．内線
3．直接
うすく■■■□□こく　　ふつう
```

5 **中継親局からのダイヤル方法を選ぶ**

・(1あ)：中継親局に登録されている短縮番号を使ってダイヤルします。
→手順6へ進みます。

```
中継指示宛先の登録
短縮番号を指定してください
＿　（7桁）
うすく■■■□□こく　　ふつう
```

・(2かABC)：中継親局の内線を使って、本機の短縮ダイヤルに登録されている中継指示の内線番号へダイヤルします。
→手順6へ進みます。

```
中継指示宛先の登録
内線番号を指定してください
＿　（7桁）
うすく■■■□□こく　　ふつう
```

・(3さDEF)：中継親局の外線を使って、本機の短縮ダイヤルに登録されている番号をダイヤルします。
→手順8へ進みます。

```
2次中継機識別番号を
登録してください
＿　（2桁）
うすく■■■□□こく　　ふつう
```

6 中継親局からダイヤルする番号を指定する

・手順５で (1あ) を選んだときは、中継親局に登録されている短縮番号を指定します。

・手順５で (2かABC) を選んだときは、中継親局からダイヤルする内線番号を指定します。

7 セット ◯ を押す

・２次中継機識別番号を指定しないときは、セット ◯ を押して手順９へ進みます。

```
２次中継機識別番号を
登録してください
＿　　（２桁）
うすく■■■□□こく　　ふつう
```

8 ２次中継機識別番号（２桁）を指定します

・間違えたときは、クリアー ◯ を押して、指定し直します。

例：「10」

```
２次中継機識別番号を
登録してください
１０　（２桁）
うすく■■■□□こく　　ふつう
```

9 セット ◯ を押す

```
マルチコピー通信部数の指定
部数：0１　（２桁）
うすく■■■□□こく　　ふつう
```

10 マルチコピー通信部数（最大 99 部）を指定する

・相手先機の出力部数を指定できます。

・間違えたときは、クリアー ◯ を押して、指定し直します。

例：「03」

```
マルチコピー通信部数の指定
部数：０３　（２桁）
うすく■■■□□こく　　ふつう
```

11 セット ◯ を押す

```
マルチプリント部数の指定
部数：0１　（２桁）
うすく■■■□□こく　　ふつう
```

12 マルチプリント部数（最大 99 部）を指定する

・登録した相手からファクスを受信したとき、あらかじめ部数（最大99部）を設定しておいて、指定した部数を自動的にプリントできます。

・間違えたときは、クリアー ◯ を押して、指定し直します。

例：「03」

```
マルチプリント部数の指定
部数：０３　（２桁）
うすく■■■□□こく　　ふつう
```

13 セット ◯ を押す

```
料金登録設定をおこないますか
１．国内料金　２．海外料金
３．いいえ
うすく■■■□□こく　　ふつう
```

14 (1 あ) を押す

・料金登録をしておくと、通信管理レポートの“料金”の欄に通信料金を印字させることができます。料金登録には、「国内」と「海外」の2種類があります。

通話料金を登録してください
国内：＿　.　　（秒／１０円）
うすく■■■□□こく　　ふつう

15 通話料金を登録する

・最大180秒まで登録できます。
・間違えたときは、クリアー ○ を押して、指定し直します。

例：10円で60秒通話できる場合

通話料金を登録してください
国内：０６０.＿　（秒／１０円）
うすく■■■□□こく　　ふつう

16 セット ○ ▽ストップ ⊖ を押す

・待機状態に戻ります。

お知らせ

●システム登録の「104 短縮ダイヤル情報」が“なし”になっているときは、中継情報、マルチコピー部数、料金登録を登録することができません。
●マルチプリント部数の指定において、部数プリントをするためには、システム登録の「101 マルチプリント部数」を“短縮／ワンタッチ”に設定する必要があります。

■ダイヤルの変更

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録されている内容を変更します。

ファックス ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 **ファンクション 7 2 セット を押す**

```
ダイヤルの登録
1．ワンタッチダイヤルの登録
2．短縮ダイヤルの登録

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

2 **1 または 2 を押す**

・ 1 ：ワンタッチダイヤルを変更する場合

・ 2 ：短縮ダイヤルを変更する場合

例「1」

```
ワンタッチダイヤル登録：０１
ボタン(０１～６０)
　　を押してください

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

3 **変更するワンタッチダイヤル（01 ～ 60）を押す**

・ 登録されているダイヤル番号が表示されます。

```
ワンタッチダイヤル登録：０１
ダイヤルを登録してください
0334952973

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

4 **クリアー を押す**

・ 表示されている番号が消去されます。

これから先は、「ワンタッチダイヤルの登録」（☛99 ページ）または「短縮ダイヤルの登録」（☛101 ページ）の手順 4 からの操作をします。

■ダイヤルの消去

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録されている内容を消去します。

(ファクス) ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 ファンクション ○ (7 ま PQRS) (2 か ABC) セット ○ **を押す**

```
ダイヤルの登録
1．ワンタッチダイヤルの登録
2．短縮ダイヤルの登録

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

2 (1 あ) **または** (2 か ABC) **を押す**

・ (1 あ) ：ワンタッチダイヤルを消去する場合

・ (2 か ABC) ：短縮ダイヤルを消去する場合

例「1」

```
ワンタッチダイヤル登録：０１
ボタン(０１～６０)
　　を押してください

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

3 **消去するワンタッチダイヤル（01 ～ 60）を押す**

・ 登録されているダイヤル番号が表示されます。

```
ワンタッチダイヤル登録：０１
ダイヤルを登録してください
0334952973

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

4 クリアー ○ **を押す**

・ 表示されている番号が消去されます。

5 セット ○ ▽ストップ (−) **を押す**

・ 指定したワンタッチダイヤルが消去されます。

・ セット ○ を押したあとに、手順3からの操作をくり返せば、続けてダイヤル番号の消去ができます。

お知らせ

● 短縮ダイヤルの変更および消去を途中でやめるときは ▽ストップ (−) を押します。

ワンタッチの登録

ワンタッチボタン（01～60）にダイヤルを登録して、グループダイヤル、プログラムダイヤルとして、お使いになれます。

■グループダイヤルの登録

ワンタッチボタンに、複数の短縮ダイヤルやワンタッチダイヤルを登録して、グループダイヤルとしてお使いになれます。
（最大 159 宛先まで）

● グループダイヤルには、登録済みの短縮番号やワンタッチボタンを指定して入力します。あらかじめ、短縮ダイヤルやワンタッチダイヤルの登録をしておいてください（☛99 ページ）

ファクス ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 **ファンクション ○ 7 ま PQRS 3 さ DEF セット ○ 1 あ セット ○ を押す**

```
グループダイヤルの登録
ボタン(０１～６０)
              を押してください

うすく■■■□□こく      ふつう
```

2 **ワンタッチボタン（01～60）を押す**

例：「ワンタッチボタン 03」

```
グループダイヤルの登録
名称を登録してください(かな漢)
―

うすく■■■□□こく      ふつう
```

3 **グループダイヤル名称（最大 20 文字）を入れる（☛132 ページ）**

例：「工場グループ」

```
工場グループ_
  入力モード：かな漢
■

うすく■■■□□こく      ふつう
```

4 **セット ○ を押す**

```
グループダイヤルの登録      ：000
宛先を指定してください

うすく■■■□□こく      ふつう
```

5 **グループダイヤルに登録するワンタッチボタン、短縮番号を指定する**

例：「短縮 10」

```
グループダイヤルの登録      ：001
長野工場
短縮：１０（２桁）

うすく■■■□□こく      ふつう
```

6 **セット ○ を押す**

・ セット ○ を押したあとに、手順 5 からの操作をくり返せば、続けてグループダイヤルに宛先を追加できます。
（最大 159 宛先まで）

```
グループダイヤルの登録      ：001
宛先を追加してください

うすく■■■□□こく      ふつう
```

7 **スタート ストップ を押す**

■ グループダイヤル内容の宛先確認

ワンタッチボタンをグループダイヤルとして登録するとき、宛先内容の確認ができます。

ファクス ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 ファンクション ○ 7 ま PQRS 3 さ DEF セット ○ 1 あ セット ○ を押す

```
グループダイヤルの登録
ボタン(０１～６０)
          を押してください

うすく■■■□□こく      ふつう
```

2 確認するワンタッチボタン（01 ～ 60）を押す

例：「ワンタッチボタン 03」

```
グループダイヤルの登録
ボタン番号：０３
工場グループ          登録済み

うすく■■■□□こく      ふつう
```

3 セット ○ を押し、グループダイヤル名称を確認する

・ 登録されているグループダイヤル名称は クリアー ○ を押して消去できます。

・ グループダイヤル名称を変更しない場合は手順４ へ進みます。

4 セット ○ を押す

```
グループダイヤルの登録     ：010
宛先を指定してください

うすく■■■□□こく      ふつう
```

5 ▼ ▲ を押して、このグループに登録してある宛先を確認する

・▼ ▲を押して他の宛先を表示します。

```
グループダイヤルの登録     ：010
長野工場
短縮：１０（２桁）

うすく■■■□□こく      ふつう
```

6 ストップ ⊖ を押す

■ グループダイヤル内容の宛先削除／追加

(ファクス) ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 「グループダイヤル内容の宛先確認」（☛109 ページ）の手順 4 までの操作をする

2 ▼ ▲ を押して、このグループに登録してある宛先を確認する

・▼ ▲を押して他の宛先を表示します。

```
グループダイヤルの登録      :010
長野工場
短縮：１０ （２桁）
うすく■■■□□こく      ふつう
```

3 グループから消去する宛先が表示されたら、(クリアー) ◯ を押す

・消去しない場合は手順４へ進みます。

```
グループダイヤルの登録      :009
湘南工場
短縮：０９ （２桁）
うすく■■■□□こく      ふつう
```

4 (セット) ◯ を押す

```
グループダイヤルの登録      :009
宛先を追加してください
うすく■■■□□こく      ふつう
```

5 追加する宛先を指定する

・追加をしない場合は手順７へ進みます。

例：「短縮１１」

```
グループダイヤルの登録      :010
長野工場　総務部
短縮：１１ （２桁）
うすく■■■□□こく      ふつう
```

6 (セット) ◯ を押す

・(セット) ◯ を押したあとに、手順５からの操作を繰り返せば、続けてグループダイヤルに宛先を追加できます。

```
グループダイヤルの登録      :010
宛先を追加してください
うすく■■■□□こく      ふつう
```

7 (セット) ◯ を押す

・グループダイヤルの変更が終ります。

```
グループダイヤルの登録
ボタン(０１～６０)
          を押してください
うすく■■■□□こく      ふつう
```

8 (ストップ) ⊖ を押す

お知らせ

● グループダイヤルの変更を途中でやめるときは、(ストップ) ⊖ を押します。

■プログラムダイヤルの登録

ワンタッチボタンに宛先とポーリング受信などの各種通信操作を登録しておくと、複雑な機能もボタン１回押すだけで指定できます。

● プログラムダイヤルの宛先には、登録済みの短縮番号やワンタッチボタンを指定して入力します。あらかじめ、短縮ダイヤルやワンタッチダイヤルの登録をしておいてください。（☛99 ページ）

(ファクス) ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 (ファンクション) (7 ま PQRS) (3 さ DEF) (セット) (2 か ABC) (セット) を押す

```
プログラムダイヤルの登録
ボタン(０１～６０)
          を押してください

うすく■■■□□こく      ふつう
```

2 登録するワンタッチボタン(01～60)を押す

・指定したワンタッチに登録内容があるときは、ディスプレイの３段目に、その内容を表示する。
・間違えたときは、(クリアー)を押して、指定し直す。

```
プログラムダイヤルの登録
名称を登録してください(かな漢)
_
うすく■■■□□こく      ふつう
```

3 プログラム名称（最大 20 文字）を入れる

・文字の入力のしかた（☛132 ページ）

```
電送システム_
  入力モード：かな漢
■
うすく■■■□□こく      ふつう
```

4 (セット) を押す

```
プログラムダイヤルの登録
プログラムが登録できます
操作を指定してください
うすく■■■□□こく      ふつう
```

5 (ファンクション) を押して、通信操作を登録する

・登録する機能を表示させ、各種通信操作を登録します。
・宛先指定などは、通常の通信操作と同じです。各ページを参照してください。
・登録できる通信操作の種類（☛112 ページ）

```
ファンクション選択      （１－８）
番号入力またはＶ、Λ
を入力してください
うすく■■■□□こく      ふつう
```

6 (スタート) を押す

・プログラムダイヤルが登録されます。

```
プログラムダイヤルの登録
ボタン(０１～６０)
          を押してください
うすく■■■□□こく      ふつう
```

7 続けて、プログラムダイヤルの登録ができます。手順２からの操作をくり返します。

8 (ストップ) を押す

お知らせ

- プログラムダイヤルの登録を途中でやめるときは、ストップを押します。
- 指定したワンタッチに、すでに登録済みの内容があるときは、その内容が表示されます。
- プログラムダイヤルの登録は、ワンタッチダイヤル、グループダイヤルを含めて最大 60 件まで指定できます。

■ プログラムダイヤルの変更

1 「ワンタッチボタンの消去」（☛116 ページ）をする

2 「プログラムダイヤルの登録」（☛111 ページ）の操作をして、プログラムダイヤルを登録し直す

登録できる通信操作の種類

プログラムダイヤル	1. タイマー通信	1. 送信
		2. ポーリング受信
		3. 特殊通信
	2. 特殊通信	1. 中継同報指示
		3. ファイル送信
		4. F コード通信
		5. マルチコピー通信
	3. ポーリング	1. ポーリング受信
		3. リバースポーリング
	8. セレクトモード	1. 優先通信
		2. OMR 送信
		3. セレクト送信
		4. パスワード送信
		5. ワンタイム海外通信
		6. 定期便タイマー通信

■ファンクションの登録

ワンタッチ、機能ボタン（01 ～60, F1 ～F4）によく使う機能を登録できます。ファンクション登録しておくと、複雑な操作を 1 回の操作で指定できます。
登録する機能が「メモリー」、「済スタンプ」のときは、F1 ～F4 の機能ボタンに登録します。

(ファクス) ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 ファンクション 7 3 セット 3 セット を押す

```
ファンクションの登録
ボタン（０１～６０，Ｆ１～Ｆ４）
                を押してください

うすく■■■□□こく      ふつう
```

2 登録するボタン（01 ～60, F1 ～F4）を押す

・指定したボタンに登録内容があるときは、ディスプレイの３段目に、その内容を表示します。
・間違えたときは、クリアーを押して、指定し直す。

```
希望項目の番号を選んでください
 1．タイマー送信
 2．タイマーポーリング受信

うすく■■■□□こく      ふつう
```

3 ▼ を押して、登録する機能を表示させる

・▼ を押すと、ディスプレイは次のように切り替わります。登録する機能を表示させます。
・登録できる機能の種類（☛112 ページ）

```
希望項目の番号を選んでください
 1．タイマー特殊通信
 2．中継通信

うすく■■■□□こく      ふつう
```

→

```
希望項目の番号を選んでください
 1．ファイル蓄積
 2．ファイル送信

うすく■■■□□こく      ふつう
```

4 1 または 2 を押す

・登録する機能がディスプレイの３段目に表示されます。
・間違えたときは、クリアーを押して、指定し直します。

5 セット を押す

```
ファンクションの登録
ボタン（０１～６０，Ｆ１～Ｆ４）
                を押してください

うすく■■■□□こく      ふつう
```

6 続けて、ファンクションの登録ができます。手順2からの操作をくり返します。

7 ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

お知らせ

- ファンクションの登録を途中でやめるときは、ストップを押します。
- 「タイマー通信の指定」または「通信モード／回線の指定」をファンクションに登録する場合、手順４で 1 または 2 を押しただけでは機能は登録されません。以下の操作をしてください。
  ・「タイマー通信の指定」の場合、手順４までの操作をする→時刻指定する→セットを２回押す→ストップを押す

各種登録・設定

■登録できる機能の種類

機能名	説　明	参照ページ
タイマー送信	あらかじめ、指定しておいた時間に通信を指定することができます。	53 ページ
タイマーポーリング受信	あらかじめ、指定しておいた時間にタイマーポーリング受信をします。	54 ページ
タイマー特殊通信	本機でご利用になれる各種通信を、通信時刻を指定してお使いになれます。	55 ページ
中継同報指示	中継親局を経由して、遠方にある複数の宛先へ、経済的に送信を指定できます。	57 ページ
ファイル蓄積	ファイル送信する原稿を本体のメモリーに蓄積します。	58 ページ
ファイル送信	ファイル蓄積した内容を送信します。	59 ページ
ファイル消去	ファイル蓄積した内容を消去します。	60 ページ
ファイルプリント	ファイル蓄積した内容をプリントして確認できます。	60 ページ
手動ファイル転送	代行受信をしているけれどトナーや用紙が無くてプリントできないときなどに、受信した内容を別のファクスに転送してプリントすることができます。	88 ページ
F コード送信	機密保持のために相手機に登録されているサブアドレス番号を指定し、一致した相手機サブアドレスのボックスに文書を蓄積します。	61 ページ
F コード取り出し	相手機に開設されたボックスに登録してある文書を取り出すことができます。	63 ページ
F コード掲示板登録	登録あらかじめ掲示板ボックスを開設して、ボックスに文書を登録することができます。	62 ページ
F コード親展プリント	親展ボックスに登録された文書を取り出すことができます。	64 ページ
マルチコピー通信	送信するとき、受信側でプリントする枚数を指定することができます。	65 ページ
ポーリング受信	相手にセットされているポーリング原稿を、こちらの操作で受信します。	50 ページ
ポーリング送信	相手の操作で自動的に送信したいときに、ポーリング送信をセットします。	48 ページ
リバースポーリング	相手に原稿を送信してから、ポーリング送信がセットされている原稿を受信します。	49 ページ
通信管理レポートの出力	通信管理レポートをプリントすることができます。	89 ページ
通信管理レポートの確認	通信管理状況を、ディスプレイで確認することができます。	89 ページ
OMR 通信	専用の OMR シートを使って、通信を指定することができます。	66 ページ
パスワード送信	パスワードが一致する相手にだけ、送信することができます。	69 ページ
セレクト送信	ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録した相手にしか、ファクスを送信しないようにすることができます。	74 ページ

機能名	説　明	参照ページ
優先通信	至急に送信したい原稿を、現在、行っている通信の次に送信することができます。	76 ページ
ワンタイム海外通信	海外の相手と通信をしていて、通信エラーや画質異常になるときに指定します。	77 ページ
定期便タイマー通信	登録済みの定期便タイマーの指定時刻（最大 5 つ）から、一番近い時刻になると、自動的に通信を始めます。	78 ページ
通信予約の確認	タイマー通信などの通信予約の確認できます。	81 ページ
時間・宛先変更	タイマー送信やタイマーポーリング受信の指定時間、宛先を変更できます。	83 ページ
通信予約の消去確認	タイマー通信などの通信予約を消去できます。	84 ページ
指定通信予約レポート	通信予約をしている内容があるとき、指定する予約内容をレポートにしてプリントすることができます。	85 ページ
未達宛先再通信	メモリーに蓄積されている未通信の内容を再通信の指定にします。	86 ページ
受信データの強制出力	装置設定の「代行出力」が“なし”になっているとき、メモリーに蓄積されている受信原稿を強制的にプリントします。	87 ページ
節電モード設定	低電力モード、スリープモードの設定ができます。	—
メモリー転送	受信した原稿を、すべて指定した宛先へ転送します。	—
ダイレクト通信	メモリーを使わないでダイレクト送信を指定します。	—
発信元印字の ON/OFF	送信するときに、発信元情報の印字の付加を指定できます。	—
等倍送信	相手側にセットされている記録紙のサイズに関わらず、セットした原稿を縮小しないで送信できます。	—
メモリー（★）	メモリー指定時は、通常の通信操作でメモリー送信(ランプ点灯)とします。また通常の操作でダイレクト送信（ランプ消灯）することもできます。	24 ページ 28 ページ
済スタンプ（★）	送信済みの原稿に㊟マークを押す（ランプ点灯）ことができます。	23 ページ
通信モード／回線（＊）	オプションの G4 通信ユニットを増設した場合に使用します。	—
回線選択（＊）	回線の指定ができます。	—
ISDNサブアドレス（＊）	オプションのG4 通信ユニットを増設した場合に使用します。	—

＊印の機能は、G4 通信ユニットを増設した場合、ご利用になれます。

★印の機能は、F1 ～F4 の機能ボタンにのみ登録できます。

お知らせ

● ワンタッチダイヤルの登録を途中でやめるときは、ストップ⊖を押します。

■ワンタッチの消去

ワンタッチボタン（01～60）と機能ボタン（F1～F4）に登録されている内容を消去します。

ファクス ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 ファンクション ○ 7 ま PQRS 3 さ DEF セット ○ 4 た GHI セット ○ **を押す**

```
ワンタッチボタンの消去
ボタン（０１～６０，Ｆ１～Ｆ４）
                を押してください
うすく■■■□□こく      ふつう
```

2 **消去するボタンを押す**

・消去するボタン（01～60、F1～F4）を選択します。
・登録されている内容がディスプレイの３段目に表示されます。
・間違えたときは、クリアー ○ を押して、指定し直します。

```
ワンタッチボタンの消去
ボタン番号：０１
ダイヤル              登録済み
うすく■■■□□こく      ふつう
```

3 セット ○ **を押す**

```
ワンタッチボタンの消去
ボタン番号：０１    消去しますか
１．はい      ２．いいえ
うすく■■■□□こく      ふつう
```

4 1 あ **を押す**

・指定したボタンの内容が消去されます。
・登録内容を消去しないときは、2 か ABC を押します。手順１の画面に戻ります。

```
ワンタッチボタンの消去
ボタン番号：０１    消去しました
うすく■■■□□こく      ふつう
```

5 **続けて、ワンタッチの消去をするときは、手順２からの操作をくり返します**

```
ワンタッチボタンの消去
ボタン（０１～６０，Ｆ１～Ｆ４）
                を押してください
うすく■■■□□こく      ふつう
```

6 ストップ ⊖ **を押す**

・待機状態に戻ります。

お知らせ

● ワンタッチの消去を途中でやめるときは、ストップ ⊖ を押します。

中継情報の登録

中継通信をするために必要な情報を登録します。

ファクス ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 **ファンクション 7 ま PQRS 5 な JKL を押す**

```
登録モード                (1－7)
5．中継情報の登録
セットで選択されます

うすく■■■□□こく      ふつう
```

2 **セット を押す**

```
電話番号の登録

_

うすく■■■□□こく      ふつう
```

3 **▼▲を押して、必要な情報を登録する**
(☛ 118ページ)

4 **ストップ を押す**

・必要な情報の登録が終了したとき押します。

中継情報の登録の種類

中継情報では、次の
各項目が登録できます。

	項　　目	内　　容	参照ページ
1	電話番号	外線の電話番号を登録します。	141ページ
2	レポート返送先	外線で中継通信したとき、結果レポートを送る宛先を登録します。	―
3	ネットワークパスワード	中継ネットワーク内で使うパスワードを登録します。	―
4	自局中継識別番号	本機の識別番号を登録します。	―
5	中継機宛先	中継親局の電話番号を登録します。	―
6	中継機通話料金登録	中継親局との通話料金を登録します。	―
7	自ユーザーID	自局のユーザーID を登録します。	―
8	ISDN 電話番号	ISDN 回線専用の電話番号を登録します。	―
9	ISDN レポート返送先	ISDN回線で中継通信した時、結果レポートを送る宛先を登録します。	―

※ 8、9 はオプションの G4 通信ユニットを増設時に有効となります。

F コード通信の登録

F コード通信で使うボックスを開設します。
本機では、親展ボックスと掲示板ボックスを開設できます。

■親展ボックスの登録

(ファクス) ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 ファンクション ○ (7 ま PQRS) (6 は MNO) セット ○ **を押す**

```
Fコード通信の登録
1．ボックスの登録
2．ボックスの消去

うすく■■■□□こく      ふつう
```

2 (1 あ) **を押す**

```
ボックスの登録
1．親展ボックスの登録
2．掲示板ボックスの登録

うすく■■■□□こく      ふつう
```

3 (1 あ) **を押す**

```
親展ボックスの登録
ボックスNo.を指定してください
__     （2桁）

うすく■■■□□こく      ふつう
```

4 **ボックス No.（2 桁：01 ～ 10）を指定する**

・間違えたときは、クリアー ○ を押して、指定し直します。
・すでに掲示板ボックスとして登録されているボックス No. を選ぶことはできません。

例：「01」

```
親展ボックスの登録
ボックスNo.を指定してください
０１   （2桁）

うすく■■■□□こく      ふつう
```

5 セット ○ **を押す**

```
親展ボックスの登録
ボックス名称を登録してください


うすく■■■□□こく      ふつう
```

6 **ボックス名称（最大 20 文字）を入れる**

・文字の入力のしかた（☛132 ページ）

```
親展ボックス__
  入力モード：かな漢
■

うすく■■■□□こく      ふつう
```

7 セット ○ **を押す**

```
親展ボックスの登録
暗証番号を登録してください
__          （4桁）

うすく■■■□□こく      ふつう
```

8 **暗証番号（4 桁）を登録する**

・間違えたときは、クリアー ○ を押して、指定し直します。

例：「1234」

```
親展ボックスの登録
暗証番号を登録してください
１２３４   （4桁）

うすく■■■□□こく      ふつう
```

9 セット ◯ を押す

親展ボックスの登録
サブアドレスを登録してください
_
うすく■■■□□こく　ふつう

10 サブアドレス（最大 20 桁）を登録する

・間違えたときは、クリアー ◯ を押して、指定し直します。

例：「12345678901234567890」

親展ボックスの登録
サブアドレスを登録してください
12345678901234567890
うすく■■■□□こく　ふつう

11 セット ◯ を押す

親展ボックスの登録
パスワードを登録してください
_
うすく■■■□□こく　ふつう

12 パスワード（最大 20 桁）を登録する

・パスワードが必要ない場合は、何も入力しないで手順 13 に進みます。
・間違えたときは、クリアー ◯ を押して、指定し直します。

例：「222223333344444555555」

親展ボックスの登録
パスワードを登録してください
22222333334444455555
うすく■■■□□こく　ふつう

13 セット ◯ を押す

親展ボックスの登録
セレクト番号を登録してください
短縮：__　（2 桁）
うすく■■■□□こく　ふつう

14 親展ボックスに受信する相手を登録する

・親展ボックスに受信する相手を選択します。
・間違えたときは、クリアー ◯ を押して、指定し直します。
・セレクト番号の選び方（☛122 ページ）

例：短縮番号「01」

親展ボックスの登録
松下電送システム
短縮：01　（2 桁）
うすく■■■□□こく　ふつう

15 セット ◯ を押す

親展ボックスの登録
受付レポートを出力しますか
1．はい　　2．いいえ
うすく■■■□□こく　ふつう

16 受付レポートの出力を選ぶ

・(1あ)：親展ボックスに受信したとき、受付レポートを出力します。
・(2かABC)：受付レポートを出力しません。

例：「受付レポートを出力する」を選択する場合

ボックスNo.01は
親展ボックス
として登録されました
うすく■■■□□こく　ふつう

17 続けて、親展ボックスの登録をするときは、
手順 4 からの操作をくり返します

18 ストップ を押す

お知らせ

- 親展ボックスに登録した暗証番号は忘れないようにご注意ください。暗証番号を忘れると、親展ボックスに受信した文書をプリント（☛64ページ）したり、ボックスの登録内容を変更・消去することができなくなります。
- 暗証番号を忘れた場合は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。
- 親展ボックスの登録を途中でやめるときは、ストップを押します。

親展ボックスの変更

1 「親展ボックスの登録」の手順3までの操作をする（☛119ページ）

2 変更するボックスNo.を指定し、セット を押します
・間違えたときは、セット を押す前に クリアー を押して、指定し直します。

3 指定したボックスNo.に登録されている暗証番号を入力し、セット を押す

4 「親展ボックスの登録」の手順６からの操作をして、ボックス名称などの登録内容を変更する（☛119ページ）

お知らせ

● 掲示板ボックスに登録されているボックスを、親展ボックスに変更することはできません。ボックスの内容を変更するときは「通信ボックスの消去」（☛126ページ）をしてから登録し直してください。

セレクト番号の選び方

親展ボックスに受信する相手をセレクトすることができます。

セレクト番号	照合のしかた
任意の短縮番号	指定した短縮番号に登録されている電話番号の下４桁と、相手から送られてくるID番号の下４桁を照合し、一致すると受信を始めます。
0 ＊	短縮番号「00～09」に登録されている（最大10宛先）電話番号の下４桁と、相手から送られてくるID番号の下４桁を照合し、一致すると受信を始めます。
＊＊	短縮番号「00～99」に登録されている（最大100宛先）電話番号の下４桁と、相手から送られてくるID番号の下４桁を照合し、一致すると受信を始めます。
入力なし	相手をセレクトしないで受信します。

■掲示板ボックスの登録

ファクス ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 ファンクション 7 ま PQRS 6 は MNO セット **を押す**

```
Fコード通信の登録
1．ボックスの登録
2．ボックスの消去

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

2 1 あ **を押す**

```
ボックスの登録
1．親展ボックスの登録
2．掲示板ボックスの登録

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

3 2 か ABC **を押す**

```
掲示板ボックスの登録
ボックスNo.を指定してください
＿　　（2桁）

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

4 **ボックスNo.（2桁：01～10）を指定する**

・間違えたときは、クリアー を押して、指定し直します。

・すでに親展ボックスとして登録されているボックスNo.を選ぶことはできません。

例：「01」

```
掲示板ボックスの登録
ボックスNo.を指定してください
０１　（2桁）

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

5 セット **を押す**

```
掲示板ボックスの登録
ボックス名称を登録してください

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

6 **ボックス名称（最大20文字）を入れる**

・文字の入力のしかた（☛132ページ）

```
掲示板ボックス＿
　入力モード：かな漢
■

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

7 セット **を押す**

```
掲示板ボックスの登録
暗証番号を登録してください
＿　　（4桁）

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

8 **暗証番号（4桁）を登録する**

・間違えたときは、クリアー を押して、指定し直します。

例：「1234」

```
掲示板ボックスの登録
暗証番号を登録してください
１２３４　（4桁）

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

9 セット **を押す**

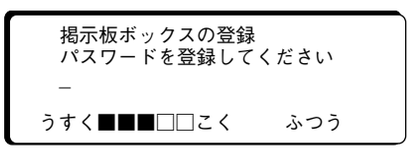
```
掲示板ボックスの登録
サブアドレスを登録してください
＿

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

10 **サブアドレス（最大 20 桁）を登録する**

・間違えたときは、クリアー ◯ を押して、指定し直します。

例：「12345678901234567890」

11 セット ◯ **を押す**

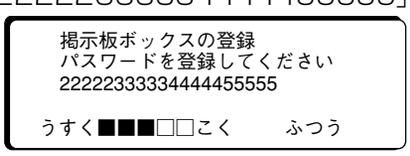


12 **パスワード（最大 20 桁）を登録する**

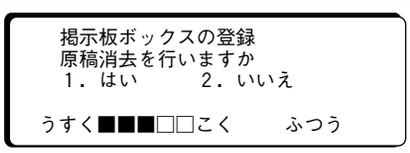
・パスワードが必要ない場合は、何も入力しないで手順 13 に進みます。

・間違えたときは、クリアー ◯ を押して、指定し直します。

例：「222223333344444455555」



13 セット ◯ **を押す**

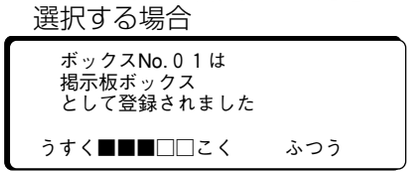


14 **通信後のメモリー保存を選ぶ**

・(1あ)：掲示板ボックスの内容を送信した後、原稿を消去します。

・(2かABC)：送信した後、消去しません。

例：「通信後、原稿消去を行う」を選択する場合



15 **続けて、掲示板ボックスの登録ができます。手順 4 からの操作をくり返します**

16 ストップ ⊖ **を押す**

お知らせ

- 掲示板ボックスに登録した暗証番号は忘れないようにご注意ください。暗証番号を忘れると、ボックスの登録内容を変更・消去することができなくなります。
- 暗証番号を忘れた場合は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。
- 掲示板ボックスの登録を途中でやめるときは、ストップ ⊖ を押します。

掲示板ボックスの変更

1 「掲示板ボックスの登録」の手順3までの操作をする（☛123ページ）

2 変更するボックスNo.を指定し、セット を押します
・間違えたときは、セット を押す前に クリアー を押して、指定し直します。

3 指定したボックスNo.に登録されている暗証番号を入力し、セット を押す

4 「掲示板ボックスの登録」の手順６からの操作をして、ボックス名称などの登録内容を変更する（☛123ページ）

お知らせ

● 親展ボックスに登録されているボックスを、掲示板ボックスに変更することはできません。ボックスの内容を変更するときは「通信ボックスの消去」（☛126ページ）をしてから登録し直してください。

■通信ボックスの消去

ファクス ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 ファンクション ○ 7ま PQRS 6は MNO セット ○ を押す

```
Fコード通信の登録
1．ボックスの登録
2．ボックスの消去

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

2 2か ABC を押す

```
通信ボックスの消去
ボックスNo.を指定してください
＿　（２桁）

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

3 ボックスNo.（2桁：01～10）を指定する

・間違えたときは、クリアー ○ を押して、指定し直します。

例：「01」

```
通信ボックスの消去
ボックスNo.を指定してください
０１　（２桁）

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

4 セット ○ を押す

```
通信ボックスの消去
暗証番号を指定してください
＿　（４桁）

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

5 暗証番号（4桁）を登録する

・間違えたときは、クリアー ○ を押して、指定し直します。

例：「1234」

```
通信ボックスの消去
暗証番号を指定してください
１２３４　（４桁）

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

6 セット ○ を押す

```
通信ボックスの消去
ボックスNo.０１を消去しますか
１．はい　　２．いいえ

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

7 ボックスの内容を消去するときは 1あ を押す

・ボックスの内容を消去しないときは、2か ABC を押します。手順２から指定し直します。

```
通信ボックスの消去
ボックスNo.０１を消去しました


うすく■■■□□こく　　ふつう
```

8 続けて、通信ボックスの消去ができます。手順3からの操作をくり返します

9 ストップ ⊖ を押す

お知らせ

- 指定した暗証番号を忘れた場合は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。
- 通信ボックスの消去を途中でやめるときは、ストップ ⊖ を押します。

システムの登録

■システム登録のしかた

ファクス ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 **ファンクション を押す**

```
登録モード              （1－6）
番号入力または∨、∧
を入力してください

うすく■■■□□こく      ふつう
```

2 **4 た GHI セット を押す**

```
システムの登録          （001-107）
No.＝_        （3桁）
うすく■■■□□こく      ふつう
```

3 **設定する番号（3 桁）を入れ、セット を押す**

・「システム登録一覧表」（☛128 ページ）を参照して、設定番号を選択します。

・設定番号を間違えたときは、クリアー を押して、指定し直します。

例：「００２」

```
002 文字サイズ          設定：1
1．ふつう    2．小さい
3．細密      4．ハーフトーン
うすく■■■□□こく      ふつう
```

4 **設定値を選ぶ**

・「システム登録一覧表」（☛128 ページ）を参照して、設定値を選択します。

```
002 文字サイズ          設定：1
1．ふつう    2．小さい
3．細密      4．ハーフトーン
うすく■■■□□こく      ふつう
```

5 **セット を押す**

・続けて、表示されている項目の設定ができます。手順 4 からの操作をくり返します。

```
004 済スタンプ          設定：2
1．なし      2．あり
うすく■■■□□こく      ふつう
```

6 **ストップ を押す**

・待機状態に戻ります。

お知らせ

● システム登録を途中でやめるときは、ストップを押します。

● 手順 4 の画面を表示しているとき、▼ ▲を押すと、ほかの設定項目が選べます。

■ システム登録一覧表

お買い上げ時は、下線の位置に設定されています。

設定番号	設定項目	設定値	説　明
001	原稿濃淡	1：うすく 〜 3：ふつう 〜 5：こく	通常、使用する原稿の濃さに合わせます。
002	文字サイズ	1：ふつう 2：小さい 3：細密 4：ハーフトーン	通常、使用する原稿の文字の大きさに合わせます。
004	済スタンプ	1：なし 2：あり	ダイレクト送信時に済スタンプの設定状態を選びます。
005	送信メモリー優先	1：なし 2：あり	“なし”にすると、通常の操作でダイレクト送信となります。
006	ダイヤル切替	1：PB 2：10pps 3：20pps	ダイヤル種別を選びます。
007	発信元印字	1：なし 2：原稿外 3：原稿内	相手用紙にプリントする発信元の位置を設定します。 “なし”にすれば、発信元をプリントしません。
009	受信時刻印字	1：なし 2：あり	“あり”にすれば、受信した時刻を用紙にプリントします。
010	ブザー音量	1：なし 2：小さい 3：大きい	アラーム音やボタンを押したときの音量を調節します。
012	通信結果レポート	1：ダイレクト 結果レポート 2：メモリー結果 レポート ＋ 1：なし 2：未通信 3：全通信	通信結果レポートをプリントするときの条件を設定します。
013	通信管理レポート	1：なし 2：あり	通信管理レポートのプリント方法を設定します。 “なし”にしたときはパネル操作でレポートをプリントします。
014	通信受付レポート	1：なし 2：あり	メモリー送信を受け付けたとき、受付枚数や宛先などをレポートにしてプリントします。
017	受信モード	1：FAX 専用 2：手動受信 3：F/T 切替 4：留守録接続	ファクスの受信のしかたを選びます。 **受信モード**ボタンを押して切り替えることもできます。

設定番号	設定項目	設定値	説　明
018	F/T ベル回数	1：3 回 2：6 回 3：9 回 4：12 回	受信モードを“F/T 切替”にセットしているとき、ファクスに切り替わってから呼出音を鳴らす回数を設定します。
019	応答メッセージ時間	1～20～60 秒	外付けの留守番電話機の応答メッセージの長さに合わせて設定します。
020	無音検知	1：なし 2：あり	“あり”にすると、用件を録音している間に約6秒の無音があると、ファクスの受信に切り替わります。
021	着信呼出回数	0：0 回 1：1 回～ 9：9 回	ファクスが着信するまでに鳴る呼出音の回数を設定します。
026	ポーリング用暗証番号の登録	4 桁のパスワード	ポーリング通信をするときに使う4 桁のパスワードです。
027	ポーリング送信保存	1：なし 2：あり	“あり”にすると、ポーリング送信したあと、原稿をメモリーから消去しません。
028	メモリー済スタンプ	1：なし 2：あり	“なし”にすると、メモリー送信のときに、原稿をメモリーに蓄積した時点で済スタンプを押しません。
031	未送信ファイル保存	1：なし 2：あり	未通信になったファイルをメモリーに保存し、再通信を指定することができます。
043	パスワード送信	4 桁のパスワード ＋ 1：なし 2：あり	送信パスワードを使って、相手とパスワード通信するとき、4 桁のパスワードを登録し、“あり”または“なし”を選びます。（☛69 ページ）
044	パスワード受信	4 桁のパスワード ＋ 1：なし 2：あり	受信パスワードを使って、相手とパスワード通信するとき、4桁のパスワードを登録し、“あり”または“なし”を選びます。（☛71 ページ）
045	セレクト送信	1：なし 2：あり	“あり”にすると、ダイヤル番号が登録されている相手にしかファクスを送信しません。
046	セレクト受信	1：なし 2：あり	“あり”にすると、ダイヤル番号が登録されている相手のファクスしか受信しません。
047	リモート受信	1：なし 2：あり	“あり”にすると、接続した外部電話機から、ファクスをリモート受信できます。
051	遠隔診断	1：なし 2：あり	遠隔操作などにより各種の診断を行う機能です。
054	メモリー転送	1：なし 2：あり	“あり”にすると、受信した原稿を、すべて指定した宛先へ転送できます。メモリー転送する宛先、メモリー転送を有効とする着信回線（オプションのG4通信ユニットまたはインターネットFAXユニットをお使いのとき）、転送時間帯、受信した原稿の本機でのプリント指定をセットできます。
061	ファクス／コピーモード	1：ファクス 2：コピー	待機時に、ファクス画面で待つか、コピー画面で待つかを選択します。
063	PC-FAX 受信	1：印刷 2：印刷＋PC 転送 3：PC 転送	パソコンをパラレルレポートで接続時、受信した原稿をパソコンへ転送する設定です。

設定番号	設定項目	設定値	説　明
066	代行出力	1：なし 2：あり	“あり”にしていると、受信中に適正サイズの用紙が無くなると、ほかのカセットにセットされている用紙を使ってプリントします。（☛42 ページ）
067	受信 2 in 1 機能	1：なし 2：あり	A5 または B5 サイズの原稿を 2 枚受信したとき、A4 または B4 サイズの用紙 1 枚にまとめてプリントします。
071	親切受信	1：なし 2：あり	相手が自動送信のファクス（ポー・・ポー・・音）の場合、受話器をおろすと自動的に受信に切り替わります。
072	音声応答	1：なし 2：あり	“F/T切替”にセットしているとき、ファクスに切り替わってから呼出音だけ相手に流したいときに“なし”にします
075	OP ハンドセット	1：なし 2：あり	オプションハンドセットをお使いのときに設定します。
078	回転送信	1：なし 2：あり	A4 原稿を（← ▯ ）の方向にセットし、送信すると 90° 回転して（← ▭）送ります。
082	クイックメモリー送信	1：なし 2：あり	クイックメモリー送信の設定
083	回転ソート	1：なし 2：あり	A4▭原稿の複数ページの受信やソートコピーで、A4 用紙へプリントするときは、1 部プリントする毎に A4 縦、A4 横と交互にプリントします。（この場合は、用紙の設定で A4 縦、横の両用紙をカセットに設定する必要があります）
088	通信モード／回線	1：外線 2：G4 3：G3（I）	オプションの G4 通信ユニットをお使いのとき、宛先を指定するときに最初に表示する回線を設定します。
096	NTT ファクシミリ通信網	1：なし 2：SDT 3：Timer	ファクシミリ通信網（★）加入時、第 2 発信音を検知する場合は SDT、しない場合は Timer にします。
099	メモリー容量	−	オプションの「メモリーカード」の取り付け状態を確認します。（メモリーカードは、取り付け時に自動認識しますので設定はありません。）
101	マルチプリント部数	1：なし 2：全受信 3：短縮／ワンタッチ	マルチプリント部数を指定する設定をします。
102	液晶表示濃度	淡い 〜 濃い	お使いになる場所の明るさに合わせて、適切な表示濃度を選ぶ事ができます。◀▶ボタンで設定します。
103	発呼宛先表示	1：宛先名 2：ダイヤル	宛先指定したとき、ディスプレイに表示する宛先種類の設定をします。
104	短縮ダイヤル情報	1：なし 2：あり	短縮ダイヤルとワンタッチダイヤルの付加情報を設定します。
105	メモリーフル時動作	1：中止 2：実行	メモリーフル時の動作を設定します。

設定番号	設定項目	設定値	説　明
106	原稿詰まり時動作	1：中止 2：実行	原稿詰まり時の動作を設定します。
107	代行宛先通信	1：なし 2：あり	短縮ダイヤルとワンタッチダイヤル発呼にて相手が話し中のとき、代行宛先に送信するかの設定をします。
111	G4 リモート発信元印字	1：なし 2：あり	G4 時、受信側が発信元印字をするかの設定をします。
112	G4 送信側発信元印字	1：なし 2：原稿外 3：原稿内	G4 時、送信側が発信元印字位置を設定します。
113	国際 ISDN	1：なし 2：あり	海外と ISDN を使用して通信を行うかを設定します。
115	発信元番号通知	1：なし 2：あり	INS64 通信時、相手デイスプレイに電話番号を表示させるかの設定をします。

※ 088、110 ～ 115 はオプションの G4 通信ユニットをお使いのときに設定します。

★ NTT コミュニケーションズがファクシミリ利用者向けにサービス（有料）している「ファクシミリ通信網（F ネット）」を利用できます。遠くの相手と多く通信する場合には、通常のファクス通信より経済的です。

・ ファクシミリ通信網の料金・機能・利用法についての詳しいことは、お近くの NTT コミュニケーションズ窓口にお問い合わせください。

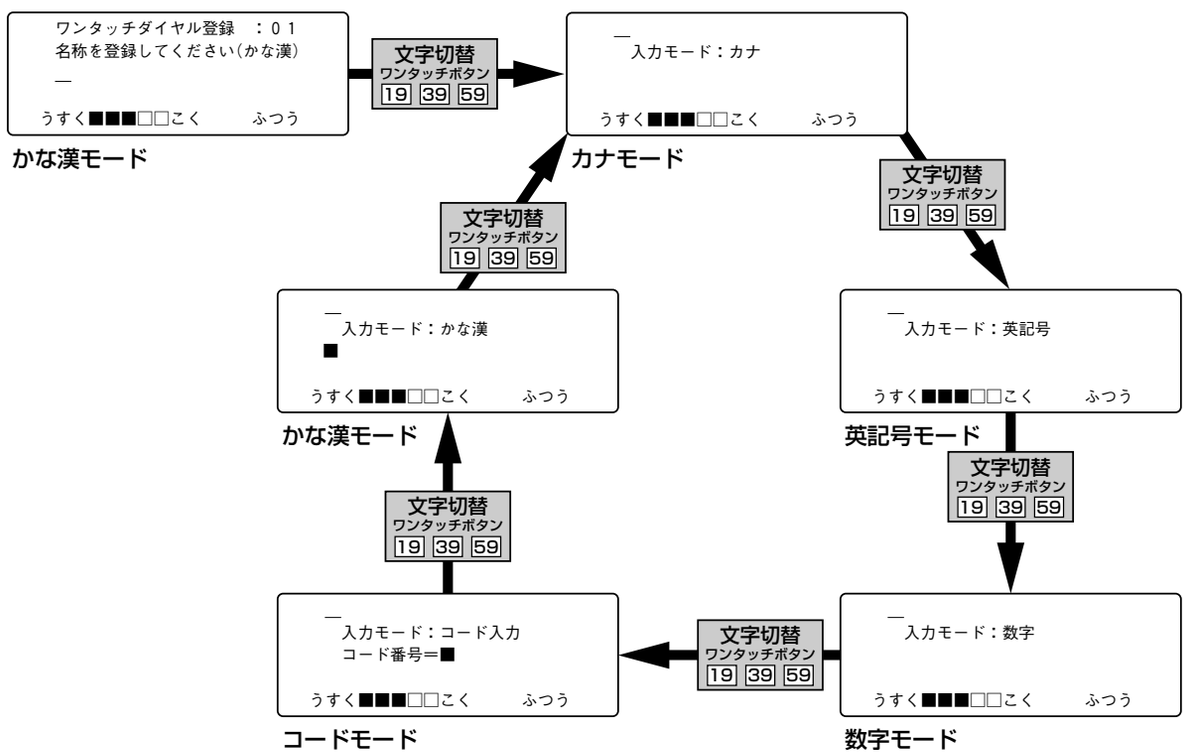
文字入力のしかた

発信元情報や、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルなどを登録するときには、文字を入力することができます。本商品では テンキー ボタンと ワンタッチ ボタンを使って、ひらがな、カタカナ、漢字、英字、記号、数字の入力ができます。

■入力モードの切り替え

文字入力時はワンタッチボタン 19 、 39 、 59 が 文字切替 ボタンとなり、以下のように押すごとに入力モードが切り替わります。待機状態では「かな漢モード」に設定されています。

例：ワンタッチダイヤルの名称登録



お知らせ

● 待機状態では、「かな漢モード」に設定されています。

■かな漢／カナ／英記号モードでの入力

134ページの一覧表のように、テンキーボタン（1 ～9 、#、＊）を何回押したかで、入力される文字が決定します。

例：「け」を入力する場合
文字切替ボタン（ワンタッチボタン19、39、59）でかな漢モードに切り替えて、2 を4回押します。

例：「モ」を入力する場合
文字切替ボタン（ワンタッチボタン19、39、59）でカナモードに切り替えて、7 を5回押します。

例：「n」を入力する場合
文字切替ボタン（ワンタッチボタン19、39、59）で英記号モードに切り替えて、6 を5回押します。

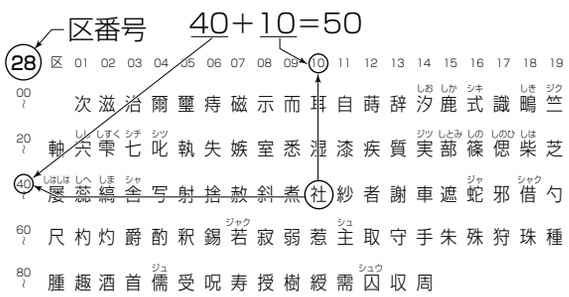
■数字モードでの入力

数字モード時にテンキーボタンを1回押すと、その テンキー ボタンの数字・記号（1 ～9 、#、＊）がそのまま入力されます。

■コードモードでの入力

区点コード表を参照して、テンキーボタンの1 ～9で4桁の区点コードを入力します。
（☛154ページ）

例：「社」を区点コードで入力する
「社」の区点コードは28区の50番目なので、コードモードでは 2 8 5 0 を入力します。



お知らせ

● かな漢モード時の未確定文字列の表示、およびコードモード時のコード番号の表示は、この取扱説明書ではアンダーバーのカーソル表示になっていますが、実際のディスプレイ表示は以下のようになります。

〈この取扱説明書での表記例〉　あ

〈実際のディスプレイ表示イメージ例〉　あ

■文字割り当て一覧

かな漢モード

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回
ダイヤル「1」	あ	い	う	え	お	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	
ダイヤル「2」	か	き	く	け	こ						
ダイヤル「3」	さ	し	す	せ	そ						
ダイヤル「4」	た	ち	つ	て	と	っ					
ダイヤル「5」	な	に	ぬ	ね	の						
ダイヤル「6」	は	ひ	ふ	へ	ほ						
ダイヤル「7」	ま	み	む	め	も						
ダイヤル「8」	や	ゆ	よ	ゃ	ゅ	ょ					
ダイヤル「9」	ら	り	る	れ	ろ						
ダイヤル「0」	わ	を	ん								
ダイヤル「*」	゛(濁点)	゜(半濁点)									
ダイヤル「#」	、	。	ー	・							

カナモード

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回
ダイヤル「1」	ア	イ	ウ	エ	オ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	
ダイヤル「2」	カ	キ	ク	ケ	コ						
ダイヤル「3」	サ	シ	ス	セ	ソ						
ダイヤル「4」	タ	チ	ツ	テ	ト	ッ					
ダイヤル「5」	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ						
ダイヤル「6」	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ						
ダイヤル「7」	マ	ミ	ム	メ	モ						
ダイヤル「8」	ヤ	ユ	ヨ	ャ	ュ	ョ					
ダイヤル「9」	ラ	リ	ル	レ	ロ						
ダイヤル「0」	ワ	ヲ	ン								
ダイヤル「*」	゛(濁点)	゜(半濁点)									
ダイヤル「#」	、	。	ー	・							

英記号モード

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回
ダイヤル「1」											
ダイヤル「2」	A	B	C	a	b	c					
ダイヤル「3」	D	E	F	d	e	f					
ダイヤル「4」	G	H	I	g	h	i					
ダイヤル「5」	J	K	L	j	k	l					
ダイヤル「6」	M	N	O	m	n	o					
ダイヤル「7」	P	Q	R	S	p	q	r	s			
ダイヤル「8」	T	U	V	t	u	v					
ダイヤル「9」	W	X	Y	Z	w	x	y	z			
ダイヤル「0」	※下記参照										
ダイヤル「*」											
ダイヤル「#」	@										

英記号モード（ダイヤル「0」を押したとき）

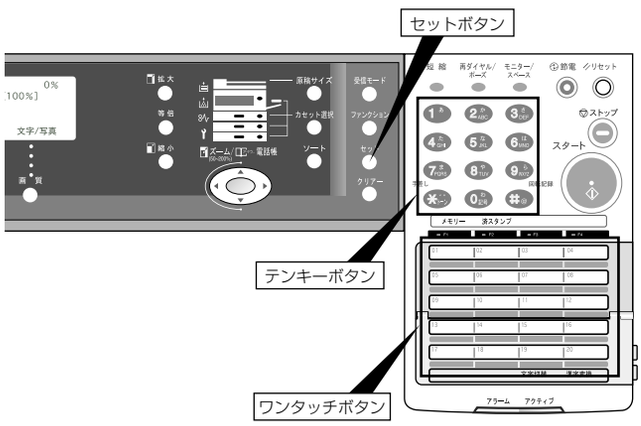
	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回
ダイヤル「0」	.	−	_	／	:	!	?	～	(	)	*
	12回	13回	14回	15回	16回	17回	18回	19回	20回	21回	22回
	#	+	,	^	;	<	=	>	$	¥	%
	23回	24回	25回	26回	27回	28回	29回	30回	31回		
	&	[	]	´	`	{	|	}	“		

数字モード

	1回
ダイヤル「1」	1
ダイヤル「2」	2
ダイヤル「3」	3
ダイヤル「4」	4
ダイヤル「5」	5
ダイヤル「6」	6
ダイヤル「7」	7
ダイヤル「8」	8
ダイヤル「9」	9
ダイヤル「0」	0
ダイヤル「*」	*
ダイヤル「#」	#

■文字入力の例

発信元名称に「本社 A」を入力します。



■テンキーボタンの表示

テンキーボタンには、文字入力の目安となる文字が表示されています。
「文字割り当て一覧（☛134ページ）」

ファクス ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 **発信元名称の文字入力画面を表示させます。**
（☛139 ページ 、手順 1、2）

```
発信元の情報の登録
名称を登録してください(かな漢)
―
うすく■■■□□こく　　ふつう
```

2 **6 は MNO を５回押します**

・「ほ」が表示されます。

```
―入力モード：かな漢
ほ
うすく■■■□□こく　　ふつう
```

3 **0 わ 記号 を３回押します**

・「ん」が表示されます。

```
―入力モード：かな漢
ほん
うすく■■■□□こく　　ふつう
```

4 **3 さ DEF を２回押します**

・「し」が表示されます。

```
―入力モード：かな漢
ほんし
うすく■■■□□こく　　ふつう
```

5 **8 や TUV を４回押します**

・「ゃ」が表示されます。

```
―入力モード：かな漢
ほんしゃ
うすく■■■□□こく　　ふつう
```

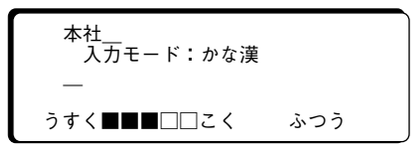
6 **「本社」と表示されるまで 漢字変換 ボタン（ワンタッチボタン 20、40、60）を押します**

・ 漢字変換 ボタン（ワンタッチボタン20、40、60）を押すごとに、「ほんしゃ」の変換候補が次々と表示されます。

```
―入力モード：かな漢　　1/2
本社
うすく■■■□□こく　　ふつう
```

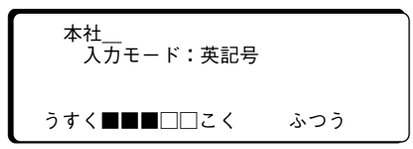
7 セット ○ **を押します**

・「本社」が入力されます。



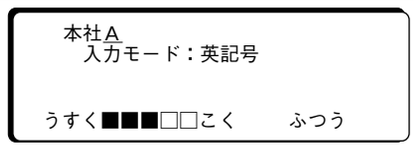
8 文字切替 **ボタン（ワンタッチボタン 19、39、59）を２回押します**

・ 入力モードが「英記号モード」に切り替わります。



9 2 か ABC **を１回押します**

・「A」が入力されます。



お知らせ

- 登録操作を途中でやめるときは、ストップ ⊖ を押します。
- 入力を間違えたときは ◀ または ▶ を押してカーソルを間違えた文字の右隣に移動し クリアー ○ を押してから入力し直します。
- 文字をすべて消去するときは、カーソルを左はじに移動し、クリアー ○ を押します。
- 漢字変換する範囲を変更するときは、手順５で「ほんしゃ」を入力後、◀ または ▶ を押すと、漢字変換の対象となる範囲を変更することができます。たとえば、手順５の場合、「ほんしゃ」→◀→「ほんし」→◀→「ほん」→◀→「ほ」となります。
- 漢字変換 ボタン（ワンタッチボタン20、40、60）以外で漢字変換を行うには、手順６で ▼ を押しても変換候補が次々と表示されます。 ▲ を押すと、１つ前の変換候補が表示されます。

自局情報の登録

自局情報では、次の項目が登録できます。

	登録項目	内容	参照ページ
	時刻の指定	現在の日付けと時刻を登録します。	138ページ
	発信元情報	原稿を送信するとき、原稿の先端につける、会社名や部署名などの情報を登録します。	139ページ
	文字ID（カナ）	相手のディスプレイに表示させる会社名などの情報を登録します。	140ページ
	数字ID	通信したとき、相手のディスプレイに表示させる電話番号などの情報を登録します。	141ページ
	定時刻タイマー	タイマー通信を指定するときの時刻を登録します。	142ページ
	定期便タイマー	定期便タイマー通信を指定するときの指定時刻（1～5）を登録します。	143ページ
	Fコードサブアドレス	サブアドレス通信をするときに使うサブアドレス番号を登録します。	144ページ
	Fコードパスワード	サブアドレス通信をするときに使うパスワードを登録します。	145ページ
※	ISDN基本番号	オプションのG4通信ユニットを装着時に、相手のディスプレイに表示させる電話番号などの情報を登録します。	—
※	ISDNダイヤルイン	オプションのG4通信ユニットを装着時に、相手のディスプレイに表示させるダイヤルイン番号などの情報を登録します。	—
※	ISDN数字ID	オプションのG4通信ユニットを装着時に、相手のディスプレイに表示させる電話番号などの情報を登録します。	—
※	ISDN,文字ID(英字)	オプションのG4通信ユニットを装着時に、相手のディスプレイに表示させる会社名などの情報を登録します。	—

※はオプションのG4通信ユニットをお使いのときに設定します。

■日付と時刻の登録

現在の日付と時刻を登録します。

(ファクス) ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 **(ファンクション) (7ま PQRS) (1あ) (セット) を押す**

2 **必要に応じて▼または▲を押して、「時刻の指定」を表示させる**

```
時刻の指定
００年０１月０１日００時００分
うすく■■■□□こく　　ふつう
```

3 **日付と時刻を入れる**

・例：「2002年03月10日　午後5時15分」の場合

(0わ 記号) (2か ABC) (0わ 記号) (3さ DEF) (1あ) (0わ 記号) (1あ) (7ま PQRS) (1あ) (5な JKL)

・時刻は24時間制で入れます。

・日付、時刻が1桁の場合は、数字の前に (0わ 記号) を入れます。

・間違えたときは、◀▶でカーソルを移動させてから入れ直します。

4 **(セット) を押す**

・日付と時刻が登録されます。続けて、「発信元情報の登録」ができます。(☛139ページ)

5 **(ストップ) を押す**

・登録した日時が表示され待機状態に戻ります。

お知らせ

- 時計は、1ヵ月に1分程度ずれることがあります。
- 長時間、電源が切れていると、日時がずれることがあります。最初からセットし直してください。
- 日付と時刻の登録を途中でやめるときは、(ストップ) を押します。

■発信元情報の登録

原稿を送信するとき、原稿の先端に会社名や部署名を付けることができます。

ファクス ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 **ファンクション 7 1 セット を押す**

2 **▼または▲を押して、「発信元情報の登録」を表示させる**

```
発信元情報の登録
名称を登録してください(かな漢)
―
うすく■■■□□こく　　ふつう
```

3 **発信元（最大 20 文字）を入れる**

・「文字入力のしかた」（☛132 ページ）

```
松下電送システム
入力モード：かな漢
■
うすく■■■□□こく　　ふつう
```

4 **セット ストップ を押す**

・待機状態に戻ります。

お知らせ

● 発信元情報の登録を途中でやめるときは、ストップ を押します。

発信元情報の変更

1 **「発信元情報の登録」の手順2までの操作をする（☛139ページ）**

・現在、登録されている発信元情報が表示されます。

2 **変更する文字の右隣にカーソルを移動し、クリアー を押す**

・◀または▶ を押してカーソルを移動させます。

3 **変更する文字を入力する（☛132ページ）**

4 **セット ストップ を押す**

・待機状態に戻ります。

■文字 ID（カナ）の登録

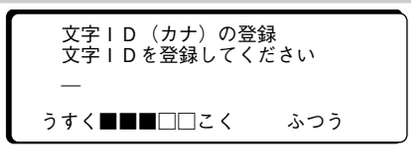
相手のディスプレイにこちらの会社名などを表示させることができます。

(ファクス) ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 **(ファンクション) (7 ま PQRS) (1 あ) (セット) を押す**

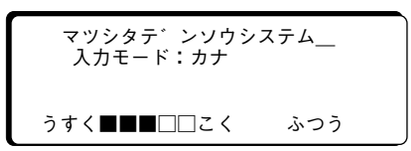
2 **▼または▲を押して、「文字 ID（カナ）の登録」を表示させる**



3 **文字 ID（最大 16 文字）を入れる**

・ 文字 ID には、最大 16 文字のカタカナ・英記号（@を除く）・数字のみが入力できます。

・「文字入力のしかた」（☛132 ページ）



4 **(セット) (ストップ) を押す**

・待機状態に戻ります。

お知らせ

● 文字 ID（カナ）の登録を途中でやめるときは、(ストップ) を押します。

文字ID(カナ)の変更

1 **「文字ID（カナ）の登録」の手順2までの操作をする（☛140ページ）**

・現在、登録されている文字ID（カナ）が表示されます。

2 **変更する文字の右隣にカーソルを移動し、(クリアー) を押す**

・◀または▶ を押してカーソルを移動させます。

3 **変更する文字を入力する（☛132ページ）**

4 **(セット) (ストップ) を押す**

・待機状態に戻ります。

■数字 ID の登録

通信をしたとき、相手のディスプレイにこちらの電話番号などを表示させることができます。

(ファクス) ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 **(ファンクション) (7 ま PQRS) (1 あ) (セット) を押す**

2 **▼または▲を押して、「数字 ID の登録」を表示させる**

```
数字ＩＤの登録
数字ＩＤを登録してください
＿
うすく■■■□□こく　　ふつう
```

3 **電話番号（最大 20 桁）を入れる**

・ 最大 20 桁の電話番号を入力できます。

・間違えたときは、(クリアー) を押して、入力し直します。

```
数字ＩＤの登録
0334919191_
うすく■■■□□こく　　ふつう
```

4 **(セット) (ストップ) を押す**

・待機状態に戻ります。

お知らせ

- 数字 ID の登録を途中でやめるときは、(ストップ) を押します。
- 数字IDには、数字、＋、スペースが登録できます。「＋」を登録するときは、(＊トーン) を押します。「スペース」を登録するときは、(モニター/スペース) を押します。

数字IDの変更

1 **「数字IDの登録」の手順2までの操作をする（☛141ページ）**

・現在、登録されている外線数字IDが表示されます。

2 **変更する文字の右隣にカーソルを移動し、(クリアー) を押す**

・◀または▶ を押してカーソルを移動させます。

3 **変更する数字を入力し (セット) (ストップ) を押す**

・待機状態に戻ります。

■定時刻タイマーの登録

タイマー通信を指定するときの時刻を登録します。

(ファクス) ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 (ファンクション) (7 ま PQRS) (1 あ) (セット) **を押す**

2 **▼または▲を押して、「定時刻タイマーの登録」を表示させる**

```
定時刻タイマーの登録
時刻を指定してください
__ ：
うすく■■■□□こく　　ふつう
```

3 **タイマー通信の指定時刻を入れる**

・例：「午前 10 時」の場合

(1 あ) (0 わ 記号) (0 わ 記号) (0 わ 記号)

・時刻は 24 時間制で入れます。

・間違えたときは、(クリアー) を押して、入力し直します。

```
定時刻タイマーの登録
時刻を指定してください
１０：００
うすく■■■□□こく　　ふつう
```

4 (セット) (ストップ) **を押す**

・待機状態に戻ります。

お知らせ

● 定時刻タイマーの登録を途中でやめるときは、(ストップ) を押します。

定時刻タイマーの変更

1 **「定時刻タイマーの登録」の手順2までの操作をする（☛142ページ）**

・現在、登録されている定時刻が表示されます。

2 **変更する定時刻を入力する**

3 (セット) (ストップ) **を押す**

・待機状態に戻ります。

■定期便タイマーの登録

定期便タイマー通信を指定するときの指定時刻（1 ～ 5）を登録します。

(ファクス) ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 (ファンクション) (7 ま PQRS) (1 あ) (セット) **を押す**

2 **▼または▲を押して、「定期便タイマーの登録」を表示させる**

```
定期便タイマーの登録
登録番号を指定してください
_　（1～5）

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

3 **登録番号（1 ～ 5）を指定する**

・間違えたときは、(クリアー) を押して、入力し直します。

```
定期便タイマーの登録
登録番号を指定してください
1　（1～5）

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

4 (セット) **を押す**

```
定期便タイマーの登録
時刻を指定してください
_　：

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

5 **定期便タイマー通信の時刻を入力する**

・例：「午前 10 時」の場合 (1 あ) (0 わ 記号) (0 わ 記号) (0 わ 記号) を押します。

・時刻は 24 時間制で入れます。

・間違えたときは、(クリアー) を押して、入力し直します。

```
定期便タイマーの登録
時刻を指定してください
10：00

うすく■■■□□こく　　ふつう
```

6 (セット) (ストップ) **を押す**

・待機状態に戻ります。

お知らせ

● 定期便タイマーの登録を途中でやめるときは、(ストップ) を押します。

定期便タイマーの変更

1 **「定期便タイマーの登録」の手順2までの操作をする（☛143ページ）**

2 **変更する登録番号（1～5）を指定し、(セット) を押す**

・現在、登録されている時刻が表示されます。

3 **変更する時刻を入力する**

4 (セット) (ストップ) **を押す**　・待機状態に戻ります。

■Fコードサブアドレスの登録（サブアドレス通信）

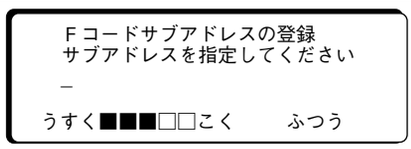
Fコード通信をするときに使う最大20桁のFコードサブアドレスを登録します。

ファクス ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 ファンクション 7 PQRS 1 あ セット を押す

2 ▼または▲を押して、「Fコードサブアドレスの登録」を表示させる



3 Fコードサブアドレス（最大20桁）を入れる

例：「12345678901234567890」

・間違えたときは、クリアー を押して、入力し直します。

4 セット ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

お知らせ

- Fコードサブアドレスの登録を途中でやめるときは、ストップ を押します。
- Fコードサブアドレスには、数字、＊、＃、スペースが登録できます。「スペース」を登録するときは、モニター/スペース を押します。

Fコードパスワードの変更

1 「Fコードサブアドレスの登録」の手順2までの操作をする（☛144ページ）

・現在、登録されているFコードサブアドレスが表示されます。

2 変更する数字の右隣にカーソルを移動し、クリアー を押す

・◀または▶を押してカーソルを移動させます。

3 変更するFコードサブアドレスを入力し セット ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

■Fコードパスワードの登録（サブアドレス通信）

Fコード通信をするときに使う最大20桁のFコードパスワードを登録します。

ファクス ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 **ファンクション 7 1 セット を押す**

2 **▼または▲を押して、「Fコードパスワードの登録」を表示させる**

```
Fコードパスワードの登録
パスワードを指定してください
_
うすく■■■□□こく      ふつう
```

3 **Fコードパスワード（最大20桁）を入れる**

例：「12345678901234567890」

・間違えたときは、クリアーを押して、入力し直します。

```
Fコードパスワードの登録
12345678901234567890
うすく■■■□□こく      ふつう
```

4 **セット ストップ を押す**

・待機状態に戻ります。

お知らせ

- Fコードサブアドレスの登録を途中でやめるときは、ストップを押します。
- Fコードサブアドレスには、数字、＊、＃、スペースが登録できます。「スペース」を登録するときは、モニター/スペースを押します。

Fコードパスワードの変更

1 **「Fコードパスワードの登録」の手順2までの操作をする（☛145ページ）**

・現在、登録されているFコードパスワードが表示されます。

2 **変更する数字の右隣にカーソルを移動し、クリアーを押す**

・◀または▶を押してカーソルを移動させます。

3 **変更するFコードパスワードを入力しセット ストップ を押す**

・待機状態に戻ります。

必要なときにお読みください

消耗品の交換のしかた

■ 用紙の補充

取扱説明書「コピー編」を参照ください。

■ 用紙カセットのサイズ変更

取扱説明書「コピー編」を参照ください。

■ プロセスカートリッジの交換

取扱説明書「コピー編」を参照ください。

こんなときには

■ 用紙がつまったとき

取扱説明書「コピー編」を参照ください。

■ お手入れのしかた

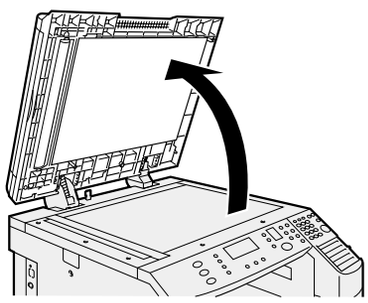
取扱説明書「コピー編」を参照ください。

■済スタンプの交換

済スタンプが薄くなってきたら交換します。

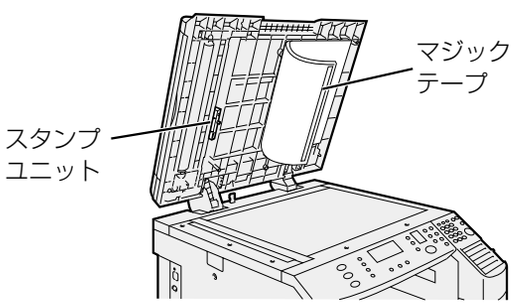
● 済スタンプは当社指定品をご使用ください。（品番：UG-4105）

1 **原稿台カバーを静かに開けます。**

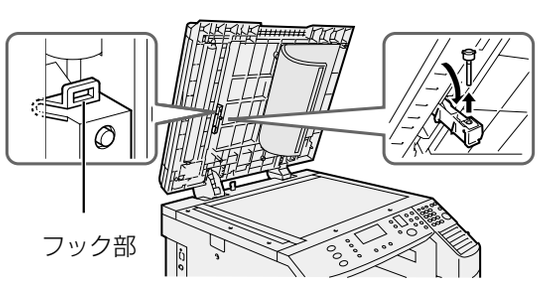


2 **原稿押さえシートを静かに外します。**

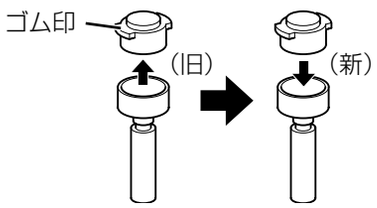
原稿押さえシートはマジックテープで取り付けられています。



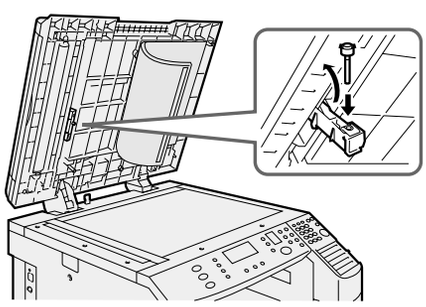
3 **フック部をはずして、スタンプユニットを静かに開き、済スタンプを指でつまんで矢印方向に引き抜きます。**



4 **「済」のゴム印を交換します。**

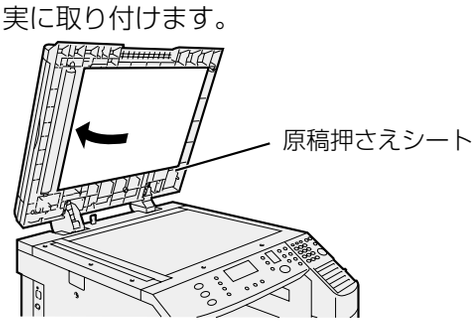


5 **新しい済スタンプをスタンプユニットに取り付け、スタンプユニットを閉じます。**



6 **原稿押さえシートを元のように取り付けます。**

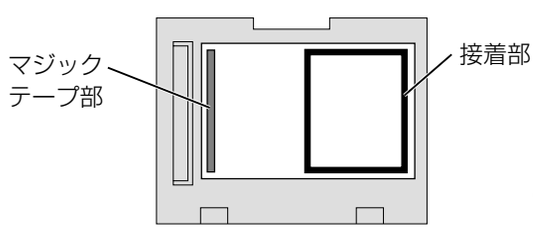
マジックテープ部をしっかりと押さえて確実に取り付けます。



7 **原稿台カバーを確実に閉めます。**

お知らせ

● 原稿押さえシートは右半分は接着されていますので、強く引っ張らないでください。原稿押さえシートが破れることがあります。



故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったときは、次の項目をチェックしてください。

こんなときは	原　因	対　応	参照ページ
原稿が繰り込まれない	送信開閉部が閉まっていない	送信開閉部を閉めてください	ー
	装置の扱える最小原稿サイズより小さい原稿を ADF にセットしている	キャリアシートを使って原稿をセットしてください	21 ページ
原稿が斜めに繰り込まれる	原稿ガイドを合わせていない	原稿ガイドを合わせてから、原稿をセットしてください	19 ページ
アラーム音が鳴り、“原稿を確認してください”が表示される	送信またはコピーする原稿が長すぎる	原稿の長さを2000mm 以下にしてから、送信・コピーをしてください。	20 ページ
送信できない	セレクト送信をセットしている	セレクト送信を解除してください	74 ページ
	パスワード送信をセットしている	パスワード送信を解除してください	70 ページ
受信できない	セレクト受信をセットしている	セレクト受信を解除してください	75 ページ
	パスワード受信をセットしている	パスワード受信を解除してください	72 ページ
呼出音が鳴りっぱなしで、受信できない	ファクスが“手動受信”にセットされている	受話器を取り、受信操作をしてください	37 ページ
	メモリーがいっぱいになっている	メモリーに保存されている原稿をプリントしてください	42 ページ
	電源が“⏻”（スタンバイ）になっている	電源を“I”（入）にしてください	ー
受信した原稿がプリントされない	用紙がなくなっている	用紙を補充してください	ー
	用紙が正しくセットされていない	用紙を正しくセットしてください	ー
	用紙がつまっている	エラーコードを確認して、つまった用紙を取り除いてください	ー
メモリーランプ点灯状態で送信できない	メモリーがいっぱいになっている	メモリーに空きができてから、送信してください	ー
		ダイレクト送信してください	28 ページ
	予約している通信が、30通信になっている、またはポーリング送信予約が 10 通信になっている	予約している通信が終ってから、通信してください	ー
		ダイレクト送信してください	28 ページ
リモート受信できない	システム登録の「047 リモート受信」が“なし”になっている	「047 リモート受信」を“あり”にしてください	129 ページ
	ファクスと正しく接続されていない	正しく接続してください	ー
	外部電話機から電話をかけている	外部電話機から電話をかけた場合は、リモート受信はできません	ー
タイマー通信や、ポーリング通信などの通信をセットできない	予約している通信が、30 通信になっている、またはポーリング送信予約が 10 通信になっている	予約している通信が終ってから、通信してください	ー
		予約している通信を取り消してから、通信してください	84 ページ
セレクト通信できない	相手のダイヤル番号を、本機に登録していない	相手のダイヤル番号を登録してください	98 ページ
	相手の ID 番号に、電話番号が登録されていない	相手に、ID 番号には電話番号を登録するように伝えてください	ー
ポーリング通信できない	ポーリング通信用のパスワードが一致しない	相手に確認して、通信し直してください	ー
パスワード通信できない	パスワード通信用のパスワードが一致しない	相手に確認して、通信し直してください	ー

こんなときは	原　因	対　応	参照ページ
受信またはコピーしたとき、白紙がプリントされる	原稿の裏表を逆にしてセットしている	原稿の裏表を確認してからセットし直してください	19 ページ
受信またはコピーしたとき、黒い筋や点がプリントされる	プロセスカートリッジの異常	プロセスカートリッジを交換してください	ー
	読取部が汚れている	読取部を清掃してください	ー
受信またはコピーしたとき、部分的に欠けていたり、記録が薄くなる	・用紙が湿気を含んでいる ・用紙に折り目やシワがある	新しい包装の用紙と交換してください	ー
	プロセスカートリッジの異常	プロセスカートリッジを交換してください	ー
送信またはコピーしたとき、両端がプリントされない	有効読取画面の外に文字が書かれている	文字は、有効読取画面の中に書いてください	20 ページ

お知らせ

● 以上の項目をチェックしても復旧しない場合は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。

■主なエラーコード

通信できなかったときなどに、通信管理レポートにエラーコード表示されます。エラーコードが表示されたときは、次の表に従って処置してください。

エラーコード	原　因	処　置	参照ページ
0212～0402、0404、0407～0410、0416～0456、0459～0571	回線異常または相手機異常	相手に確認して、もう一度通信してください	ー
0403	ポーリング受信時、相手機にポーリング送信の機能がない	ポーリング受信できません	ー
0406	パスワード通信時、相手機とのパスワードが一致しない	相手に確認して、通信し直してください	ー
	セレクト通信時、相手機から送られるID番号が、本機のダイヤル番号に登録されていない	相手に確認して、通信し直してください	ー
0411、0414、0415	ポーリング通信時、相手機とのパスワードが一致しない	相手に確認して、通信し直してください	ー
	相手機の異常		
0427	相手からポーリング受信されたとき、本機にポーリング送信がセットされていない	ポーリング送信をセットしてください	48ページ
0457	中継通信時、相手機に機能がない	中継通信はできません	ー
0030	原稿が繰り込まれない	原稿をセットし直してください	19ページ
		自動給紙圧を調整してください	―
0031	原稿の長さが2mを超えている	原稿を2m以内にしてください	―
	原稿づまり	つまった原稿を取り除いて、セットし直してください	―
0036	ADFから原稿を読み取り中に原稿台カバーが開けられた	原稿台カバーを正しく閉めて、再度原稿を読み取らせてください	19ページ
	ADFを動作させたいが原稿台カバーが開いている	原稿台カバーを正しく閉めてください	―
0061	ダイレクト送信中に送信開閉部が開けられた	送信開閉部を正しく閉めて、もう一度送信してください	―
0623	原稿が正しくセットされていない	原稿をセットし直してください	19ページ
0630	自動再ダイヤルをしてもつながらない	相手先がファクスでない場合があります。番号を確認してから、もう一度通信してください	―
0634	自動再ダイヤルをしてもつながらない	もう一度通信してください	―
0870	原稿読み取り中、メモリーがいっぱいになった	相手先に何ページまで送信したかを確認し、残りの原稿を送信し直してください	33ページ
	電源が入ったとき、メモリーがいっぱいになっていた	メモリーに受信された内容であればプリントしてください	―
	代行受信またはメモリー受信時、メモリーがいっぱいになった	メモリーに受信された内容をプリントしてください	42ページ

エラーコード	原　因	処　置	参照ページ
0901、1901	ISDN 回線に正しく接続されていない	ISDN回線接続を確認し、もう一度操作してください	―
0902、1902 0908、1908	本商品側で通信中に回線が抜けた	ISDN回線接続を確認し、もう一度操作してください	―
0926、1926	相手先から応答がないため、通信できない	下記の確認後、もう一度操作してください。 ・回線は正しく切断されているか ・相手先の電話番号は正しいか（相手先がファクスでない可能性もあります） ・相手先のファクスが通信できる状態になっているか	15 ページ
0958、1958	相手先が通信中などで通信できない	しばらくしてから、もう一度送信してください	―
0962、1962	相手先のファクスが ISDN 回線に接続されていない、または電源が切れている	相手先に確認して、もう一度送信してください	―
	相手先で通信中に ISDN 電話機コードが抜けた		
0965、1965 0969、1969	相手先から応答がないため、通信できない	下記の確認後、もう一度操作してください ・回線は正しく切断されているか ・相手先の電話番号は正しいか（相手先がファクスでない可能性もあります） ・相手先のファクスが通信できる状態になっているか	15 ページ
0970、1970	ISDN 回線から通信を拒否された	ISDN回線契約を確認し、契約に合った使い方で操作してください	―
1416	相手先が通信を中止した	相手先に確認して、もう一度送信してください	―
1432	ポーリング受信時、相手先にポーリング機能がない	ポーリング受信できません	―
	ポーリング受信時、相手先がポーリング送信をセットしていない	相手先にポーリング送信をセットしてもらってください	―
1437	セレクト受信設定時、相手のID番号（発信元番号）が違うため正常に受信できない	セレクト受信を「しない」に設定してください	75 ページ
		相手先の ID 番号（発信元番号）を確認してください	―

お知らせ

- 上記以外のエラーコードが表示された場合は、もう一度通信してみてください。
- 処置をしてもエラーコードが表示される場合は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。

■主なメッセージ

通信エラーになったときや受信開閉部が開いているときなど、ディスプレーにエラー内容を表すメッセージが表示されます。

（下記メッセージの「■」は何段目のカセットかを示しています）

エラーメッセージ	内　容	処　置	参照ページ
用紙づまりを確認してください	用紙づまり	用紙づまりを取り除いてください。	—
	カセット引き出しに伴う用紙づまり	カセットを開けて用紙づまりを取り除いてください。	—
用紙を補給してください カセット■	表示されている用紙カセットの用紙切れ	表示カセットへ用紙を補給してください。	—
用紙を補給してください 手差し	手差しトレイの用紙切れ	手差しトレイへ用紙を補給してください。	—
カセットを確認してください　カセット■	表示されている用紙カセットがセットされていない	用紙カセットを確実にセットしてください。	—
サイドカバーを閉めてください　カセット■	表示されているサイドカバーが開いている	サイドカバーを確実に閉めてください。	—
トナー少なし	トナーが少なくなっている	プロセスカートリッジを交換してください。	—
カートリッジを交換してください トナー無し	トナーが無くなっている	プロセスカートリッジを交換してください。	—
受信開閉部／正面ドアカバーを閉めてください	受信開閉部または正面ドアカバーが開いている	受信開閉部と正面ドアカバーを確実に閉めてください。	—
カートリッジを確認してください	プロセスカートリッジがセットされていません	プロセスカートリッジをセットしてください。	—
サービスコールをしてください プリンター部確認	プリンター部の故障	お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。	—
サービスコールをしてください　読取部確認	読取部の故障	お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。	—
サービスコールをしてください　読取制御部確認	読取制御部の故障	お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。	—
原稿づまりを確認してください	・原稿づまり ・原稿の長さが 2000mm を超えている	・原稿づまりを取り除いてください。 ・原稿を 2000mm 以内にして、送信し直してください。	—
原稿づまりを確認してください 回転送信　原稿確認	回転送信を行いましたが、原稿長が定型サイズ（A4□）よりも長い	原稿サイズをA4□と認識しています。原稿長検知センサーがオンするように、しわやカールをなくしてください。	22 ページ
送信開閉部を閉めてください	送信開閉部が開いている	送信開閉部を確実に閉めてください。	—

エラーメッセージ	内　容	処　置	参照ページ
通信エラーがありました	通信エラー	送信し直してください。	—
メモリーが一杯になりました	メモリーが一杯になった	・原稿読取中にメモリーが一杯になった場合は、送信できなかったページから送信してください。 ・メモリーに保存されている受信原稿をプリントしてください。	33ページ 42ページ
	原稿の読込み枚数が255枚となった	・何度かに分けて送信してください。 ・ダイレクト送信してください。	28ページ
原稿台カバーを閉めてください	ADFから原稿を読取中に原稿台カバーが開けられた	原稿台カバーを正しく閉めて、再度原稿を読み取らせてください。	—
	ADFを動作させたいが原稿台カバーが開いている	原稿台カバーを正しく閉めてください。	—

必要なときにお読みください

■停電のとき

停電中はファクスのディスプレイは消えています。ファクスを送ったり受けたりすることはできません。また、オプションのハンドセットをご利用の場合、電話をかけることはできません。

停電になったとき	相手の方とお話し中	そのまま通話できます。
	ファクス送信中	送信は中断されます。停電復旧後、もう一度送信してください
	ファクス受信中	受信は中断されます。停電復旧後、相手の方にもう一度送信を依頼してください
停電中	電話をかける	できません
	電話を受ける	できます
	ファクスを送る	できません
	ファクスを受ける	できません
	メモリーの内容	メモリーに蓄積されている送信および受信データは保持されています。
	日付・時刻	内蔵電池により、約 1 年間保持されています。
	ファクスに登録／設定した内容	ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルなどの登録内容、その他各種登録は、停電中も消えることなく保持されています。

お知らせ

- 原稿を読み取り中に停電した場合は、読み取りは中断されます。停電復旧後、もう一度読み取りをしてください。ファクス送信時、原稿読み取り後のメモリー送信中に停電した場合は、停電復旧後、直ちに再送信されます。

■チェック&コール

万一、本機が故障した場合には、本機が自動的に当社指定のサービス実施会社に障害状況を連絡する機能です。詳しくはお買い上げの販売店にまたは、サービス実施会社にお問い合わせください。

主な仕様

適用回線	G3（注 1）：一般電話回線 G4（注 2）：INS ネット 64、国際 ISDN
直流抵抗値	197 Ω
通信可能機種	G3（国際規格）、G4（注 2）
帯域圧縮方式	MH、MR、MMR、JBIG
通信速度	G3（注 1）：33600/31200/28800/26400/24000/21600/19200/16800/14400/12000/9600/7200/4800/2400bps G4（注 2）：64000bps、56000bps
走査線密度	ファクス　主走査：16dot/mm ファクス　副走査：15.4line/mm （細密）、7.7line/mm （小さい） 3.85line/mm （ふつう）
読取方式	CCD イメージセンサーによる固体電子走査
原稿サイズ	最大：幅 297mm ×長さ 2000mm、最小：幅 138mm ×長さ 148mm
有効読取幅	（A3）最大：292mm、（B4）最大：252mm、（A4）最大：205mm
記録方式	電子写真記録方式
用紙サイズ	A3、B4、A4、B5、A5、はがき（手差しコピー時）
有効記録範囲	用紙の各辺から 4mm を除く範囲

お知らせ

- （注 1）一般の電話回線での最高通信速度は 28800bps 程度です。
- （注 2）「G4 通信ユニット」オプション追加時です。

必要なときにお読みください

句点コード表

● 入力方法については、文字入力の仕方を参照ください。

01

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜19		、	。	,	.	・	:	;	?	!	゛	°	´	`	¨	^	￣	_	ヽ
20〜39	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
40〜59	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
60〜79	＋	−	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
80〜95	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇					

02

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜19		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	＝				
20〜39					∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃	∪	∩							
40〜59	∧	∨			¬	⇒	⇔	∀	∃										
60〜79	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬				
80〜95	Å	‰			♯	♭	♪	†	‡	¶	○								

03

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜19																0	1	2	3
20〜39	4	5	6	7	8	9								A	B	C	D	E	F	G
40〜59	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
60〜79					a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
80〜90	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z									

04

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜19		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
20〜39	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
40〜59	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
60〜79	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
80〜95	ゐ	ゑ	を	ん																

05

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜19		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
20〜39	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
40〜59	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
60〜79	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
80〜86	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ													

06

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜19		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
20〜39	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω	α	β	γ	δ									ε	ζ	η
40〜59	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
60〜79																				
80〜94																				

07

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜19		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
20〜39	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э	Ю	Я						
40〜59		а	б	в	г	д										е	ё	ж	з	и	й
60〜79	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
80〜81	ю	я																		

08

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜19		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
20〜39	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸	╂							
40〜59																				
60〜79																				
80〜90																				

必要なときにお読みください

16

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00〜		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵	あ
20〜	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇	
40〜	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	囲	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	い
60〜	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸	
80〜	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭						

17

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00〜		院	陰	隠	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卵	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘	う
20〜	唄	鬱	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂	云	運	雲	荏	餌	叡	営	嬰	影	映	え
40〜	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越	
60〜	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁	
80〜	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	凹	央	奥	往	応						お

18

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00〜		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶	
20〜	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音	下	化	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁	か
40〜	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	
60〜	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕	
80〜	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改						

19

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00〜		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖	
20〜	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓	
40〜	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額	
60〜	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹	
80〜	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竈	蒲	釜	鎌	噛	鴨	栢	茅	萱						

20

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00〜		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干	
20〜	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看	
40〜	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館	
60〜	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫	贋	雁	頑	顔	願	企	伎	危	喜	器	き
80〜	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄						

21

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00〜		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎	
20〜	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	
40〜	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	
60〜	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居	
80〜	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京						

22

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00〜		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭	
20〜	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁	
40〜	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	
60〜	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	九	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈	く
80〜	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈						

23

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00〜		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍	
20〜	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲	け
40〜	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚	
60〜	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件	
80〜	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲						

24

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00〜		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験	
20〜	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷	言	諺	限	乎	個	古	呼	固	こ
40〜	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	
60〜	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐	
80〜	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向						

25

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00〜		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗	
20〜	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	
40〜	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱	
60〜	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻	
80〜	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑	忽	惚	骨	狛	込						

26

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00〜		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	些	さ
20〜	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最	
40〜	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁	
60〜	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削	
80〜	昨	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷						

27

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00〜		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山	
20〜	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺	し
40〜	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	
60〜	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌	
80〜	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時						

必要なときにお読みください

28

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐(しお)	鹿(しか)	式(シキ)	識	鴫(しぎ)	竺(ジク)
20	軸	宍(しし)	雫(しずく)	七(シチ)	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆	疾	質	実(ジツ)	蔀(しとみ)	篠	偲(しの)	柴(しば)	芝
40	屡(しばしば)	蕊(しべ)	縞(しま)	舎(シャ)	写	射	捨	赦	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇(ジャ)	邪	借(シャク)	勺
60	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若(ジャク)	寂	弱	惹	主(シュ)	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
80	腫	趣	酒	首	儒(ジュ)	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚(シュウ)	収	周					

29

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
20	輯	週	酋	酬	集	醜	什(ジュウ)	住	充	十	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃(ジュク)	叔
40	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾(ジュク)	熟	出(シュツ)	術(ジュツ)	述	俊(シュン)	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准(ジュン)	循
60	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処(ショ)	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
80	署	書	薯	藷	諸	助(ジョ)	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷(ショウ)	償					

30

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
20	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
40	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
60	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上(ジョウ)	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
80	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲	醸	錠	嘱(ショク)	埴	飾					

31

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱(ジョク)	尻(しり)	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
20	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
40	身	辛	進	針	震	人(ジン)	仁	刃	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭	笥(ス)	諏	す
60	須	酢(す)	図(ズ)	厨	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
80	瑞	髄	崇(スウ)	嵩	数	枢	趨	雛	据(すえ)	杉(すぎ)	椙(すぎ)	菅(すげ)	頗(すこぶる)	雀(すずめ)	裾(すそ)					

32

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00		澄(すみ)	摺(すり)	寸(スン)	世(セ)	瀬(せ)	畝	是	凄(セイ)	制	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲	せ
20	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉(セイ)	税	
40	脆	隻(セキ)	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切(セツ)	拙	
60	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶(ゼツ)	舌	蝉(せみ)	仙(セン)	先	千	占	宣	専	尖	川	戦	
80	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線						

33

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賤	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前(ゼン)	善	漸	然
20	全	禅	繕	膳	糧	噌(ソ)(せんち)	塑	岨	措	曾	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	そ
40	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧(ソウ)	創	双	叢	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	
60	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡	
80	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騒	像(ゾウ)	増	憎						

34

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗(ゾク)	属	賊	族	続
20	卒(ソツ)	袖(そで)	其(それ)	揃(そろい)	存(ゾン)	孫	尊	損	村	遜	他(タ)	多	太	汰	詑	唾(だ)	堕	妥	惰	打	た
40	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体(タイ)	堆	対	耐	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎	
60	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代(だい)	台	大	第	醍	題	鷹(たか)	滝(たき)	瀧	卓(タク)	啄	
80	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸(たけ)	凧(たこ)	蛸(たこ)	只(ただ)						

35

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00		叩(たたき)	但(ただし)	達(タツ)	辰	奪(だつ)	脱(だつ)	巽(たつみ)	竪(たて)	辿(たどり)	棚(たな)	谷(たに)	狸(たぬき)	鱈(たら)	樽(たる)	誰(タン)	丹	単	嘆	坦
20	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛(ダン)	団	壇	弾	断	
40	暖	檀	段	男	談	値(チ)	知	地	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築	ち
60	畜	竹	筑	蓄	逐	秩(チツ)	窒	茶	嫡	着(チャク)	中(チュウ)	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷	
80	註	酎	鋳	駐	樗(チョ)	瀦	猪	苧	著	貯	丁(チョウ)	兆	凋	喋	寵						

36

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
20	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅(チョク)	捗	直	朕(チン)	沈	珍	賃	鎮	陳	津(ツ)(つ)	墜(ツイ)	椎	つ
40	槌	追	鎚(ツウ)	痛	通	塚(つか)	栂(つか)	掴(つかみ)	槻(つき)	佃(つくだ)	漬(つけ)	柘(つけ)	辻(つじ)	蔦(つた)	綴(つづり)	鍔(つば)	椿(つばき)	潰(つぶ)	坪(つぼ)	壷	
60	嬬(つまむき)	紬(つむぎ)	爪(つめ)	吊(つり)	鶴(つる)	亭(テイ)	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟	て	
80	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逓						

37

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00		邸	鄭	釘	鼎	泥(デイ)	摘(テキ)	擢	敵	滴	的	笛	適	鏑(テキ)	溺(デキ)	哲(テツ)	徹	撤	轍	迭	
20	鉄	典(テン)	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顛	点	伝(デン)	殿	澱	田	電	兎(ト)	吐	と
40	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟	賭	途	都	鍍	砥(と)	砺	努(ド)	度	土	奴	
60	怒	倒(トウ)	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟	
80	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等	答	筒	糖	統	到						

38

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働(ドウ)	動	同	堂	導
20	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠(とうげ)	鴇(とき)	匿(トク)	得	徳	涜	特	督	禿	篤(ドク)	毒	
40	独	読	栃(とち)	橡(トツ)	凸	突	椴(とと)	届(ととけ)	鳶(とび)	苫(とま)	寅(とら)	酉(とり)	瀞(とろ)	噸(トン)	屯	惇	敦	沌	豚	遁	
60	頓(ドン)	呑	曇	鈍	奈(ナ)	那	内	乍(なかい)	凪(なぎ)	薙	謎(なぞ)	灘(なだ)	捺(なつ)	鍋(なべ)	楢(なら)	馴(なれ)	縄(なわ)	畷(なわて)	南(ナン)	楠	な
80	軟	難	汝(なんじ)	二(ニ)	尼	弐	迩(におい)	匂(におう)	賑(にぎわい)	肉(ニク)	虹(にじ)	廿(にじゅう)	日(ニチ)	乳(ニュウ)	入						に

39

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00		如(ニョ)	尿(ニョウ)	韮(にら)	任(ニン)	妊	忍	認	濡(ぬれ)	禰(ネ)	祢	寧(ネイ)	葱(ねぎ)	猫(ねこ)	熱(ネツ)	年(ネン)	念	捻	撚	燃	ぬね
20	粘	乃(ノ)	廼	之(の)	埜	嚢(ノウ)	悩	濃	納	能	脳	膿	農	覗(のぞき)	蚤(のみ)	巴(ハ)	把	播	覇	杷	の
40	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳(ハイ)	廃	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	
60	倍(バイ)	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠	陪	這(はい)	蝿(はえ)	秤(はかり)	矧(はぎ)	萩	伯(ハク)	剝	博	拍	
80	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝(バク)	漠	爆	縛	莫	駁	麦						

40

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
20	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
40	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪 ひ
60	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
80	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	琵	眉	美					

41

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
20	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
40	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	冨	布 ふ
60	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
80	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗	伏	副	復	幅	服					

42

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
20	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	塀	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁 へ
40	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
60	鞭	保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣 ほ
80	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋					

43

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
20	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
40	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
60	本	翻	凡	盆	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鯛	柾 ま
80	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭	繭	麿	万	慢	満					

44

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00		漫	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	務 みむ
20	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	冥	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅 め
40	免	棉	綿	緬	面	麺	摸	模	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙 も
60	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶	紋	門	匁	也	冶	夜	爺	耶	野	弥 や
80	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮	鑓	愉	愈	油	癒					ゆ

45

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
20	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸 よ
40	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
60	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪 ら
80	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧	利	吏	履	李	梨	理	璃					り

46

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
20	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
40	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟 れる
60	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
80	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯					

47

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00		蓮	連	錬	呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏 ろ
20	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄	肋	録	論	倭	和	話	歪	賄	脇	惑 わ
40	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾	碗	腕								
60																				
80																				

第2水準

48

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00		弋	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂	乖	乗	亂	亅	豫	事	舒	弍	于	亞
20	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
40	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
60	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
80	偃	假	會	偕	修	偈	做	偬	偸	傀	傚	傅	傴	傲						

49

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
20	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔	兢	競	兩	兪	兮	冀	冂	冏	冊	冉
40	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪	冫	決	冱	冲	冰	況	冽	凅	凉	凛
60	几	處	凩	凭	凰	凵	函	刃	刋	刎	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
80	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔	劒	剱	劈	劑	辨					

50

区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00		瓣	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞	勳	勠	勩	勲	勵	勸	勹	匆	匈	
20	甸	匍	匐	匏	匕	匸	匣	匯	匱	匳	匸	區	卒	卅	丗	卉	卍	準	卞	卩
40	卮	卯	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮	廠	ム	參	纂	雙	叟	曼	燮	叮	叨
60	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶	吩	吝	呎	咏	呵	咎	咳	呱	呷	咫
80	咒	咄	咀	呪	咄	咐	咆	哇	唔	哽	咸	啀	咬	哄	哈	咨				

必要なときにお読みください

51 区 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

00 ～ 咫 哂 咤 咾 咼 哘 哥 哦 唏 唔 哽 哮 哭 哺 哢 唹 唯 唧 唸
20 ～ 售 啜 啅 啖 啗 唸 唳 喝 喀 喇 喊 喟 啻 啾 喘 喞 單 啼 喃
40 ～ 喩 喇 喨 嗚 嗅 嗟 嗄 嗜 嗤 嗔 嘔 嗷 嘖 嗾 嗽 嘛 嗹 噎 噐 營
60 ～ 嘴 嘶 嘲 嘸 噫 噤 噱 噬 噪 噛 噞 噥 噸 噺 噿 嚆 嚊 嚠 嚔 嚏 嚥
80 ～ 嚮 嚢 嚮 囀 囘 囮 囹 圄 圊 團 圀 圈 圍

52 区 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

00 ～ 圈 國 圍 圓 團 圖 嚙 圜 圦 圩 圳 圹 圻 址 坏 坩 垂 垈 坡
20 ～ 垉 垉 垓 垠 垳 垤 垪 垞 垠 垉 垳 垵 垤 垉 垳 埒 埴 埜 埴
40 ～ 堡 塢 塋 塗 毀 塒 堙 塹 墅 墫 墟 墫 墸 墻 墫 墮 壅 壓 壑
60 ～ 壜 壙 壘 壜 壜 壙 壟 壯 壺 壹 壻 壺 壽 夂 夊 夐 夛 梦 夥 夬
80 ～ 夭 夲 夸 夾 夼 奕 奐 奎 奚 奘 奢 奩 奧 奬 奩

53 区 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

00 ～ 奸 妁 妝 佞 佞 妣 妲 姆 姨 姜 妍 姙 姚 娥 娟 娑 娜 娉 娚
20 ～ 婀 婬 婉 娵 娶 婢 婪 媚 媼 媾 嫋 嫂 媽 嫣 媼 嫦 嫩 嫖 嫺 嫻
40 ～ 嬌 嬋 嬖 嬲 嫐 嬪 嫡 嬾 嬶 孀 孑 孕 孚 孛 孳 孩 孰 孱 孺
60 ～ 學 孳 孺 宀 它 宦 宸 寃 寇 寐 寤 實 寢 寞 寥 寫 寰 寶
80 ～ 寳 尅 將 專 對 尓 尠 尢 尨 尸 尹 屁 屆 屎 屓

54 区 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

00 ～ 屐 屏 孱 屬 屮 山 岑 屹 岌 岑 岔 妛 岫 岻 岼 岷 峩 峅 帖
20 ～ 峇 峙 峩 峽 峺 峭 嵎 峪 峯 崋 崗 嵜 崟 崛 崑 崔 崢 崚 崙 崘
40 ～ 嵌 嵒 嵎 嵋 嵬 嵳 嵷 嶇 嶂 嶢 嶝 嶬 嶮 嶽 嶸 嶷 嶼 嶾 巍
60 ～ 巓 巒 巖 巛 巫 已 巵 帋 帚 帙 帑 帛 帶 帷 幄 幃 幀 幎 幗 幔
80 ～ 幟 幢 幣 幇 幵 并 幺 麼 广 庠 廁 廂 廈 廐 廏

55 区 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

00 ～ 廖 廣 廝 廚 廛 廢 廡 廨 廩 廬 廳 廰 廳 廴 廸 廾 弃 弁 彜
20 ～ 彝 弋 弍 弖 弩 弭 弸 彈 彌 彎 弯 彑 彖 彗 彙 彡 彭 彳 彷
40 ～ 徃 徂 彿 徊 很 徑 徇 從 徙 徘 徠 徨 徭 徼 忖 忻 忤 忸 忱 忝
60 ～ 悳 忿 怡 恠 怙 怩 怎 怱 怛 怕 怫 怦 怏 怺 悚 悪 悸 怜 恪 悠 惇
80 ～ 協 恆 恍 恣 恃 恤 恂 恬 恫 恙 悁 悍 惧 悃 悚

56 区 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

00 ～ 悄 悛 悖 悗 悃 悚 悋 惡 悸 惠 惓 悴 忰 悽 惆 悵 惘 慍 愕
20 ～ 愆 惶 愾 愀 愊 愜 愕 愃 愍 慇 愦 慊 愿 愎 愠 愬 愮 慂 愁 慥
40 ～ 愴 慱 憑 慄 憬 憔 慘 憖 慚 慫 慴 慟 慷 慵 憊 慱 憮 慌 慼 憐
60 ～ 憇 憬 憔 憚 憊 憑 憫 憮 憜 憘 應 懷 懌 勸 懆 憾 戀 罹 懍 儒
80 ～ 懣 戁 戄 戇 戉 戀 戁 戈 戉 成 戌 戔 戛

57 区 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

00 ～ 戞 戡 截 戮 戰 戲 戳 扁 扎 扞 扣 扛 扠 扨 扼 抂 抉 找 抒
20 ～ 抓 抖 拔 扶 抔 拗 拑 抻 拏 拿 拆 擔 拈 拜 拌 拊 拂 拇 抛 拉
40 ～ 挌 拮 拱 挧 挂 挈 拯 拵 捐 挾 捍 搜 捏 掖 掎 掀 捫 捶 掏
60 ～ 掉 掟 掵 捫 捩 掾 揩 揀 揆 揣 插 揶 揄 搖 搴 搆 搓 搦 搶
80 ～ 攝 搗 搨 搏 摧 摯 摶 摎 攪 撕 撓 撥 撩 撈 撼

58 区 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

00 ～ 據 擒 擅 擇 撻 擘 擂 擱 擧 舉 擠 擡 抬 擣 擯 攪 攤 攣 攫
20 ～ 攝 攀 攅 攘 攜 攢 攤 攣 攫 攴 攵 攷 收 攸 畋 效 敖 敕 敍 敘
40 ～ 敞 敝 敲 數 斂 斃 變 斛 斟 斫 斷 旃 旆 旁 旄 旌 旋 旒 旛 旙 无
60 ～ 无 早 杲 昊 昃 昱 杳 昵 昶 昴 昜 晏 晄 晉 晁 晞 晝 晤 晧 晨
80 ～ 晟 晢 晰 罪 晷 暎 暉 暄 暘 暝 曁 暹 曉 暾 暼

59 区 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

00 ～ 曄 曠 曖 曚 曠 昿 曦 曩 曰 曵 曷 朏 朖 朞 朦 朧 霸 朮 朿
20 ～ 朶 杁 枋 朷 杆 杞 杠 杙 杣 杤 枉 杰 枩 杼 杪 枌 枋 枉 枦 枡 枅
40 ～ 枷 柯 枴 柬 枳 柩 枸 柤 柞 柝 柢 柮 枹 柎 柏 柘 柙 柤 柧 桁 桂 桍
60 ～ 桀 桍 桍 桎 梳 桄 桁 桍 桓 桒 栖 桍 桎 梳 栫 桙 桍 桃 桀 條 梆 梃 檮 梹 桴
80 ～ 梵 梧 梹 桱 桍 梱 桯 棊 椥 棘 椢 楞 棡 椌 桱 棍

60 区 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

00 ～ 棔 棧 棕 椶 椒 椄 棗 棟 椥 棹 棠 棯 椨 椪 椪 椚 棋 椥 棆 棡
20 ～ 棔 椚 椒 楫 楔 楾 楷 椹 楙 椰 楡 楞 楝 楂 楪 榮 槐 槍 榎 楾
40 ～ 榿 槁 槓 榾 槎 寨 槊 榻 槃 榧 榠 槫 榠 榜 榕 榴 槞 榔 樂 樅
60 ～ 槨 樛 樘 槿 權 槦 樔 槧 樒 樝 榱 槭 樌 樏 樗 樔 樋 橄 樣 樓 橄 檑 檜
80 ～ 檟 槾 橛 檞 橙 槦 檥 檣 檍 檠 檜 檐 檣 槭 樗 檑 橾 檢 檣

61 区 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

00 ～ 檗 蘗 檻 櫃 欅 檸 檳 檬 櫺 櫑 檸 橾 櫚 欅 櫪 櫻 欅 蘗 櫨 櫟
20 ～ 欟 鬱 欟 欸 欷 盜 欹 飮 歇 歃 歉 歐 歙 歔 歛 歟 歡 歸 歹 歿
40 ～ 殀 殄 殃 殍 殘 殕 殞 殪 殫 殯 殲 殱 殳 殷 殼 毆 毋 毓 毟
60 ～ 毬 毫 毳 毯 毾 毧 氓 气 氛 氤 氣 汞 汕 汢 汪 沂 沍 沚 沁 沛
80 ～ 汾 汨 汳 沒 沐 泄 泱 泓 沽 泗 泅 泝 沮 沱 沾

62 区 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

00 ～ 沺 泛 泯 泙 泪 洟 衍 洶 洫 洽 洸 洙 洵 洳 洒 洌 浣 涓 浤
20 ～ 浚 浹 浙 涎 涕 濤 涅 淹 渕 渊 涵 淇 淦 涸 淆 淬 淞 淌 淨 淒
40 ～ 淅 淺 淙 淤 淥 淪 淮 渭 湮 渮 渙 湲 湟 渾 渣 湫 湛 湍 渟
60 ～ 湃 渺 湎 渤 滿 滌 游 滂 溪 溘 滉 溷 滓 溽 溯 滄 溲 滔 滕 溏
80 ～ 溥 滂 溟 潁 漑 灌 滬 滸 滾 漿 滲 漱 滯 漲 滌

63 区 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

00～ 漾漓滷澆潺渭澁澀潯潛濳潭澂潼潘澎澠濂潦

20～ 澳澣澡澤澹濆澶濮濟濕濬濤濺濼濾瀁瀋瀏瀑瀚

40～ 瀛瀘瀛瀚猪瀝瀘瀟瀰瀾激灑灣炙炒炯炯炬炸炳

60～ 炮烟烋烝烙焉烽焜焙煥煕熈煕熨煌煖煬熏燻熄

80～ 燠燬燔燗熹熾燒燉燔燎燠燬燧燵燼燹

64 区 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

00～ 燹燿爍爐爛爨爭爬爰爲爻爼爿牀牆牋牘牴牾

20～ 犂犁犇犒犖犢犧犹犲狃狆狄狎狒狢狠狡狹狷倏

40～ 猗猊猜猖猝猴猯猩猥猾獎獏默獗獪獨獰獣獵獻

60～ 獺珈玳珎玻珀珥珮珞璢琅瑯琥琣琹琺瑕瑾瑟瑙

80～ 瑁瑜瑩瑰瑣瑪瑶瑾璋璞璧瓊瓏瓔珱

65 区 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

00～ 甄甃甫甸甽甾畋畚畉畋畆畚畝畜畤畧畫畭畸當

20～ 甦甬甹甿畛畔畤畦畧畝時畧畫畭畸當疆疇畴

40～ 疊疊疂疔疚疝疥疣痂疳痃疵疽疸疼疱痍痊痒痙

60～ 痣瘤痾痿痼瘁痰痺痲痳瘋瘍瘉瘟瘧瘠瘡瘢瘤瘴

80～ 瘰瘻癇癈癆癜癘癡癢癨癩癪癧癬癰

66 区 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

00～ 癶癹癸發皀皃皈皋皎皖皓皙皚皰皴皹皺盂

20～ 盍盖盒盞盡盥盧盪蘯盻眈眄眩眤眞眥眦睛眛眷

40～ 眸睇睚睨睫睛睥睿睾睹瞎瞋瞑瞠瞞瞬瞭瞶瞹瞿瞼

60～ 瞽瞻矇矍矗矚矜矣矮矼砌砒礦砠礪硅硎硤硼磊磬

80～ 磆磔碣碵碪碯磑磕磙磧磭磔磽礎礫礬

67 区 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

00～ 礪礫礬礴礵礼礽礿祁祀祠祇祟祚祕祓祺祿

20～ 禊禍禧齋禪禮禳禹禺秉秕秧秬秡秣稈稍稘稙稠

40～ 稟禀稱稻稾稷穃穉穡穢穩龝穰穹穽窈窗窕窘

60～ 窖窩竈窰窶竅竄窿邃竇竊竍竏竕竓站竚竝竡竢竰

80～ 竦竭竰笂笏笊笆笳笘笙笞笵笨笶筐

68 区 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

00～ 筐筈筍笋筌笄筅筵筥筴筧筰筱筬筮箝箘箟箍箜

20～ 箚箋箒箏筝箙箝箘箟箸箝箚箋箒箏筝箙箝箘箟

40～ 箴箪箪篷篋篶篇篦篳篌篏篥篭簀簇簔篦篳篷篋

60～ 籘籟籤籖籥籬粁粮粐粤粭粢粫粡粨粳粲粱粮粹

80～ 粽糀糅糘糘糒糲糜糢鬻糯糲糲糴糶糸糺紆

69 区 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

00～ 紂紜紕紊絅絋紮絆絳絖絎絲絨絮絏緤緇緘緡

20～ 經綉條綬絽緦綺綮綣綵緇綽綫總綢綯緜綸綟綰

40～ 緘緝緤緞緻緲緡縅緵縣綷縢縅緙縲縠縋縢縟縻

60～ 縵縹繃縷縲縺繧繝繖繞繙繚繹繪繩繼繻繃繧繿

80～ 辮繿纈纉續纒纈纓纔纖纎纛纜缸缺

70 区 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

00～ 罅罌罍罎罐网罕罔罘罟罠罧罨罩罸罰罸罷罸羈

20～ 羇羌羔羞羝羚羣羯羲羹羮羶羸譱譬翅翠翊翕翔翡

40～ 翳翩翳翹飜耆耄耋耒耘耙耜耡耨耻耽聊聆聒聘

60～ 聚聟聢聨聳聲聰聶聹聽聿肄肆肅肛肓肚肭冐肬

80～ 胛胥胙胝胄胚胖脉胯胱脛脩脣舗腋

71 区 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

00～ 隋腆脾腓腑胼腱腮腥腦腴膃膈膂膀膂膠膕膤

20～ 膣腟腸膩膰膵膾膸膵膤膣膰膵膾膸膵膤膣膰

40～ 臺臻臺臻臾舁舂舅與舊舍舐舗舩舫舸舳艀艙艘

60～ 艝艚艟艤艦艪艫舮艱艶艸艾芍芒芫芟芻芬苡

80～ 苣苟苒苴苳苺莓范荏苹苞茆苜茉苙

72 区 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

00～ 茵茴荅荳茖茘荀茹荐荅茯茫茗荔莅莚莪莟莢莖

20～ 莫莎莇莊茶莵荳荵荸莉莨菴萓菫菎萩萃菘萋菁

40～ 萹萇菠菲萍泡萠莽萸蔆萪莚萼萱菅菫葫葡莚

60～ 蒂葩葆萬葯葹萵蓊葢蒹蒿蒟蓙蓍蓊蓿蓮蔕蔗蓼

80～ 蒡蔡蓿蓴蔗蔘蔬蔟蔕蔔蘩蒜蕓蕘蕈

73 区 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

00～ 蕁藥蒁蓿蔾藷蓴蕕薈薬薤薮薫薜薮薇薜蘋蕾蘂

20～ 藉薺藏薹藐藕藝藥藜藹蘊蘓蘋藾藺蘆蘢薾蘿

40～ 虍虒虔號虧虱蚓蚣蚩蚪蚋蚌蚶蚯蛄蛆蚰蛉蠣

60～ 蛔蛞蛩蛙蛟蛛蛯蜒蜆蜈蜀蜃蛻蜑蜉蜍蛹蜴蜾蝓

80～ 蝣蝪蜥蝌蝳蝠蝟蝸蝓蝣蝎蝴蝗蝨蝮蝙

74 区 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

00～ 蝓蝪蝪蠅螢螟螂螯蟋螽蟐蟷螻蠏螯螟螂螻蟆蠍

20～ 蟯蟲蟠蠏蠍蟾蠅蟷蠑蠑蠑蠖蠕蠢蠡蠱蠶蠹蠧蠻

40～ 衄衂衒衙衞衢衫袁衾袞袒袗袢袮袂袵袷袍袋袰

60～ 袍袤袰袒袱袴袘裔裟裙裝裏裄裼裨裲褄褌褊

80～ 褓襃褞褥褪褫襁襄褻褶褸褌褝襠襞

必要なときにお読みください

75 区 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

00 襦 檻 襠 襪 襤 襴 襷 丙 覃 覈 覊 覓 覘 覡 覦 覩 覯 覲 覿

20 覺 覽 覿 觀 觚 觜 觝 觧 觴 觸 訃 訖 訐 訌 訛 訝 訥 訶 詁 詛

40 詒 詆 詈 詬 詭 詬 詢 詆 詭 詛 誄 誅 誂 誡 誑 誥 誦 誚 誣 諄

60 諍 諌 諂 諧 諤 諱 謔 諠 諢 諡 諮 諚 諫 諳 諧 謌 謇 謚 諡 謖

80 謦 鞫 謳 謫 謾 謨 譁 譌 譏 譎 證 譖 譛 譚 譫

76 区 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

00 譟 譬 譯 譴 譱 讀 讌 讎 讒 讓 讖 讙 讃 讌 豁 谿 豈 豌 豎

20 豐 豕 豢 豬 豸 豺 貂 貉 貅 貍 貎 貔 豼 貘 戝 貭 貪 貽 貲

40 貳 貮 貶 賈 賁 賤 賣 賚 賽 賺 賻 贄 贅 贇 贊 贇 贏 贍 贐 齎 贓

60 賍 贔 贖 赧 赭 赱 赳 趁 趙 跂 趾 趺 跏 跚 跖 跌 跛 跋 跪 跫

80 跟 跣 跼 踈 踉 踝 踞 踐 踟 踂 踈 踰 踴 蹊

77 区 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

00 蹇 蹉 蹌 蹐 蹈 蹙 蹤 蹠 蹣 蹕 蹶 蹲 蹼 躁 躇 躋 躊 躔 躙 躪

20 躡 躣 躜 躑 躅 躊 躋 躱 躰 體 躾 軅 軆 躾 軈 軌 軼 軫 軻 軫

40 軾 輊 輅 輕 輒 輙 輓 輜 輟 輛 輌 輦 輳 輻 輹 轅 轂 轆 轎 轉

60 轡 轤 轣 轤 轢 轣 轤 辜 辟 辣 辭 辯 辷 迚 迥 迢 迪 迯 邇 迴

80 逅 迹 迺 逑 逕 逡 逍 逞 逖 逋 逧 逶 逵 逹 迸

78 区 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

00 遏 遐 遑 遒 逎 遉 逾 遖 遘 遞 遨 遯 遶 隨 遲 邂 遽 邁 邀

20 邊 邉 邏 邨 邯 邱 邵 郢 郤 扈 郛 鄂 鄒 鄙 鄲 鄰 酊 酖 酘 酣

40 酥 酩 酳 酲 酵 酴 酷 醴 醫 醪 醵 醴 醺 釀 釁 釉 釋 釐 釖

60 釛 釜 釗 釙 釕 釚 釣 釧 釵 釦 釣 釿 鈇 鈑 鈕 鈬 鈕 鈑 鉉 鉤 鉈 銕 鈿

80 鉋 鉐 銜 鉾 銓 銛 鉚 銕 銹 銷 鍇 鉸 鋩 錆 錮

79 区 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

00 錙 錢 錚 錣 錺 錵 鍔 鍠 鍼 鍮 鍖 鎰 鎬 鎭 鎔 鎚 鏝 鏖 鏗

20 鏨 鏥 鏘 鏃 鏝 鏐 鏤 鏈 鏤 鐔 鐓 鐃 鏡 鐐 鐓 鐔 鐙 鐘 鐡 鐵 鐺 鑁

40 鑒 鑄 鑲 鑠 鑢 鑞 鑪 鈩 鑰 鑵 鑷 鑽 鑚 鑼 鑾 鑁 鑿 閂 閇 閊

60 閔 閖 閘 閙 閏 閏 閧 閭 閼 閻 閹 閾 閊 濶 関 閹 閼 闔 闕 闥

80 闕 闡 闥 闢 阡 阨 阮 阯 陂 陌 陏 陋 陷 陜 陞

80 区 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

00 陝 陟 陦 陲 陬 隍 隘 隕 隗 險 隧 隱 隲 隰 隴 隶 隸 佳 雎

20 雋 雉 雍 襍 雜 霍 雕 雹 霄 霆 霈 霓 霎 霑 霏 霖 霙 霤 霪 霰

40 霹 霽 霾 靄 靆 靈 靂 靉 靜 靠 靤 靦 靨 勒 靫 靱 鞅 靼 鞁

60 靺 鞆 鞋 鞏 鞐 鞜 鞨 鞦 鞣 鞳 鞴 韃 韆 韈 韋 韜 韭 齏 齔 竟

80 韶 韵 頏 頌 頸 頴 頡 頷 頽 顆 顏 顋 顫 顯 顰

81 区 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

00 顱 顳 顼 飩 颪 颯 颱 颶 飄 飃 飩 飫 餃 餉 餃 餬 餘 餡 餝

20 餞 餤 餠 餬 餮 餽 餾 饂 饉 饅 饐 饑 饒 饌 饕 馗 馘 馥 馭

40 馮 馼 駟 駛 駝 駘 駑 駭 駮 駱 駲 駻 駾 騁 騏 騅 騙 騫 騒

60 驅 驂 驀 驃 驟 驕 驍 驛 驗 驟 驢 驥 驤 驩 驫 驪 骭 骰 骼 髀

80 髏 髑 髓 體 髞 髟 髡 髣 髴 髷 髻 髯 髱 髭 髦

82 区 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

00 髷 鬆 鬘 鬚 鬟 鬢 鬣 鬥 鬧 鬨 鬩 鬮 鬯 鬲 魄 魃 魏 魍

20 魎 魑 魔 魴 鮓 鮃 鮑 鮖 鮗 鮟 鮠 鮨 鮴 鯀 鯊 鮹 鯆 鯏 鯑 鯒

40 鯣 鯢 鯤 鯔 鯡 鰺 鯱 鯲 鰀 鰔 鰉 鰓 鰌 鰆 鰈 鰒 鰕 鰹 鰭 鰮

60 鰯 鰰 鰲 鰥 鰡 鰺 鰾 鱇 鰻 鱆 鱚 鱠 鱧 鱶 鱸 鳧 鳬 鳰 鴉 鴎

80 鴟 鴪 鴦 鴬 鴻 鴾 鵁 鵄 鵆 鵇 鵈 鵐 鵑 鵙

83 区 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

00 鵝 鵞 鵠 鵡 鵺 鵯 鵲 鵺 鵜 鵺 鵠 鵞 鵺 鵡 鶚 鶲 鶫 鶴

20 鶸 鶺 鶯 鷆 鷁 鷙 鷓 鷯 鷦 鷭 鷯 鸇 鸚 鸛 鹵 鹹 鹽 鹿 麈

40 麋 麕 麒 麕 麑 麝 麥 麩 麸 麪 麭 黌 黎 黏 黝 黶 黜 點 黙

60 黠 黥 黨 黯 黴 黷 黶 黹 黽 鼇 鼈 皷 鼕 鼬 鼾 齊 齒

80 齔 齣 齟 齠 齡 齦 齧 齬 齲 齶 龕 龜 龠

84 区 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

00 堯 槇 遙 瑤 凜 熙

索　引

◆A
ADF から再ダイヤルで送る 29
ADF からダイレクト送信をする 28
ADF から短縮ダイヤルで送る 25
ADF から直接ダイヤルで送る 24
ADF から電話帳機能で送る 27
ADF からワンタッチボタンで送る 26

◆F
F コード掲示板登録の指定 62
F コードサブアドレスの登録
（サブアドレス通信） 144
F コード親展プリント 64
F コード送信 61
F コード通信 61
F コード通信の登録 119
F コード通信リストのプリント 96
F コード取り出し 63
F コードパスワードの登録
（サブアドレス通信） 145

◆O
OMR 通信 66

◆U
UF-A918 を使う 3

◆あ
相手機種との送信について 20
安全上のご注意 8

◆い
一度にたくさんの相手に送る（順次同報送信） 34

◆お
お手入れのしかた 146
主なエラーコード 150
主な仕様 155
主なメッセージ 152
音量の設定のしかた 46

◆か
各部の名前と働き 15
かな漢／カナ／英記号モードでの入力 133

◆く
句点コード表 156
グループダイヤル内容の宛先削除／追加 110
グループダイヤルの登録 108

◆け
掲示板ボックスの登録 123
原稿サイズとセット方向について 22
原稿台ガラスから送信する 30
原稿について 20
原稿についてのご注意 21
原稿のサイズ 20
原稿のセットのしかた 19
原稿をセットする 19

◆こ
コードモードでの入力 133
故障かな？と思ったら 148
コントロールパネル 16
こんなときには 146

◆し
自局情報の登録 137
自局情報リストのプリント 95
システム登録一覧表 128
システム登録について 67
システム登録のしかた 127
システム登録リストのプリント 94
システムの登録 127
指定通信予約レポートのプリント 85
受信データの強制出力 87
受信モードを選ぶ 36
手動受信する 37
手動ファイル転送 88
消耗品の交換のしかた 146
親展ボックスの登録 119

索引

◆す
数字 ID の登録 141
数字モードでの入力 133
済スタンプの交換 147

◆せ
セレクト受信 75
セレクト送信 74
セレクト通信 74

◆た
タイマー送信 53
タイマー通信 53
タイマー特殊通信 55
タイマーポーリング受信 54
ダイヤル登録操作フロー 98
ダイヤルの消去 107
ダイヤルの登録 98
ダイヤルの変更 106
ダイヤルリストのプリント 92
短縮ダイヤルの登録 101

◆ち
チェック&コール 154
中継情報の登録 117
中継情報の登録の種類 118
中継通信 56
中継通信について 56
中継同報指示 57

◆つ
通信受付レポートのプリント 90
通信管理レポートのプリント 89
通信結果レポートのプリント 91
通信ボックスの消去 126
通信予約の確認と消去 81
通信予約の確認 81
通信予約の消去 84
通信予約の変更 83

◆て
定期便タイマー通信 78
定期便タイマーの登録 143
定時刻タイマーの登録 142
停電のとき 154
電話の使いかた（オプション） 45
電話をかける 45

◆と
登録操作フロー 97
特殊通信機能の登録 103
取扱上のお願い 13

◆に
入力モードの切り替え 132

◆は
パスワード受信の設定 71
パスワード受信の変更 72
パスワード送信設定の一時変更 73
パスワード送信の設定 69
パスワード送信の変更 70
パスワード通信 67
パスワード通信について 67
発信元情報の登録 139

◆ひ
日付と時刻の登録 138

◆ふ
ファイル消去 60
ファイル送信 58, 59
ファイル蓄積 58
ファイルプリント 60
ファクス／コピーのモード切替 18
ファクス専用のときファクスを受ける 37
ファクス／電話自動切替のとき
　ファクスを受ける 38
ファクスを受ける 36
ファクスを送る（ダイレクト送信） 28
ファクスを送る（メモリー送信） 24

ファンクションの登録 113
プログラムダイヤルの登録 111
プログラムダイヤルの変更 112
プロセスカートリッジの交換 146

◆ほ
ポーリング受信 50
ポーリング送信 48
ポーリング通信 48
本体 15

◆ま
マルチコピー通信 65

◆み
未達宛先再通信の指定 86

◆め
メモリー受信 79
メモリー受信の解除 79
メモリー受信の設定 79
メモリー受信のプリント 80
メモリー受信を設定しているとき 79

◆も
文字ID（カナ）の登録 140
文字入力のしかた 132
文字入力の例 135
文字割り当て一覧 134
モニター音量の設定 46

◆ゆ
有効読取画面について 20
優先通信 76

◆よ
用紙カセットのサイズ変更 146
用紙がつまったとき 146
用紙の補充 146
呼出音量の設定 47

◆り
リストのプリント 92
リバースポーリング通信 51

◆る
留守番電話機の設定 41
留守録接続のときファクスを受ける 40

◆れ
レポートのプリント 89

◆わ
ワンタイム海外通信 77
ワンタッチダイヤルの登録 99
ワンタッチの消去 116
ワンタッチの登録 108
ワンタッチリストのプリント 93

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ年月日	年　　月　　日	品番　UF-A918
販　売　店　名	☎　（　　）　　-	
サ　ー　ビ　ス 実 施 会 社 名	☎　（　　）　　-	

松下電器産業株式会社
松下電送システム株式会社

DZSD001672-0
K0202-0